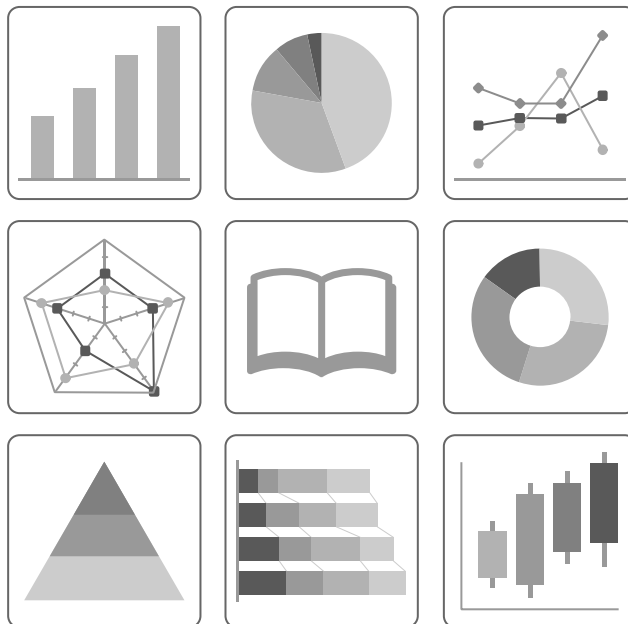


川崎町  
第2期川崎町子ども・子育て支援事業計画  
策定に伴うアンケート調査  
調査結果報告書



平成31年3月

川崎町



# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b>	<b>1</b>
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
<b>II</b>	<b>調査結果</b>	<b>2</b>
1	就学前児童保護者	2
(1)	お住まいの地域について	2
(2)	封筒のお子さんご家族の状況について	2
(3)	子どもの育ちをめぐる環境について	5
(4)	保護者の就労状況について	8
(5)	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	17
(6)	地域の子育て支援事業の利用状況について	28
(7)	土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	39
(8)	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	41
(9)	病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	46
(10)	小学校就学後の放課後の過ごし方について	54
(11)	育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度について	60
(12)	子育てについて	68
(13)	仕事と生活のバランスについて	81
(14)	子育て支援事業について	81
(15)	子育てのしやすさや満足度などについて	83
2	小学生児童保護者	84
(1)	お住まいの地域について	84
(2)	お子さんご家族の状況について	84
(3)	子どもの育ちをめぐる環境について	86
(4)	保護者の就労状況について	89
(5)	学童クラブ（放課後児童健全育成事業）の利用について	97
(6)	子育てについて	106
(7)	仕事と生活のバランスについて	108
(8)	子育て支援事業について	109
(9)	子育て支援策について	111
(10)	子育てのしやすさや満足度などについて	111



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

第2期川崎町子ども・子育て支援事業計画の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

## 2 調査対象

川崎町在住の就学前児童をお持ちの保護者の方、小学生児童をお持ちの保護者の方を無作為抽出

## 3 調査期間

平成31年1月25日から平成31年2月8日

## 4 調査方法

小学校、園にて直接配布・回収（一部郵送による配布・回収）

## 5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	797通	353通	44.3%
小学生児童保護者	859通	402通	46.8%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

## II 調査結果

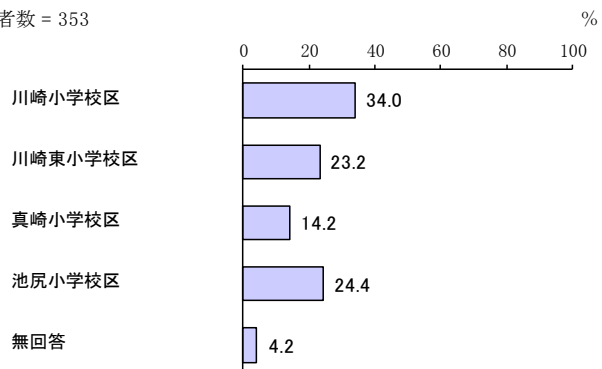
### 1 就学前児童保護者

#### (1) お住まいの地域について

問1 お住まいの小学校区はどこですか。(いずれか1つに○)

「川崎小学校区」の割合が34.0%と最も高く、次いで「池尻小学校区」の割合が24.4%、「川崎東小学校区」の割合が23.2%となっています。

回答者数 = 353



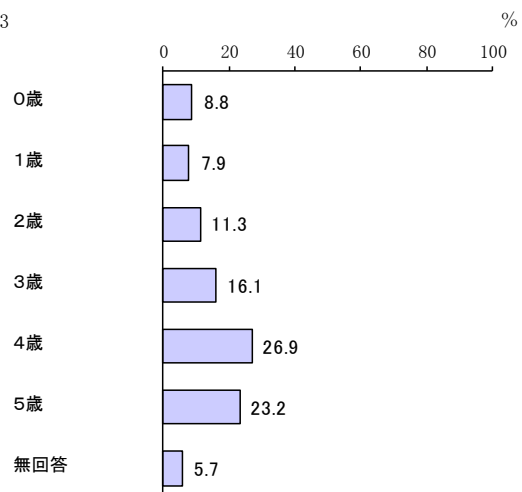
#### (2) 封筒のお子さんご家族の状況について

問2 お子さんの生年月はいつですか。(口内に数字で記入 例：30年06月生まれ) ご自身の、6歳未満のお子さんの中で、一番上のお子さんについて書いてください。

##### (ア) 宛名のお子さんの年齢

「4歳」の割合が26.9%と最も高く、次いで「5歳」の割合が23.2%、「3歳」の割合が16.1%となっています。

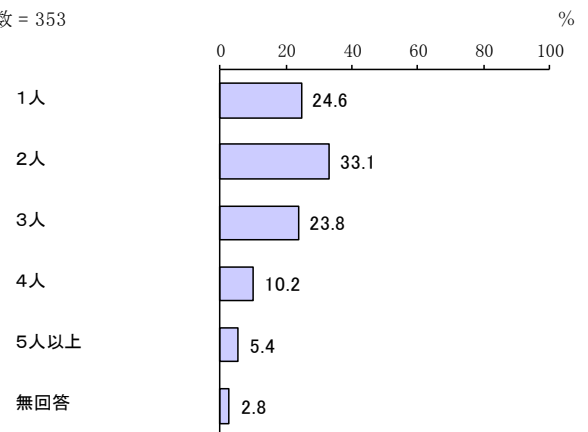
回答者数 = 353



### (イ) きょうだい数

「2人」の割合が33.1%と最も高く、次いで「1人」の割合が24.6%、「3人」の割合が23.8%となっています。

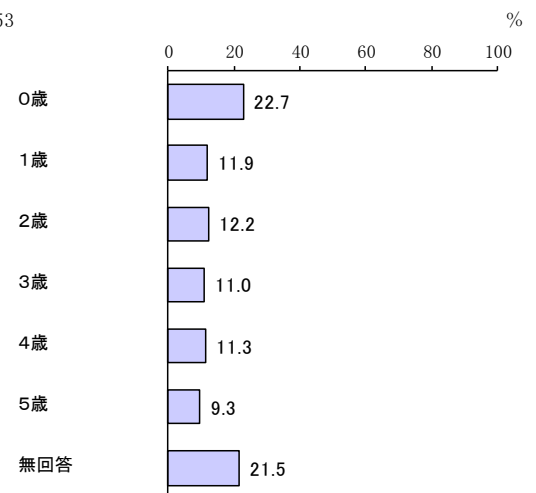
回答者数 = 353



### (ウ) 末子の年齢

「0歳」の割合が22.7%と最も高く、次いで「2歳」の割合が12.2%、「1歳」の割合が11.9%となっています。

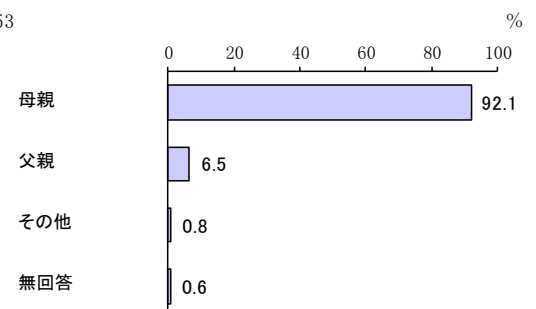
回答者数 = 353



**問3** この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(いずれか1つに○)

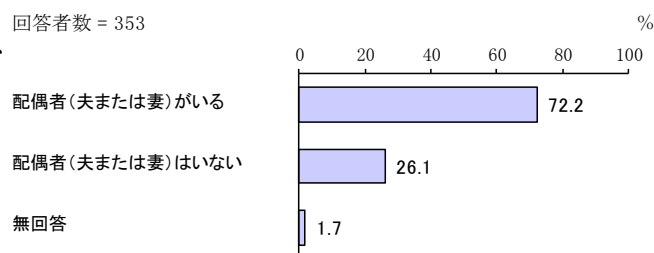
「母親」の割合が92.1%、「父親」の割合が6.5%となっています。

回答者数 = 353



**問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。  
(いずれか1つに○)**

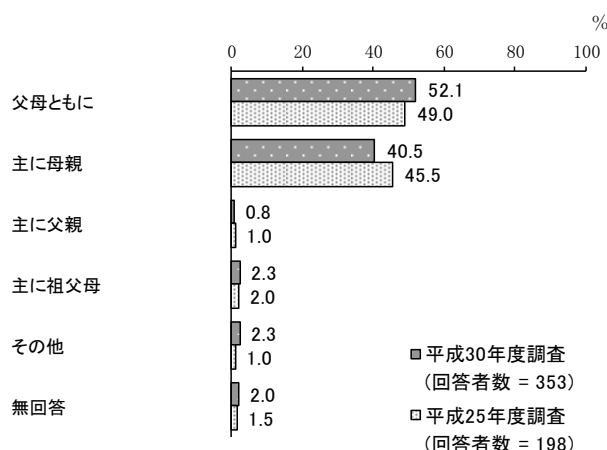
「配偶者(夫または妻)がいる」の割合が72.2%、  
「配偶者(夫または妻)はいない」の割合が26.1%  
となっています。



**問4-1 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。(いずれか1つに○)**

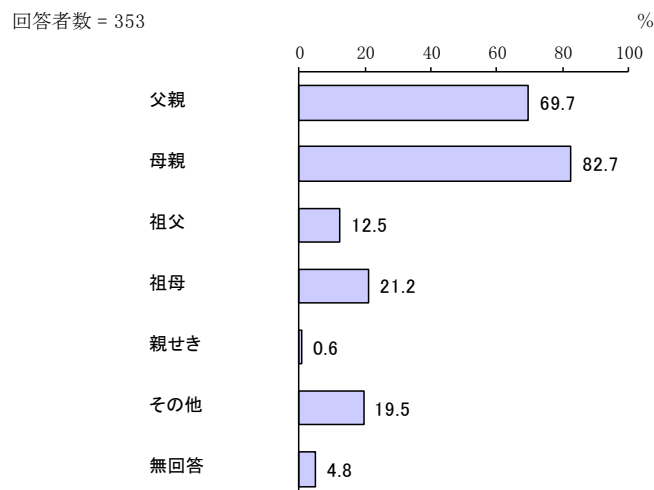
「父母ともに」の割合が52.1%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が40.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**問4-2 いま、あなたが住んでいる家に同居している方はどなたですか。お子さんから見た続柄でお答えください。(あてはまるものすべてに○)**

「母親」の割合が82.7%と最も高く、次いで「父親」の割合が69.7%、「祖母」の割合が21.2%となっています。



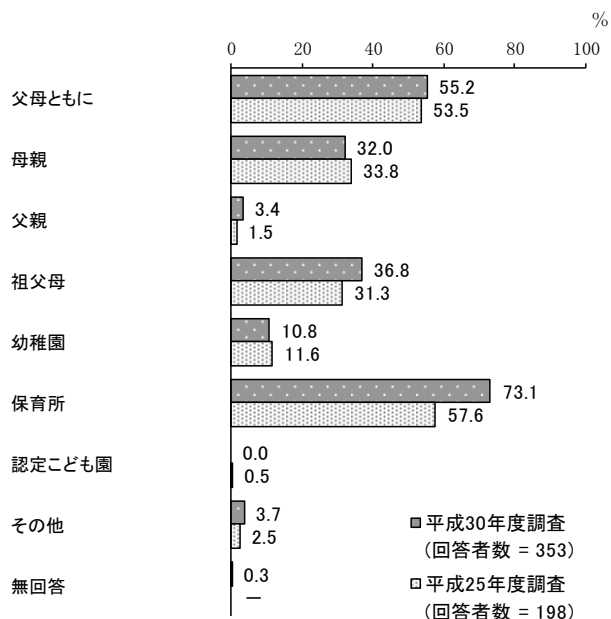


### (3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問5 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんから見た関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

「保育所」の割合が73.1%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が55.2%、「祖父母」の割合が36.8%となっています。

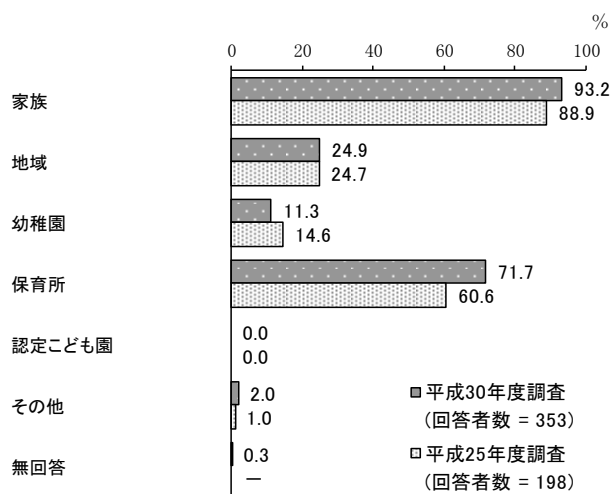
平成25年度調査と比較すると、「祖父母」「保育所」の割合が増加しています。



問6 お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

「家族」の割合が93.2%と最も高く、次いで「保育所」の割合が71.7%、「地域」の割合が24.9%となっています。

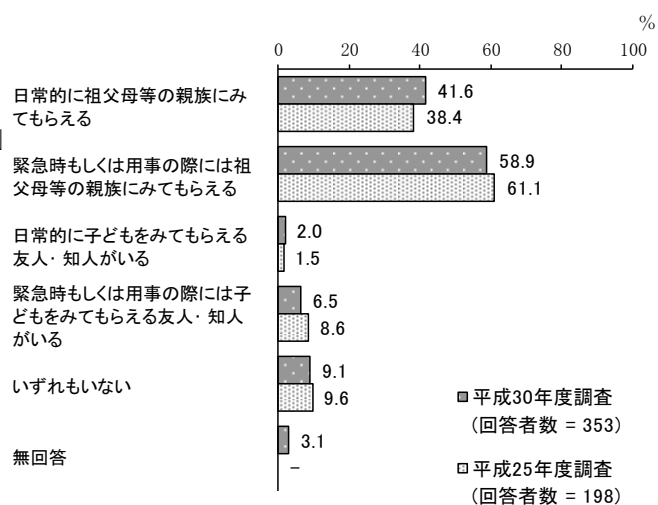
平成25年度調査と比較すると、「保育所」の割合が増加しています。



**問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。**  
(あてはまるものすべてに○)

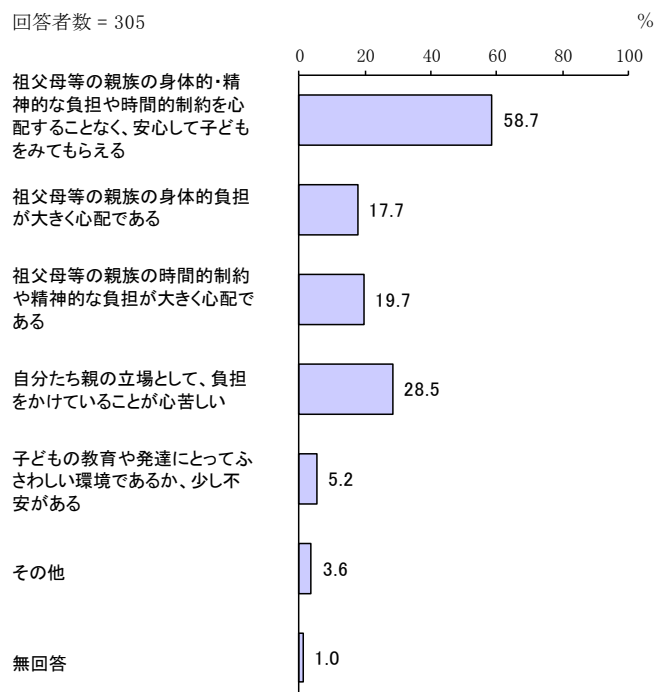
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が58.9%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が41.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**問7-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。**  
(あてはまるものすべてに○)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が58.7%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が28.5%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が19.7%となっています。



問7-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が61.5%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が26.9%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が19.2%となっています。

回答者数 = 26

友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

友人・知人の身体的負担が大きく心配である

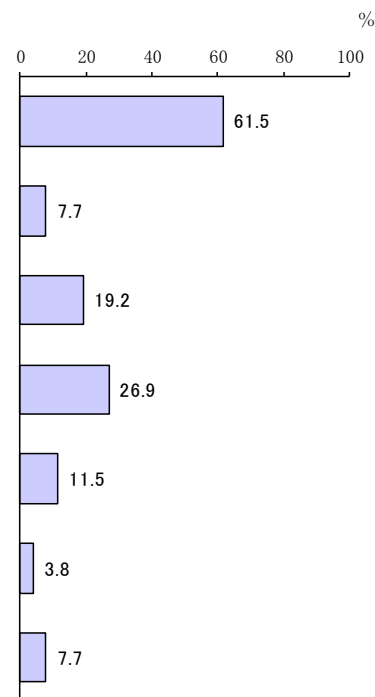
友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい

子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある

その他

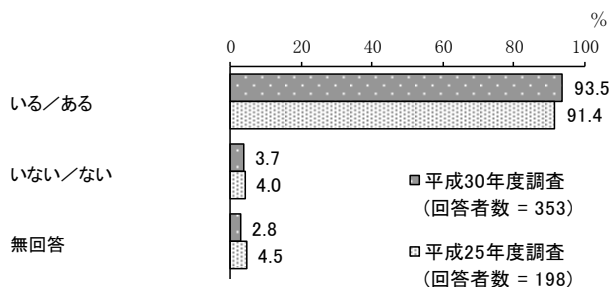
無回答



問8 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（いずれか1つに○）

「いる／ある」の割合が93.5%、「いない／ない」の割合が3.7%となっています。

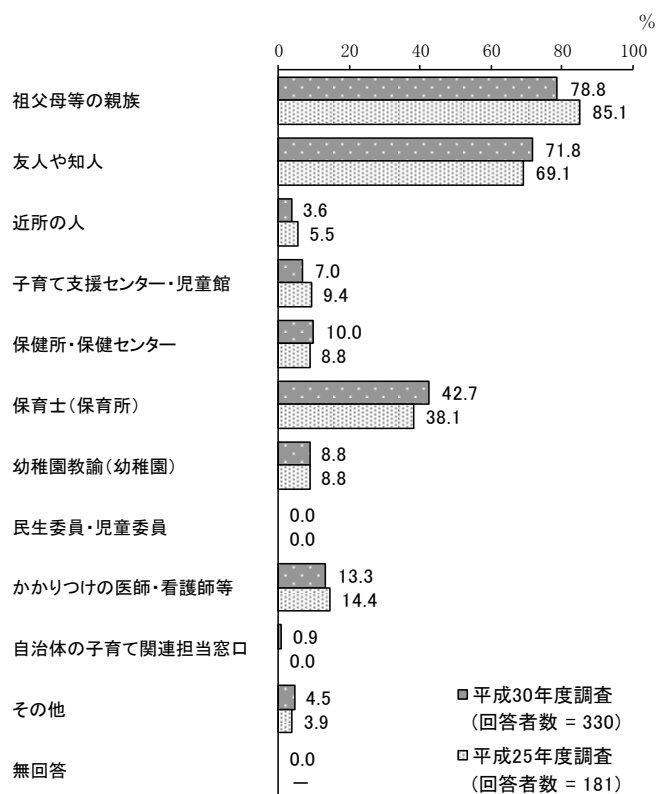
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問8-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

「祖父母等の親族」の割合が78.8%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が71.8%、「保育士(保育所)」の割合が42.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「祖父母等の親族」の割合が減少しています。



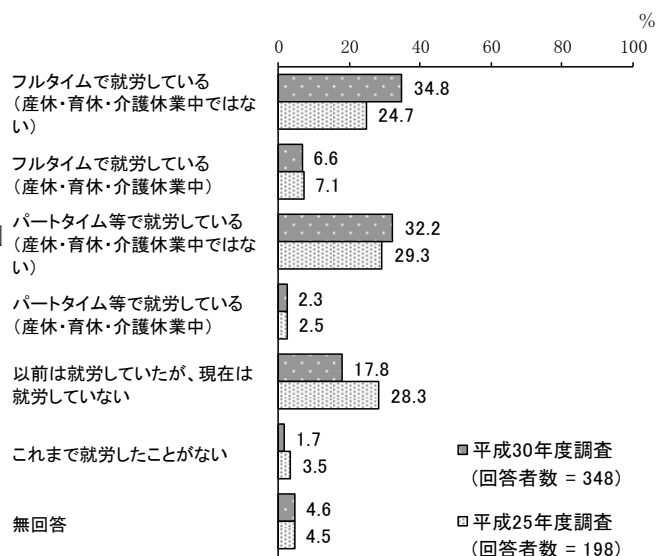
(4) 保護者の就労状況について

問10 お子さんの父母の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。（いずれか1つに○）

ア 母親

「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」の割合が34.8%と最も高く、次いで「パートタイム等で就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」の割合が32.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が17.8%となっています。

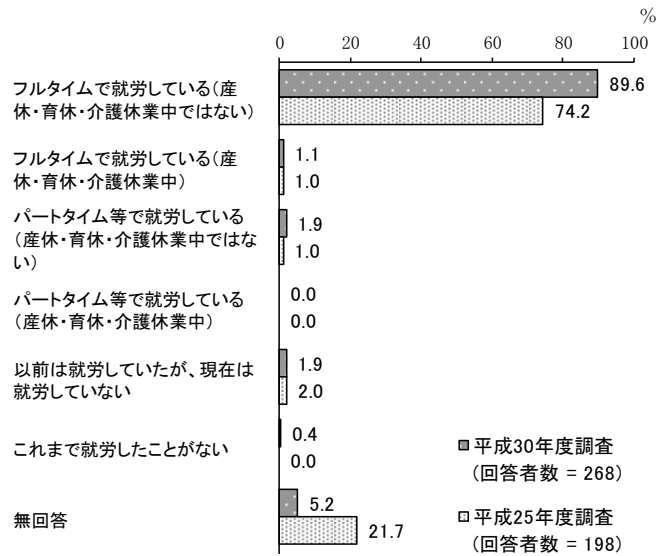
平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



## イ 父親

「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」の割合が89.6%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」の割合が増加しています。

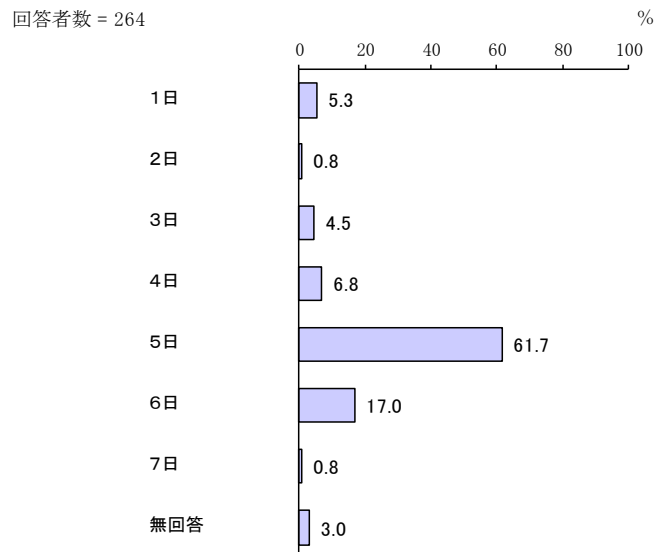


問10-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。(口内に数字で記入 例：5日 08時間)

## 母親

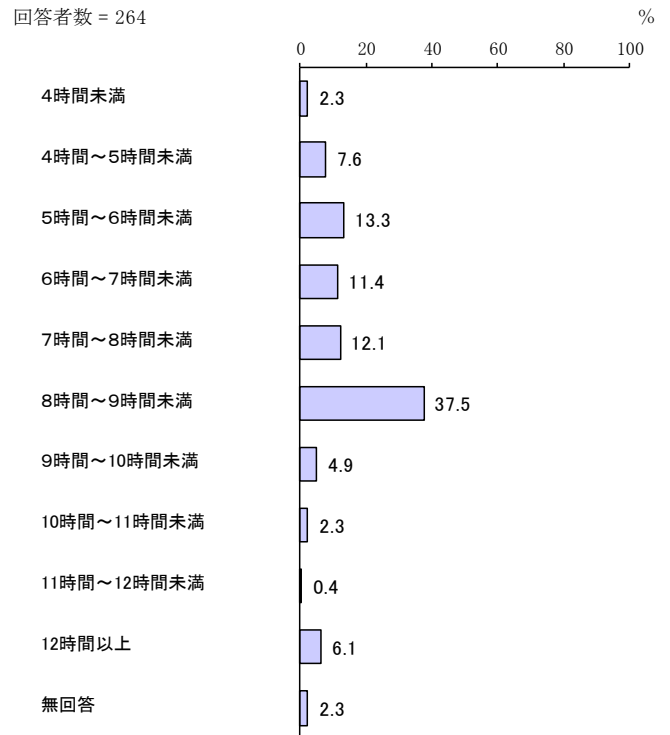
### (ア) 1週当たり就労日数

「5日」の割合が61.7%と最も高く、次いで「6日」の割合が17.0%となっています。



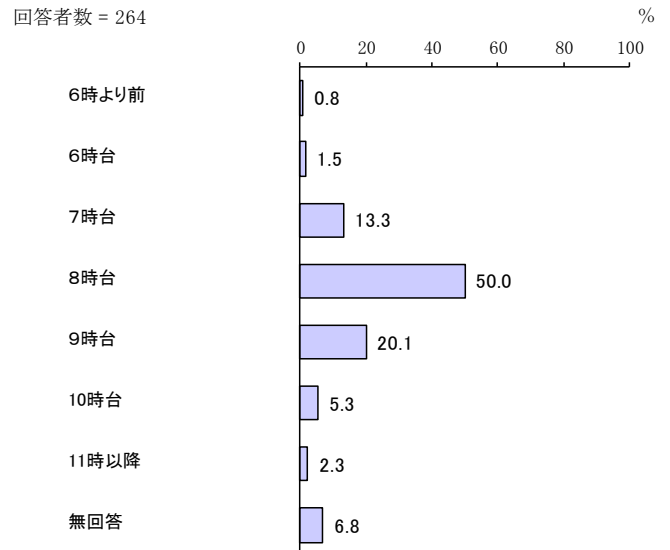
### (イ) 1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が37.5%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が13.3%、「7時間～8時間未満」の割合が12.1%となっています。



### (ウ) 家を出る時刻

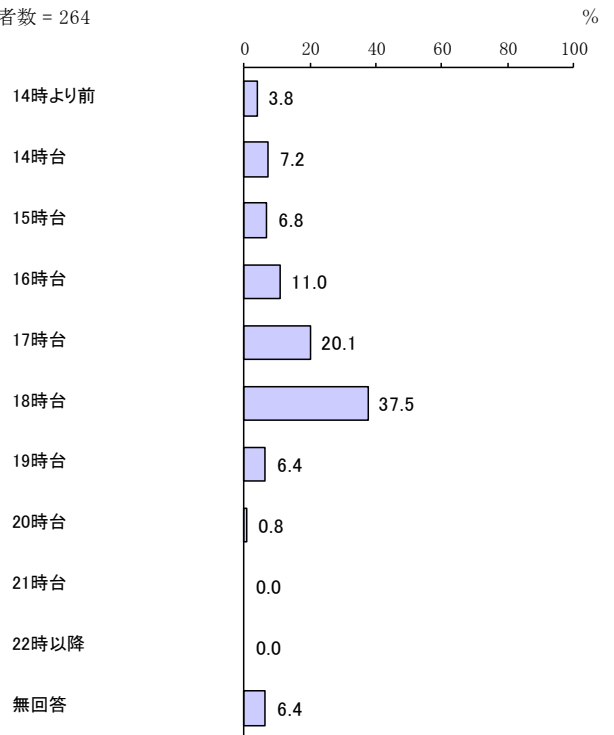
「8時台」の割合が50.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が20.1%、「7時台」の割合が13.3%となっています。



(エ) 帰宅時刻

「18 時台」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 20.1%、「16 時台」の割合が 11.0%となっています。

回答者数 = 264



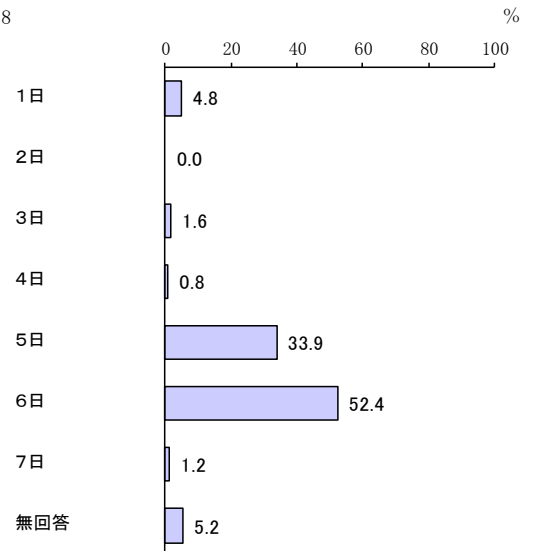
問 10-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。(□内に数字で記入 時間は必ず 08 時~18 時のように、24 時間制で記入)

父親

(ア) 1 週当たり就労日数

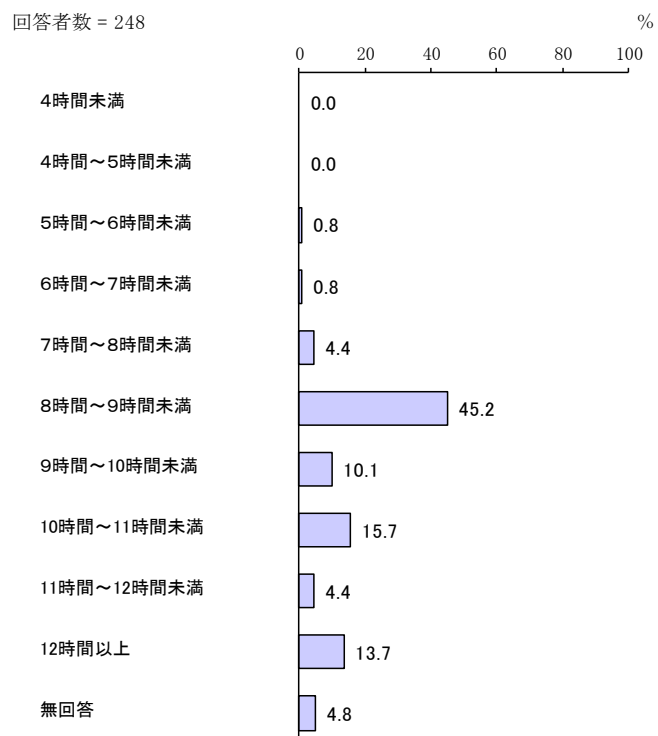
「6 日」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「5 日」の割合が 33.9%となっています。

回答者数 = 248



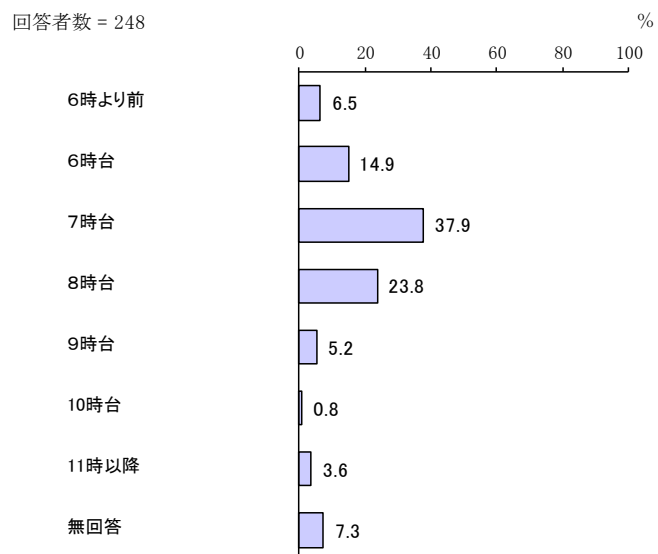
### (イ) 1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が45.2%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が15.7%、「12時間以上」の割合が13.7%となっています。



### (ウ) 家を出る時刻

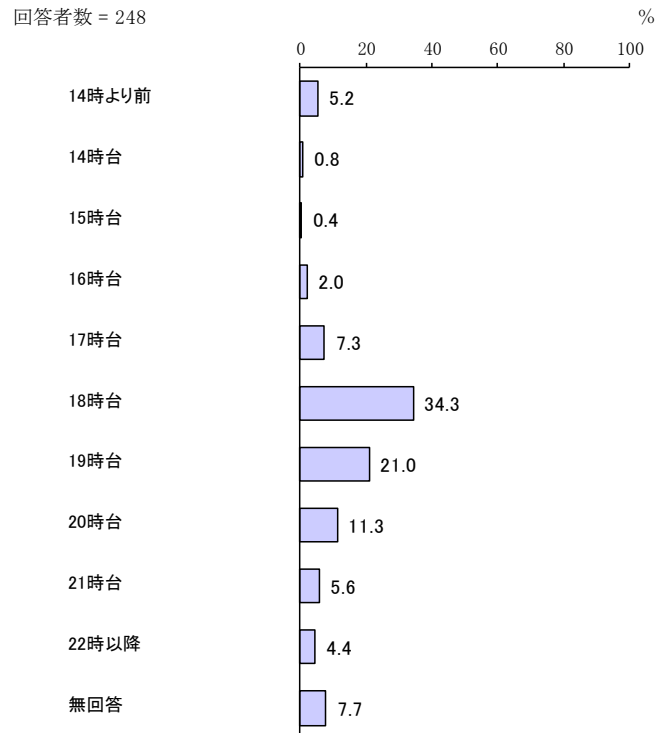
「7時台」の割合が37.9%と最も高く、次いで「8時台」の割合が23.8%、「6時台」の割合が14.9%となっています。





## (エ) 帰宅時刻

「18 時台」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 21.0%、「20 時台」の割合が 11.3%となっています。

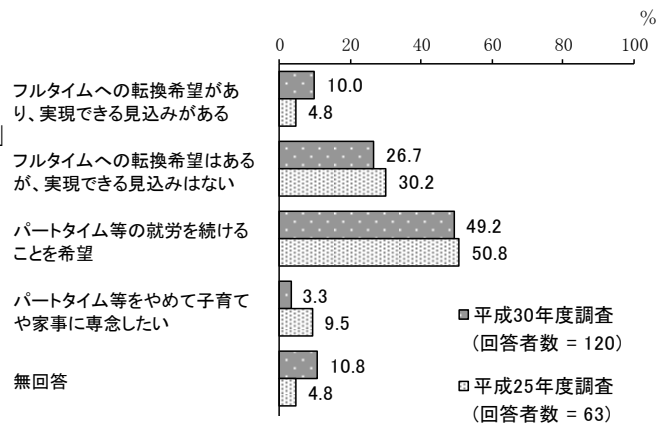


### 問 10-3 フルタイムへの転職希望はありますか。(いずれか1つに○)

#### ア 母親

「パートタイム等の就労を続けることを希望」の割合が 49.2%と最も高く、次いで「フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 26.7%、「フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある」の割合が 10.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある」の割合が増加しています。一方、「パートタイム等をやめて子育てや家事に専念したい」の割合が減少しています。



#### イ 父親

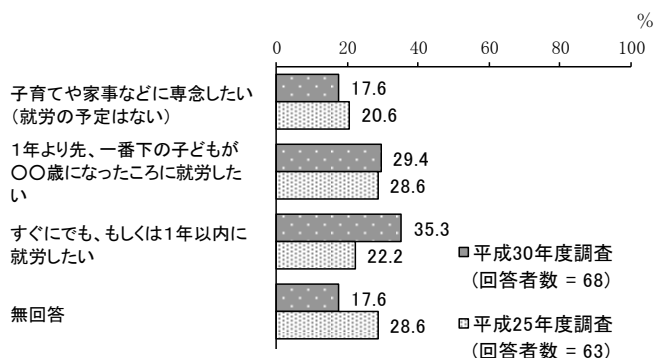
「フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある」が 3 件となっています。「パートタイム等の就労を続けることを希望」が 1 件となっています。

問 11 就労したいという希望はありますか。(いずれか1つに○をつけ、該当する□内に数字で記入 例： 05歳 3日 04時間)

ア 母親

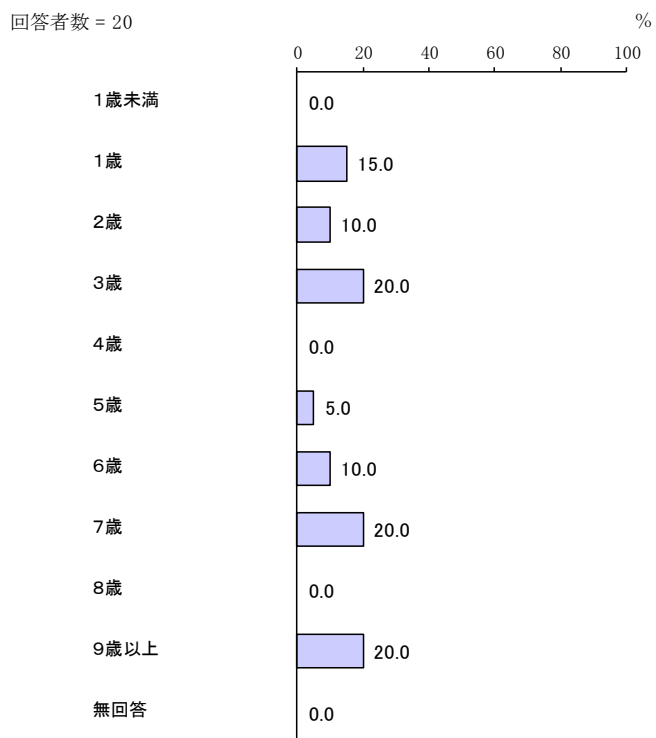
「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が35.3%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」の割合が29.4%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が17.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が増加しています。



(ア) 就労したいときの末子の年齢

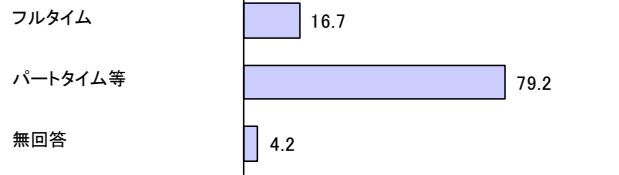
「3歳」、「7歳」、「9歳以上」の割合が20.0%と最も高くなっています。



(イ) 希望する就労形態

「フルタイム」の割合が16.7%、「パートタイム等」の割合が79.2%となっています。

回答者数 = 24

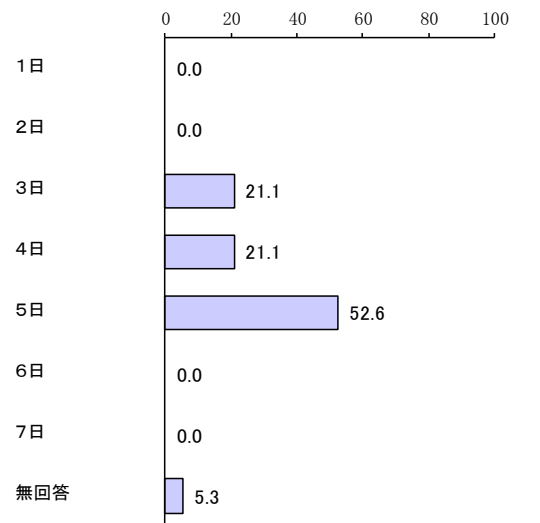


(ウ) パートタイム等

① 1週当たり希望就労日数

「5日」の割合が52.6%と最も高く、次いで「3日」、「4日」の割合が21.1%となっています。

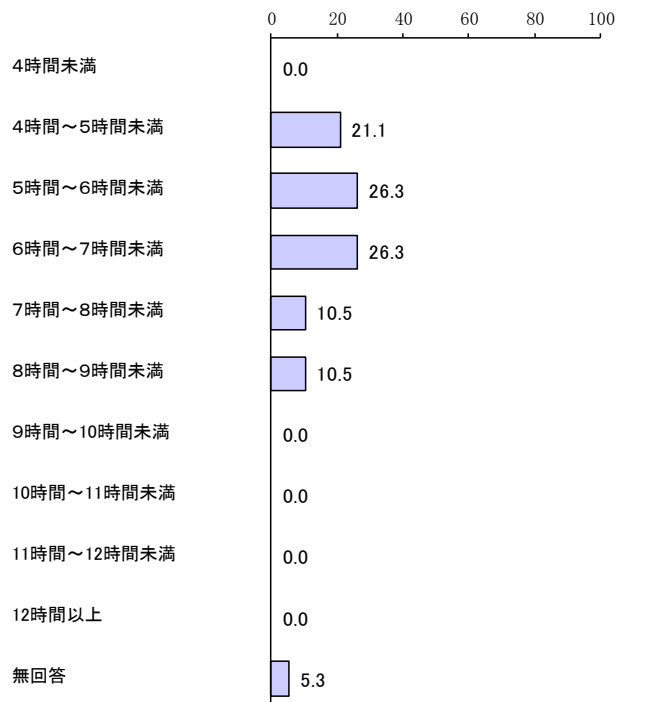
回答者数 = 19



② 1日当たり希望就労時間

「5時間～6時間未満」、「6時間～7時間未満」の割合が26.3%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が21.1%となっています。

回答者数 = 19



## イ 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が3件となっています。「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1件となっています。

## ア 就労したいときの末子の年齢

有効回答がありませんでした。

## イ 希望する就労形態

「フルタイム」が3件、「パートタイム等」が0件となっています。

## ウ パートタイム等

### ① 1週当たり希望就労日数

有効回答がありませんでした。

### ② 1日当たり希望就労時間

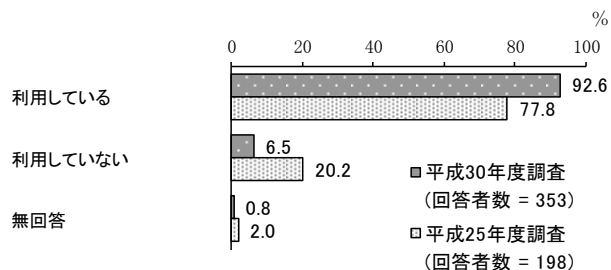
有効回答がありませんでした。

## (5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問12 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(いずれか1つに○)

「利用している」の割合が92.6%、「利用していない」の割合が6.5%となっています。

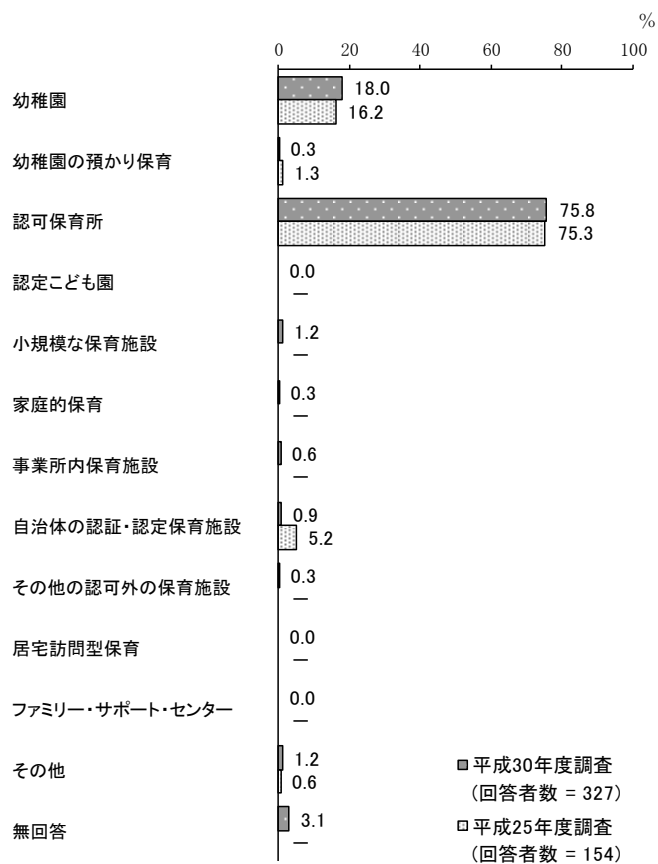
平成25年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。



問12-1 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可をうけたもの)」の割合が75.8%と最も高く、次いで「幼稚園(通常就園時間の利用)」の割合が18.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、1歳で「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可をうけたもの）」の割合が、5歳で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可をうけたもの）	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員おおむね6～19人のもの）	家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育（保育者が子どもの家庭で保育する事業）	ファミリー・サポート・センター（会員組織により子どもを預かる事業）	その他	無回答
0歳	17	11.8	—	82.4	—	—	5.9	—	—	—	—	—	—	—
1歳	23	4.3	—	87.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.7
2歳	39	10.3	—	84.6	—	—	—	—	—	—	—	—	2.6	2.6
3歳	55	10.9	—	83.6	—	1.8	—	—	1.8	—	—	—	—	1.8
4歳	93	22.6	1.1	71.0	—	1.1	—	1.1	1.1	—	—	—	1.1	4.3
5歳	82	25.6	—	67.1	—	2.4	—	1.2	1.2	—	—	—	2.4	2.4

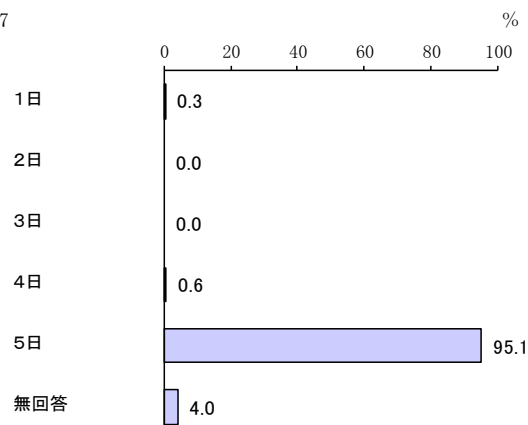
問 12-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時～何時まで）をお答え下さい。（□内に数字で記入 時間は必ず08時～18時のように、24時間制で記入）

ア 現在

（ア）1週あたり利用日数

「5日」の割合が95.1%と最も高くなっています。

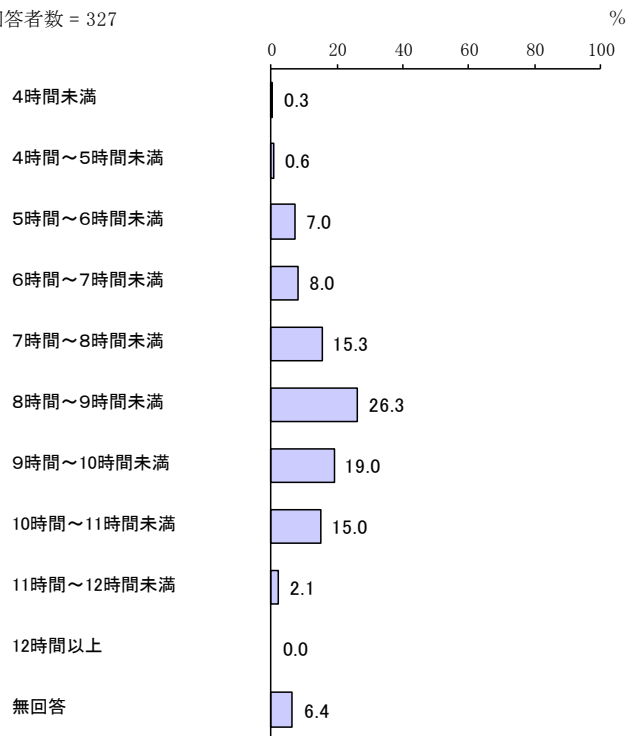
回答者数 = 327



（イ）1日あたり利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が26.3%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」の割合が19.0%、「7時間～8時間未満」の割合が15.3%となっています。

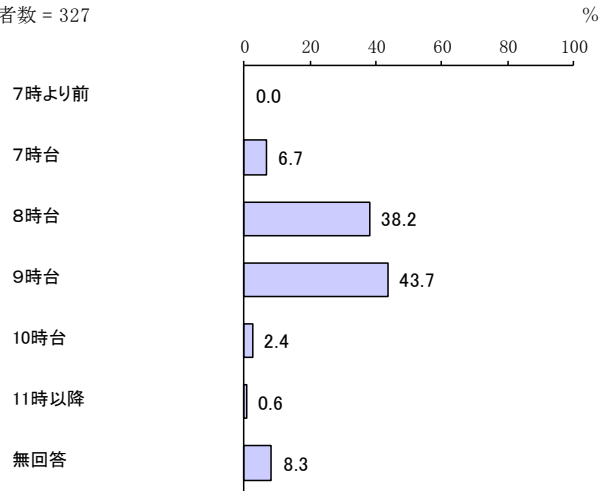
回答者数 = 327



### (ウ) 利用開始時刻

「9時台」の割合が43.7%と最も高く、次いで「8時台」の割合が38.2%となっています。

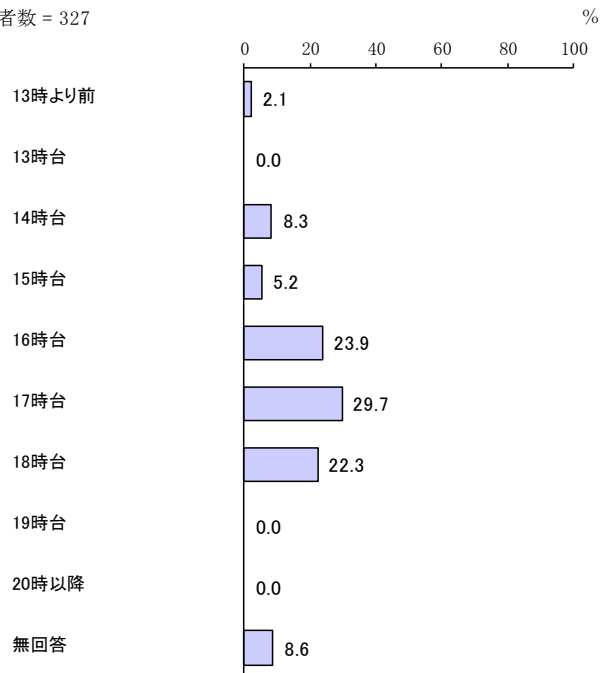
回答者数 = 327



### (エ) 利用終了時刻

「17時台」の割合が29.7%と最も高く、次いで「16時台」の割合が23.9%、「18時台」の割合が22.3%となっています。

回答者数 = 327



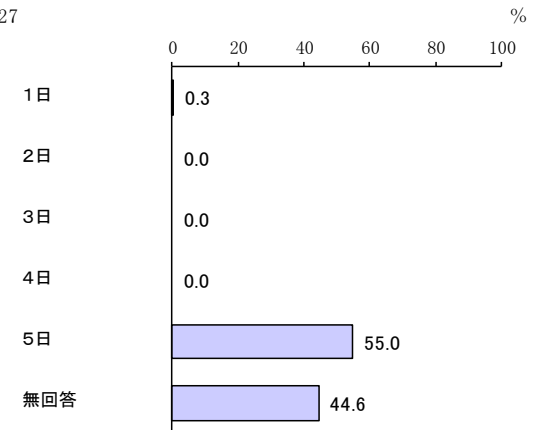


## イ 希望

### (ア) 1週あたり利用日数

「5日」の割合が55.0%と最も高くなっています。

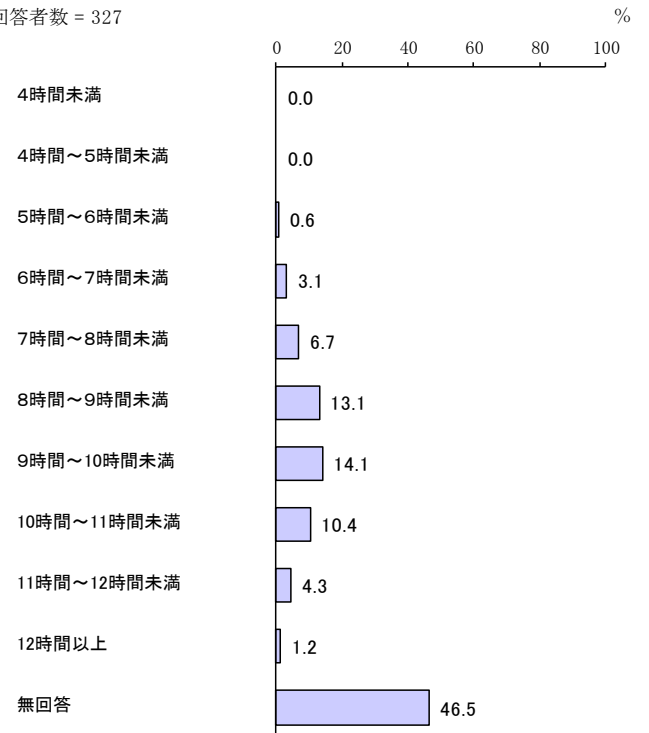
回答者数 = 327



### (イ) 1日あたり利用時間

「9時間～10時間未満」の割合が14.1%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が13.1%、「10時間～11時間未満」の割合が10.4%となっています。

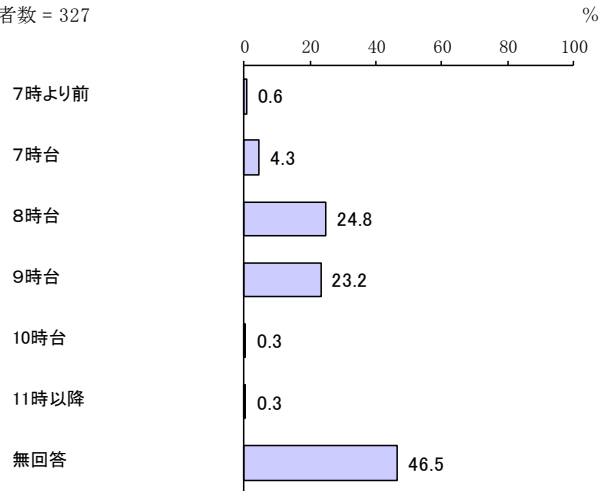
回答者数 = 327



### (ウ) 利用開始時刻

「8時台」の割合が24.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が23.2%となっています。

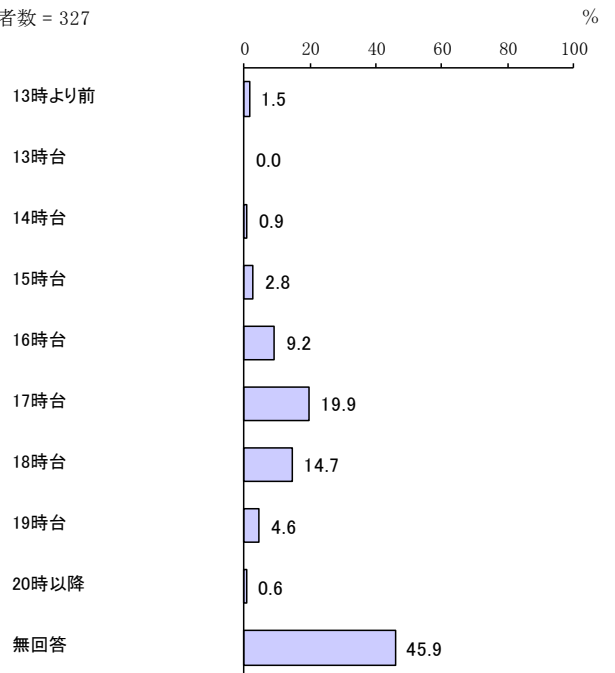
回答者数 = 327



### (エ) 利用終了時刻

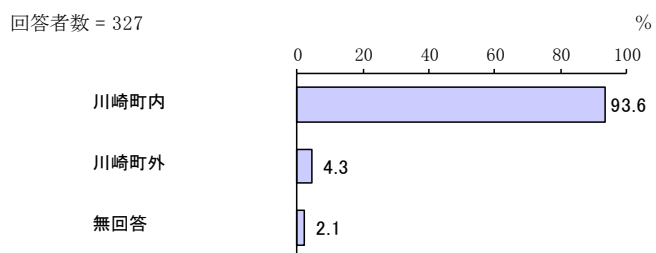
「17時台」の割合が19.9%と最も高く、次いで「18時台」の割合が14.7%となっています。

回答者数 = 327



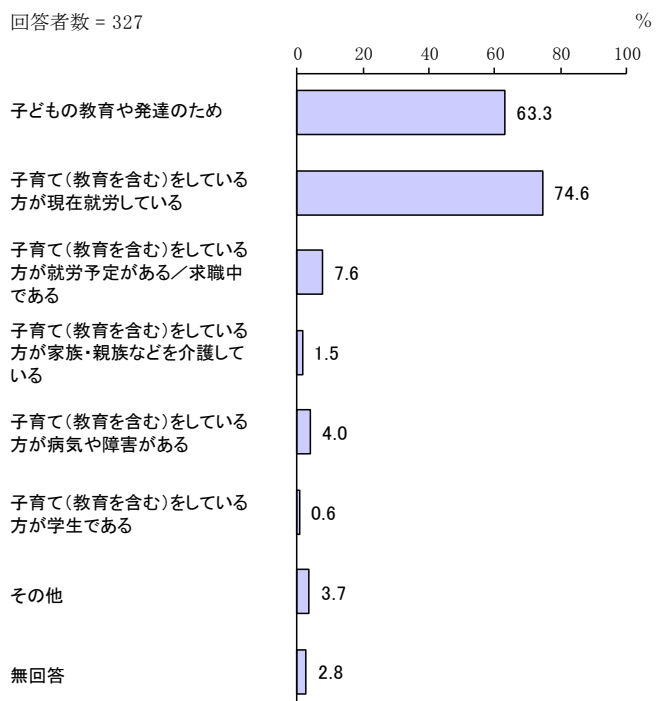
問 12-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についておうかがいします。  
(いずれか1つに○)

「川崎町内」の割合が93.6%、「川崎町外」の割合が4.3%となっています。



問 12-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」の割合が74.6%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が63.3%となっています。



### 問 12-5 利用していない主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもがまだ小さいため(〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合が47.8%と最も高く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」の割合が34.8%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」の割合が17.4%となっています。

回答者数 = 23

(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない

子どもの祖父母や親戚の人がみている

近所の人や父母の友人・知人がみている

利用したいが、教育・保育の事業に空きがない

利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない

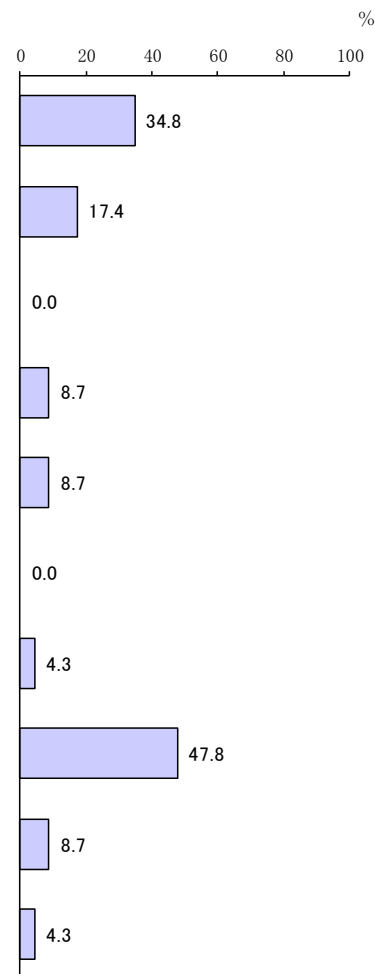
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない

利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない

子どもがまだ小さいため(〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている)

その他

無回答



### 子どもがまだ小さいため 利用を希望する子どもの年齢

「3歳」の割合が45.5%と最も高く、次いで「1歳」の割合が18.2%となっています。

回答者数 = 11

1歳未満

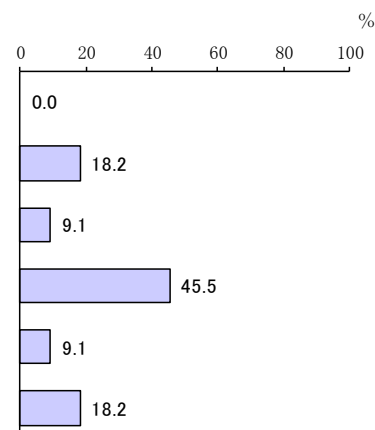
1歳

2歳

3歳

4歳以上

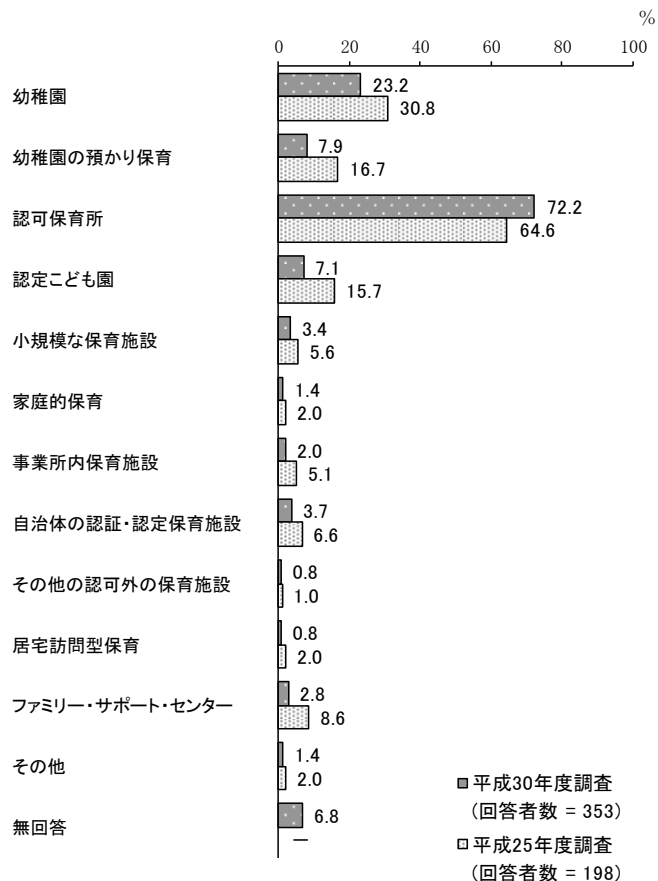
無回答



問 13 政府は、消費税率引き上げの時期に合わせて、認可・認可外を問わず、3歳から5歳までの子どもと、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもについて、保育料等は無償化する方向です。現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可をうけたもの)」の割合が72.2%と最も高く、次いで「幼稚園(通常の幼稚園時間の利用)」の割合が23.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「認可保育所」の割合が増加しています。一方、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」「ファミリー・サポート・センター」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、1歳、2歳で「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可をうけたもの）」の割合が、0歳で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可をうけたもの）	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員おおむね6～19人のもの）	家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	自治体が認証・認定した施設	自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育（保育者が子どもの家庭で保育する事業）	ファミリー・サポート・センター（会員組織により子どもを預かる事業）	その他	無回答
0歳	31	32.3	3.2	77.4	16.1	3.2	3.2	—	—	3.2	—	—	—	3.2	—
1歳	28	10.7	7.1	82.1	7.1	7.1	—	3.6	3.6	—	—	3.6	—	—	3.6
2歳	40	22.5	7.5	80.0	10.0	—	—	2.5	5.0	—	—	5.0	2.5	7.5	7.5
3歳	57	14.0	3.5	78.9	3.5	1.8	1.8	1.8	3.5	—	1.8	3.5	1.8	7.0	7.0
4歳	95	21.1	8.4	67.4	7.4	3.2	1.1	1.1	5.3	—	1.1	3.2	—	10.5	10.5
5歳	82	30.5	12.2	67.1	6.1	6.1	1.2	2.4	3.7	2.4	—	2.4	2.4	3.7	3.7

## 【母親の就労状況別】

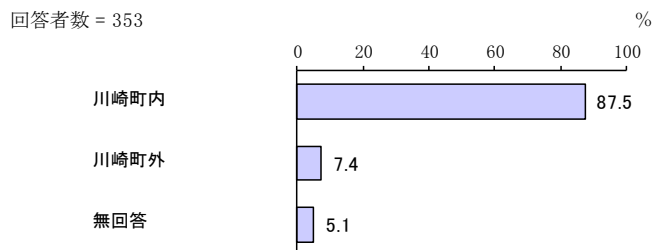
母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中）で「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可をうけたもの）」の割合が、以前は就労していたが、現在は就労していないで「幼稚園（通常就園時間の利用）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	幼稚園（通常就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育（通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可をうけたもの）	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員おおむね6～19人のもの）	家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	自治体が認証・認定した施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育（保育者が子どもの家庭で保育する事業）	ファミリー・サポート・センター（会員組織により子どもを預かる事業）	その他	無回答
フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）	121	13.2	9.9	76.9	7.4	4.1	0.8	2.5	2.5	0.8	0.8	2.5	0.8	6.6
フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中）	23	13.0	4.3	95.7	4.3	4.3	—	—	4.3	—	—	—	—	—
パートタイム等で就労している（産休・育休・介護休業中ではない）	112	28.6	8.9	69.6	5.4	4.5	1.8	0.9	6.3	—	1.8	4.5	3.6	6.3
パートタイム等で就労している（産休・育休・介護休業中）	8	25.0	12.5	100.0	25.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	62	37.1	4.8	61.3	8.1	1.6	1.6	1.6	3.2	3.2	—	3.2	—	6.5
これまで就労したことがない	6	16.7	—	83.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

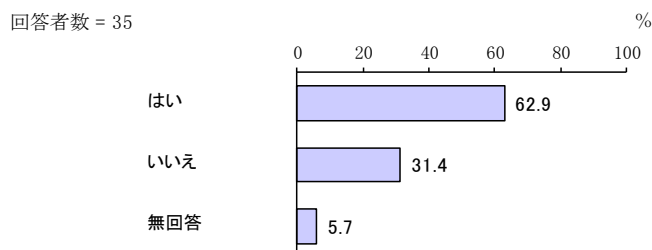
問 13-1 教育・保育事業を利用したい場所についておうかがいします。  
(いずれか1つに○)

「川崎町内」の割合が87.5%、「川崎町外」の割合が7.4%となっています。



問 13-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。(いずれか1つに○)

「はい」の割合が62.9%、「いいえ」の割合が31.4%となっています。

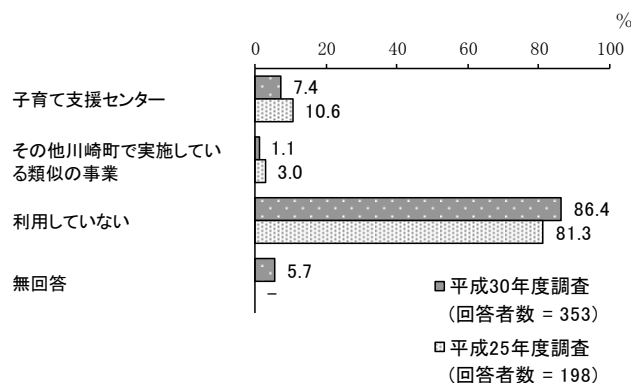


(6) 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 14 お子さんは、現在、子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。利用している事業をお答えください。（利用しているものすべてに○をつけ、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字で記入）

「利用していない」の割合が86.4%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。



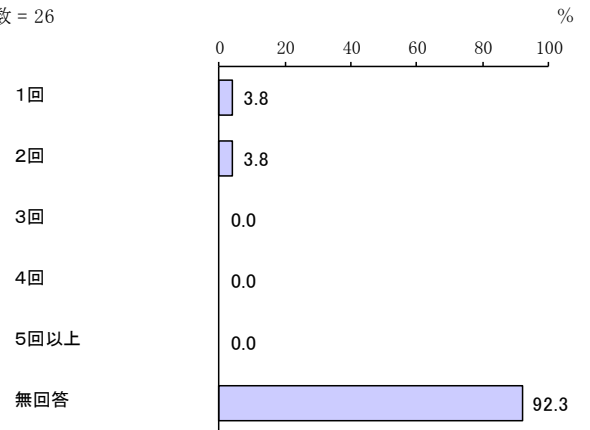


ア 子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）

（ア）週あたりでの利用回数

「1回」、「2回」の割合が3.8%と最も高くなっています。

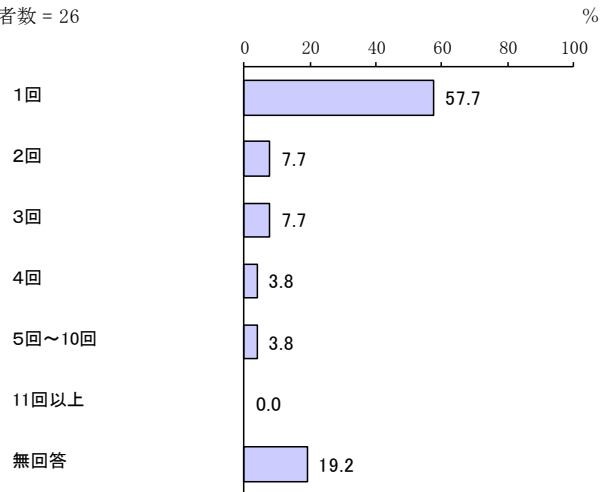
回答者数 = 26



（イ）1か月あたりでの利用回数

「1回」の割合が57.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 26



イ その他川崎町で実施している類似の事業

（ア）週あたりでの利用回数

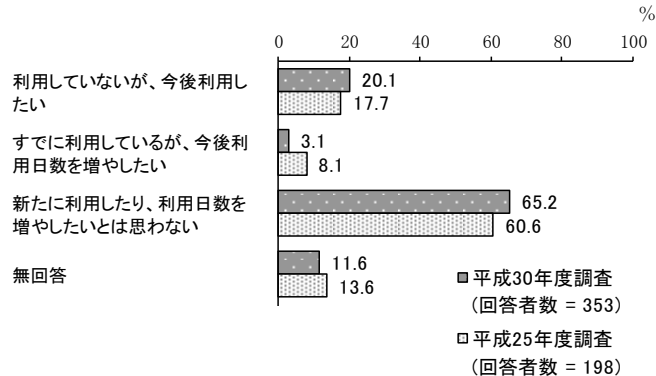
「1回」、「2回」が1件となっています。

（イ）1か月あたりでの利用回数

「1回」、「3回」、「5回~10回」が1件となっています。

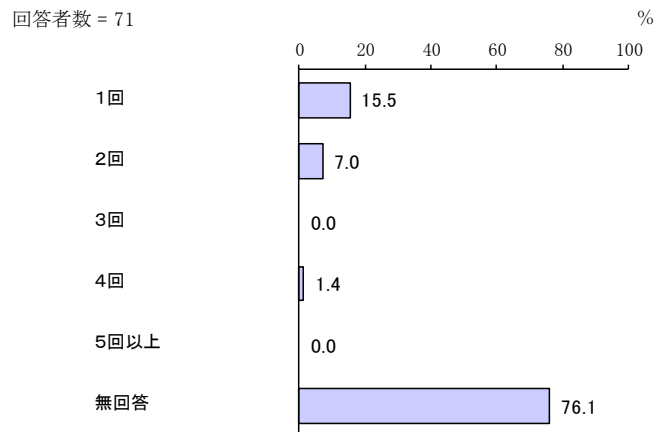
**問 15 問 14 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いませんか。**  
**(いずれか 1 つに○をつけ、該当する口内に数字で記入)**

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 20.1%となっています。  
 平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



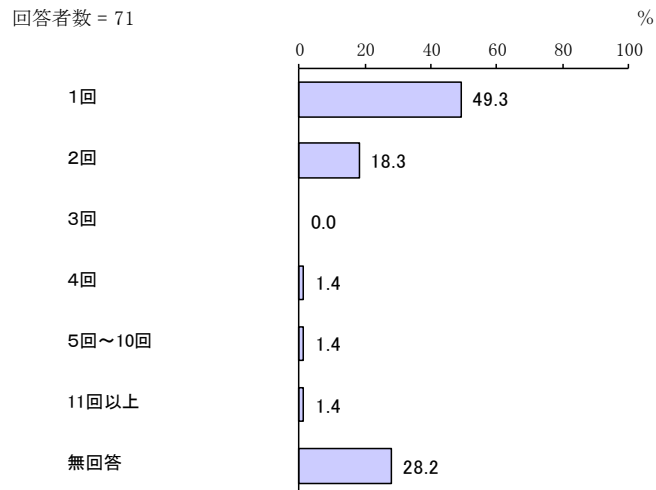
**ア 利用していないが、今後利用したい**  
**(ア) 週あたりでの利用回数**

「1回」の割合が 15.5%と最も高くなっています。



**(イ) 1か月あたりでの利用回数**

「1回」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が 18.3%となっています。



イ すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

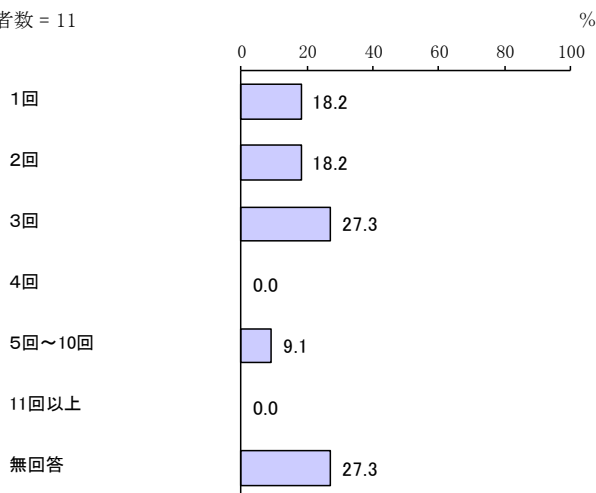
(ア) 週あたりでの増やしたい回数

有効回答がありませんでした。

(イ) 1か月あたりでの増やしたい回数

「3回」の割合が27.3%と最も高く、次いで「1回」、「2回」の割合が18.2%となっています。

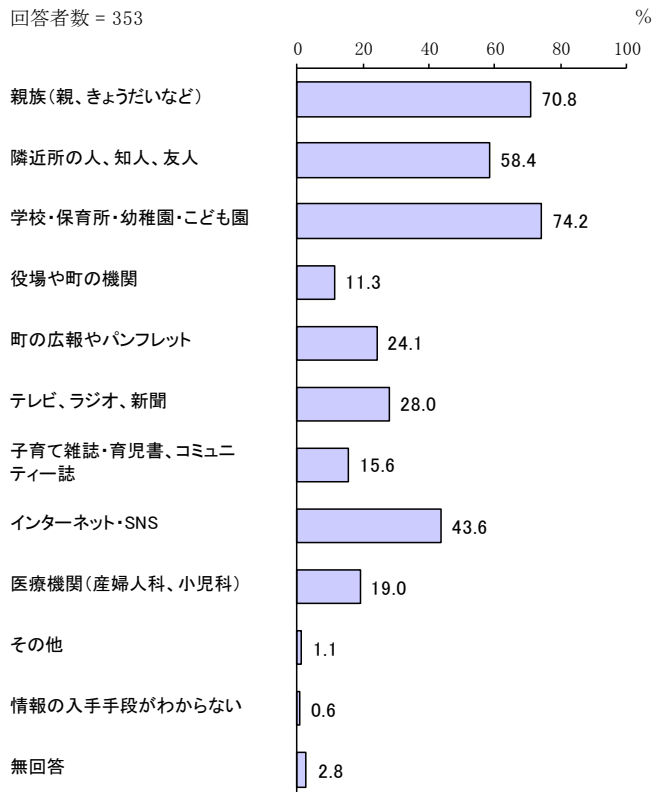
回答者数 = 11



問 16 子育てに関する情報をどのように入手していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

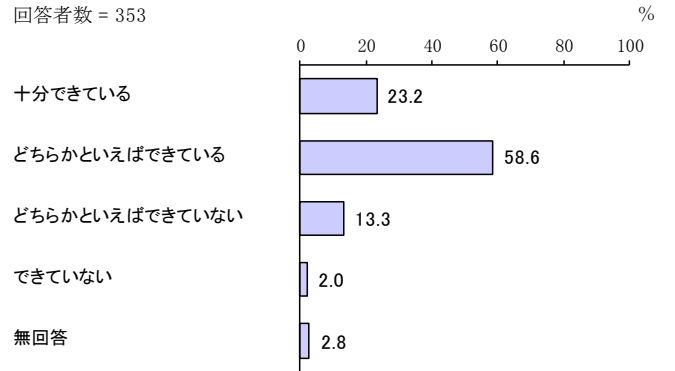
「学校・保育所・幼稚園・こども園」の割合が74.2%と最も高く、次いで「親族（親、きょうだいなど）」の割合が70.8%、「隣近所の人、知人、友人」の割合が58.4%となっています。

回答者数 = 353



問 17 子育てに関する情報は十分に入手できていますか。(いずれか1つに○)

「どちらかといえばできている」の割合が58.6%と最も高く、次いで「十分できている」の割合が23.2%、「どちらかといえばできていない」の割合が13.3%となっています。

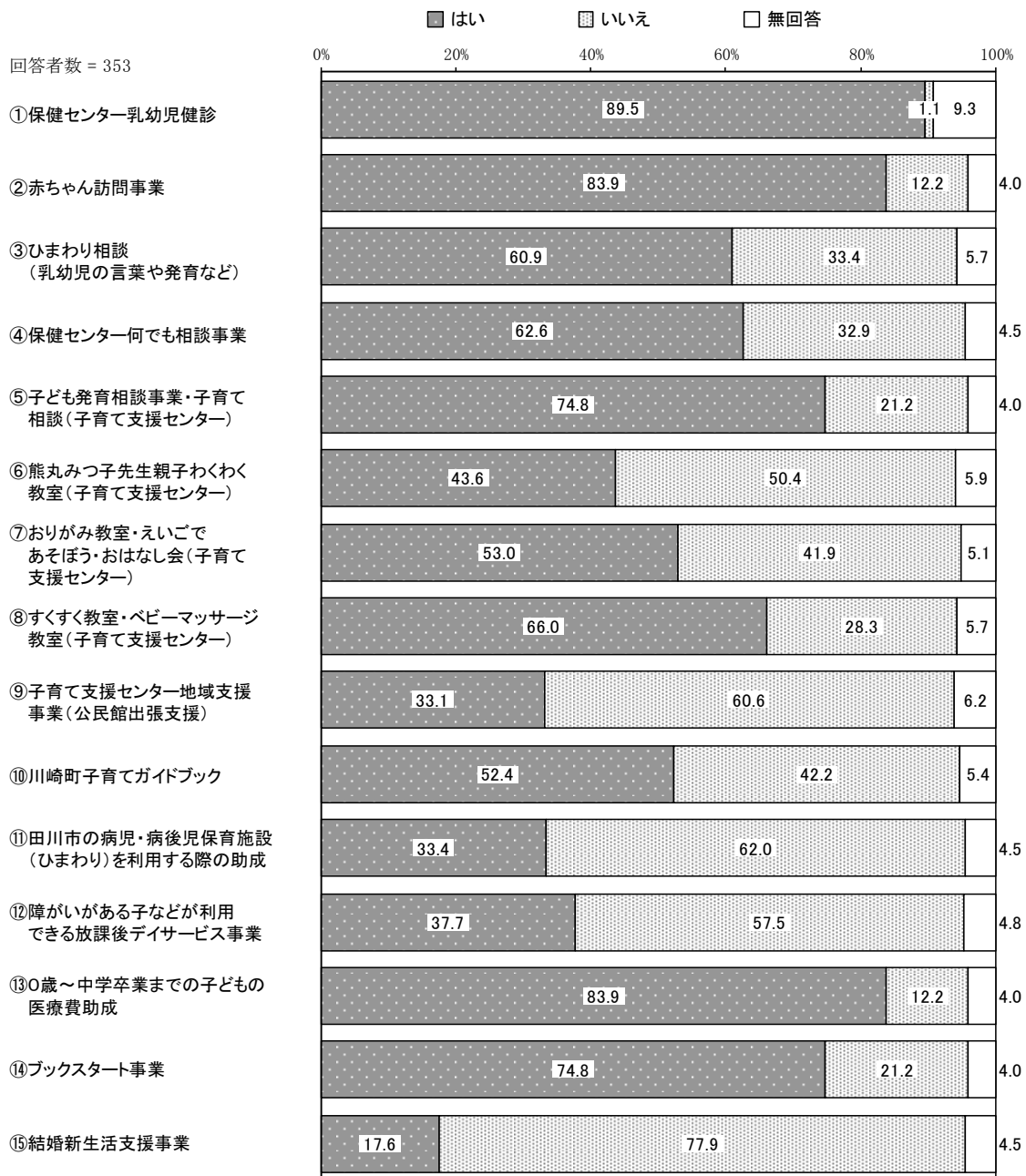


問 18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用した事があるもの、今後、利用したいと思うものについて、事業ごとにお答えください。(A、B、C それぞれに関して「はい」「いいえ」のいずれか1つに○)

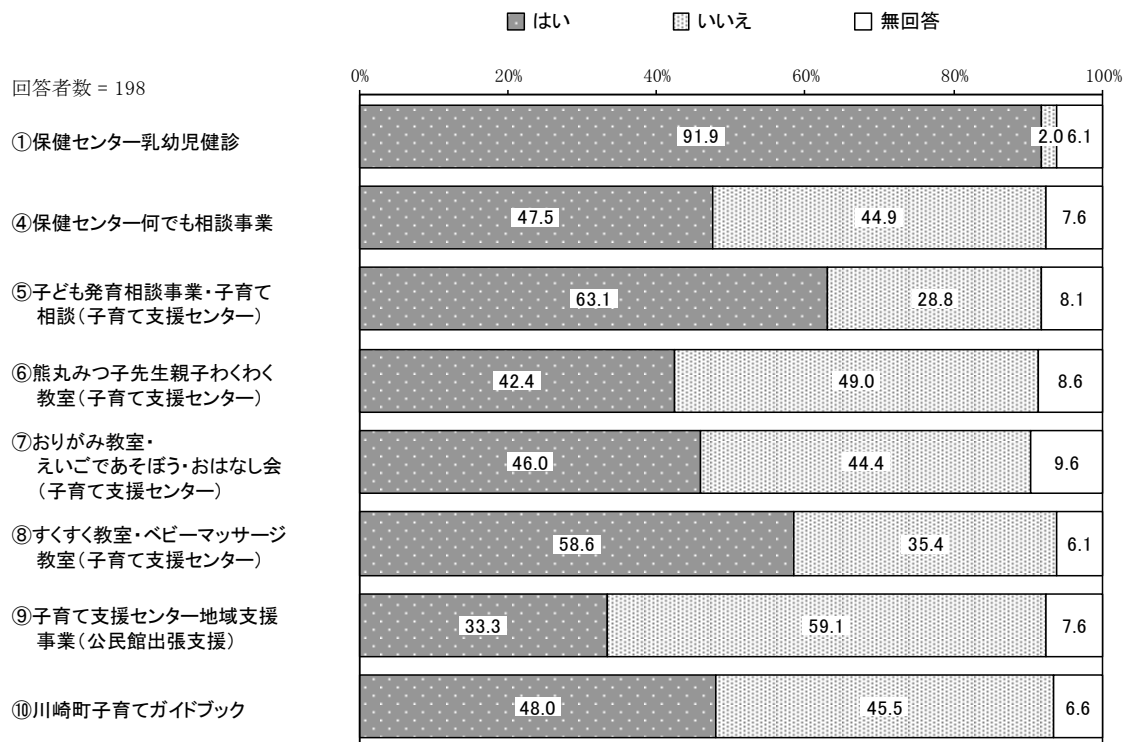
A 知っている

『①保健センター乳幼児健診』で「はい」の割合が、『⑮結婚新生活支援事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、『④保健センター何でも相談事業』『⑤子ども発育相談事業・子育て相談(子育て支援センター)』『⑦おりがみ教室・えいごであそぼう・おはなし会(子育て支援センター)』『⑧すくすく教室・ベビーマッサージ教室(子育て支援センター)』で「はい」の割合が高くなっています。



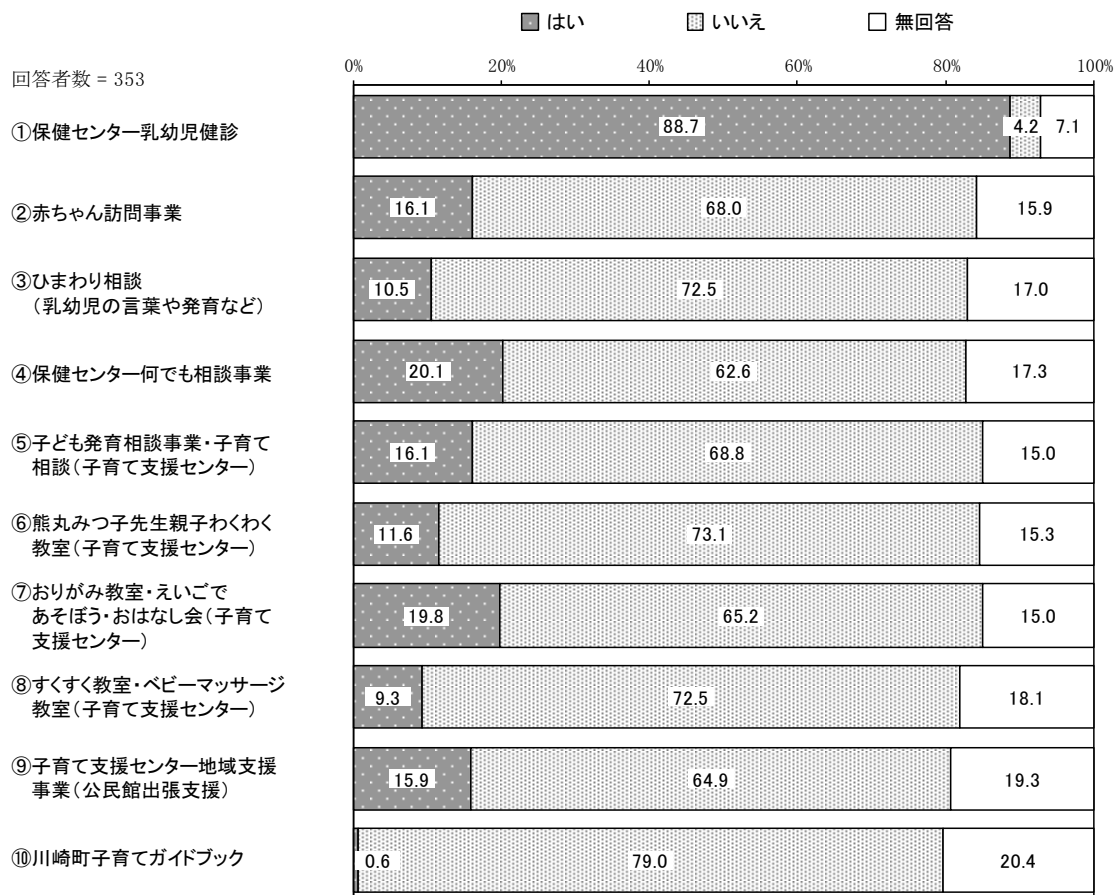
# 平成 25 年度調査



## B これまでに利用したことがある

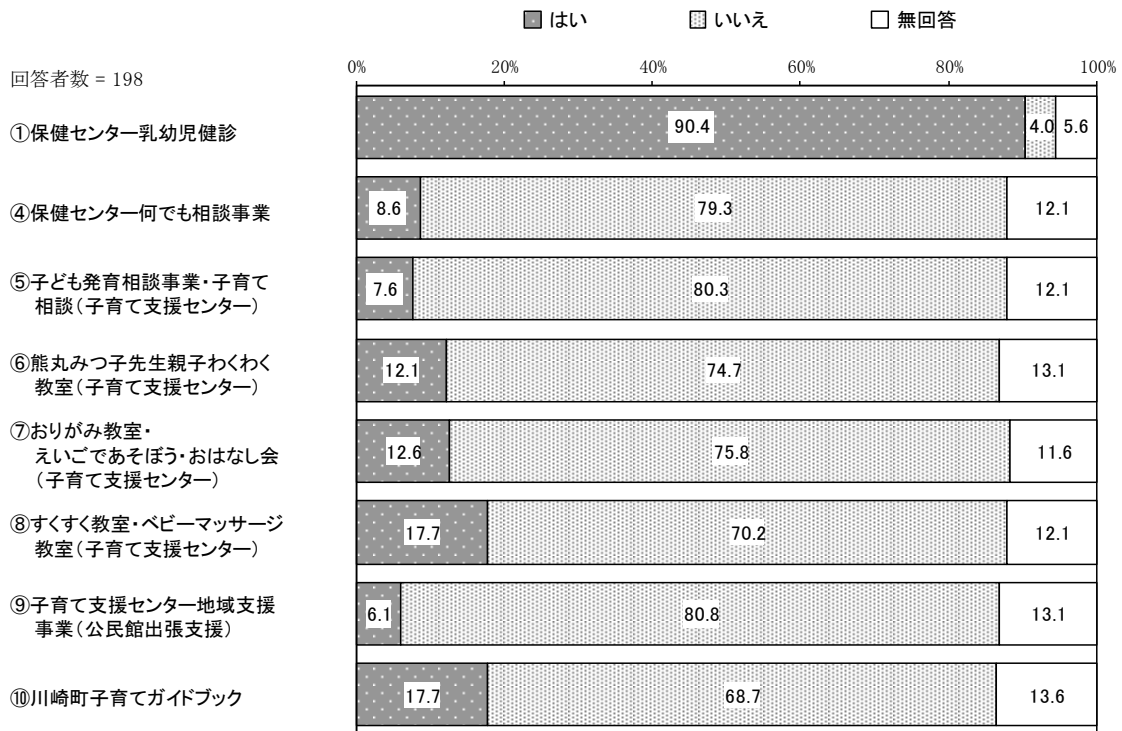
『①保健センター乳幼児健診』で「はい」の割合が、『⑩結婚新生活支援事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、『⑤子ども発育相談事業・子育て相談（子育て支援センター）』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『④保健センター何でも相談事業』『⑤子ども発育相談事業・子育て相談（子育て支援センター）』『⑨子育て支援センター地域支援事業（公民館出張支援）』で「いいえ」の割合が低くなっています。



# 平成 25 年度調査

回答者数 = 198

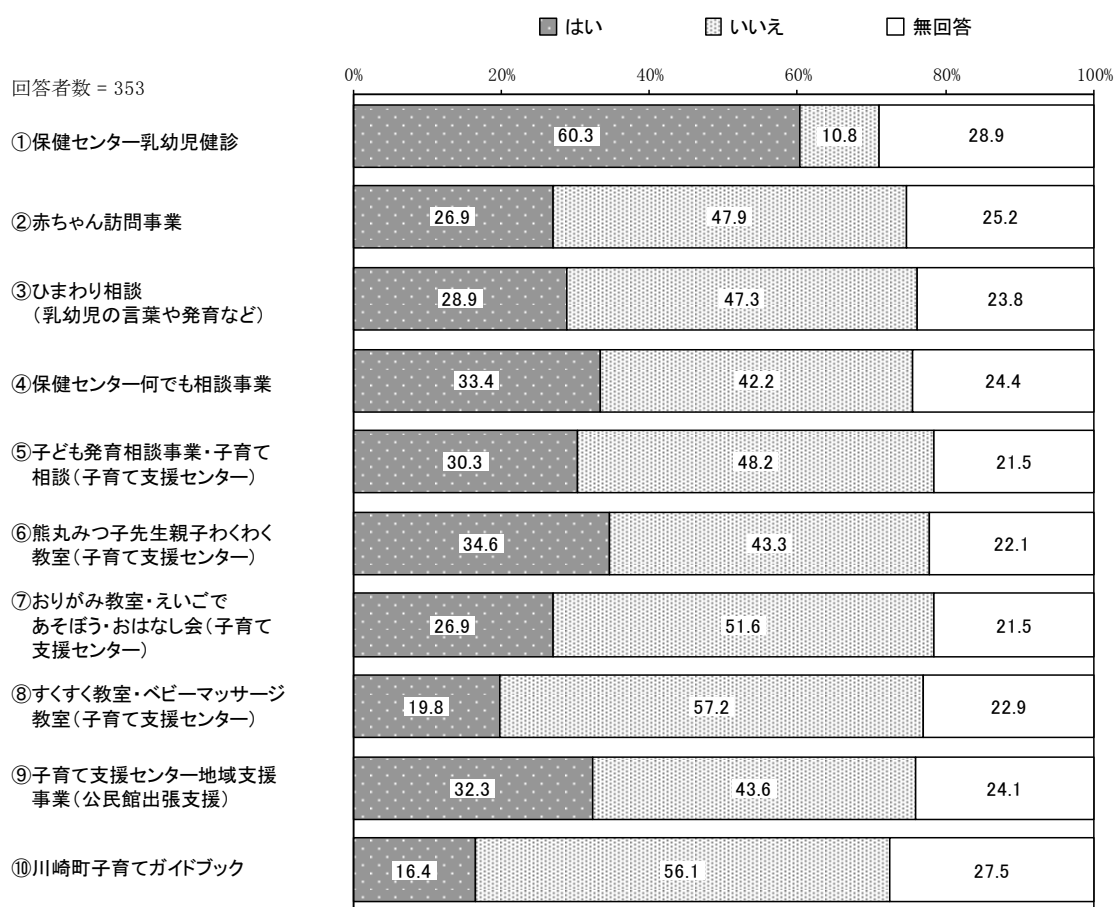




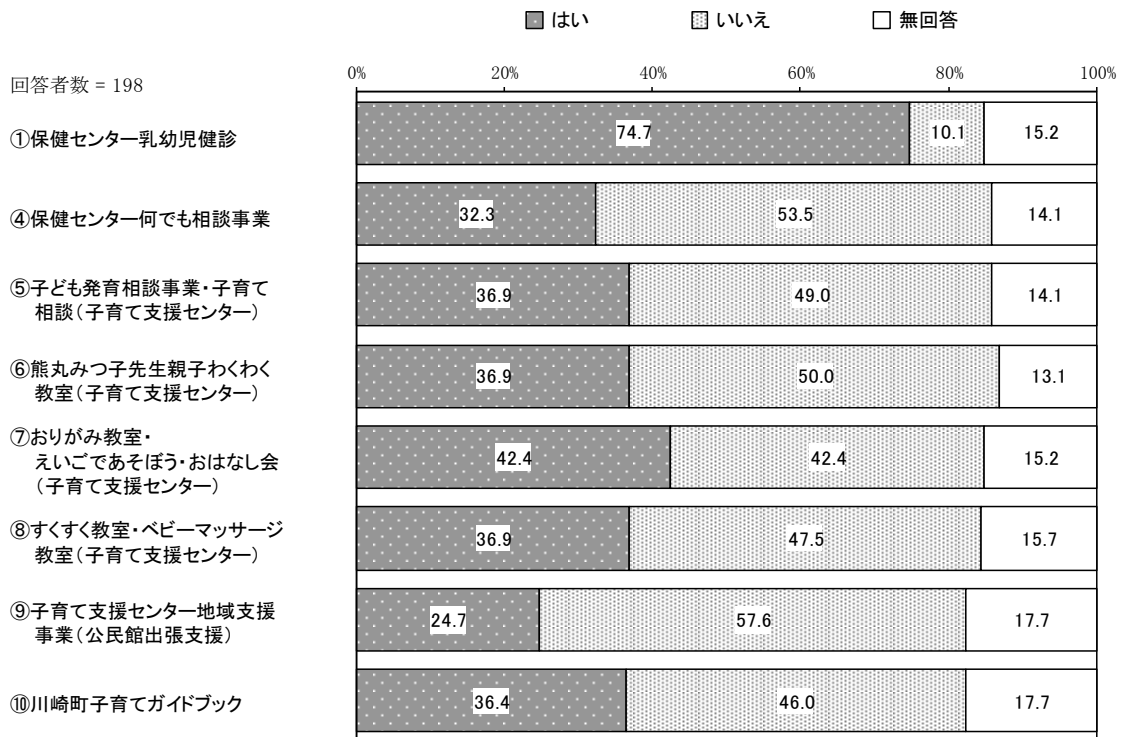
### C 今後利用したい

『①保健センター乳幼児健診』で「はい」の割合が、『⑨子育て支援センター地域支援事業（公民館出張支援）』『⑩結婚新生活支援事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、『①保健センター乳幼児健診』『⑥熊丸みつ子先生親子わくわく教室（子育て支援センター）』『⑦おりがみ教室・えいごであそぼう・おはなし会（子育て支援センター）』『⑧すくすく教室・ベビーマッサージ教室（子育て支援センター）』で「はい」の割合が、『④保健センター何でも相談事業』『⑤子ども発育相談事業・子育て相談（子育て支援センター）』で「いいえ」の割合が低くなっています。



# 平成 25 年度調査

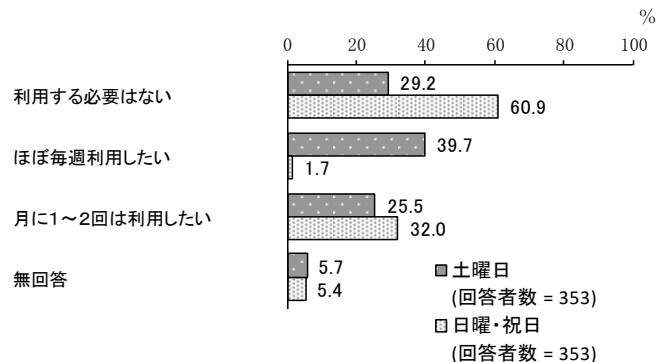


## (7) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 19 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を09時～18時のように24時間制でご記入ください。（いずれか1つに○をつけ、該当する口内に数字で記入）

土曜日では、「ほぼ毎週利用したい」の割合が39.7%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が29.2%、「月に1～2回は利用したい」の割合が25.5%となっています。

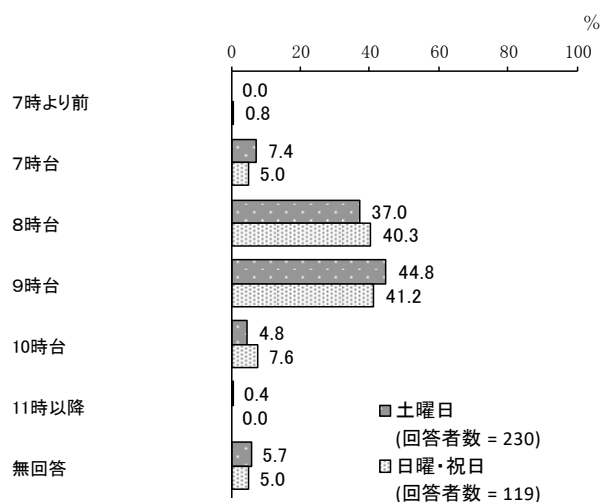
日曜・祝日では、「利用する必要はない」の割合が60.9%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が32.0%となっています。



### (ア) 利用開始時間

土曜日では、「9時台」の割合が44.8%と最も高く、次いで「8時台」の割合が37.0%となっています。

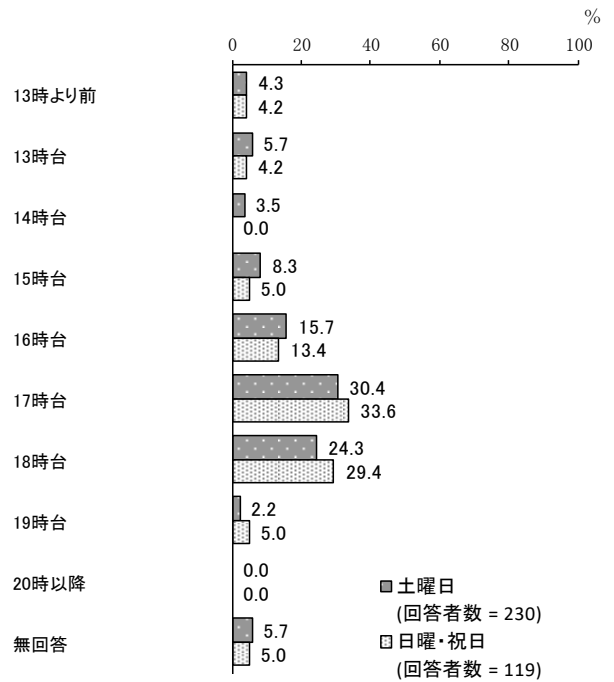
日曜・祝日では、「9時台」の割合が41.2%と最も高く、次いで「8時台」の割合が40.3%となっています。



(イ) 利用終了時間

土曜日では、「17 時台」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 24.3%、「16 時台」の割合が 15.7%となっています。

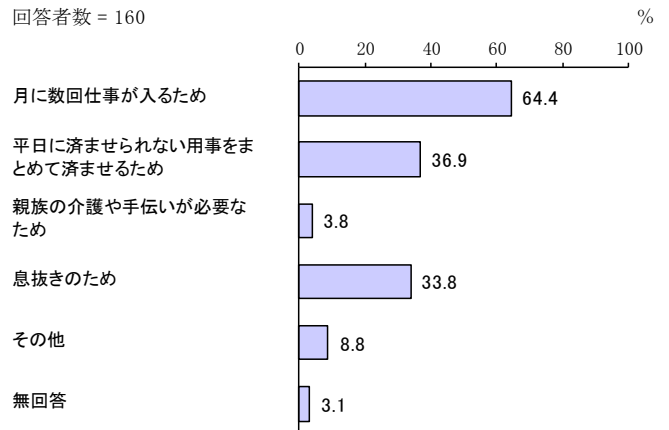
日曜・祝日では、「17 時台」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 29.4%、「16 時台」の割合が 13.4%となっています。



問 19-3 毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「月に数回仕事が入るため」の割合が 64.4%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 36.9%、「息抜きのため」の割合が 33.8%となっています。

回答者数 = 160

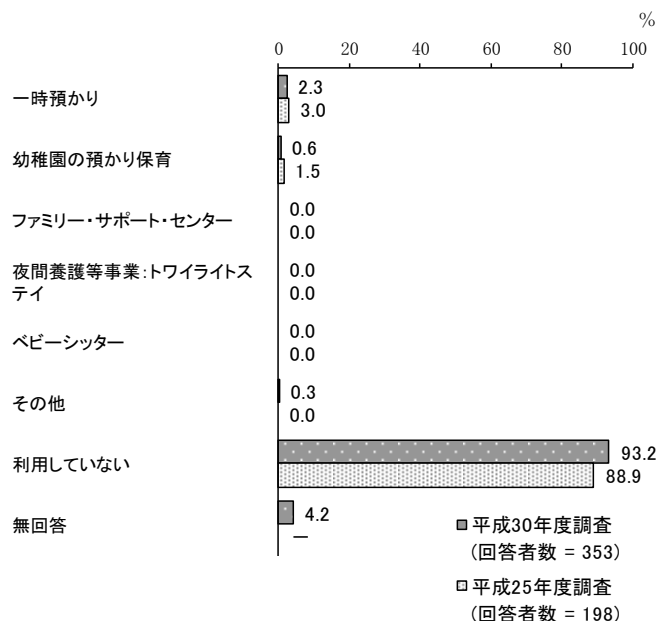


## (8) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 20 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(利用している事業すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数を口内に数字で記入 例：08日)

「利用していない」の割合が93.2%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 利用している事業

有効回答数が少ないためコメントは差し控えます。

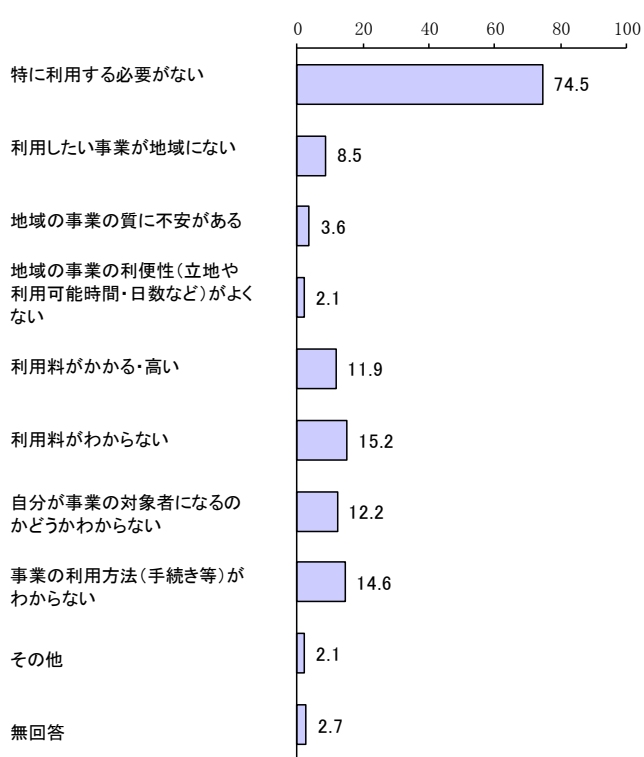
単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日～10日	11日～20日	21日以上	無回答
1. 一時預かり(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	8	25.0	12.5	-	-	-	12.5	-	12.5	37.5
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合の)	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-
3. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4. 夜間養護等事業:トワイライトステイ(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5. ベビーシッター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6. その他	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-

問 20-1 現在利用していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

回答者数 = 329

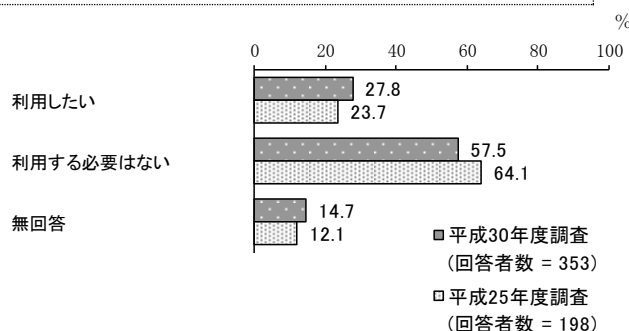
「特に利用する必要がない」の割合が74.5%と最も高く、次いで「利用料がわからない」の割合が15.2%、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」の割合が14.6%となっています。



問 21 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(利用希望の有無については、いずれか1つに○、利用したい理由は、あてはまるものすべてに○、利用したい日数の合計と、目的別の内訳は、該当する口内に数字で記入 例：08日)

「利用したい」の割合が27.8%、「利用する必要はない」の割合が57.5%となっています。

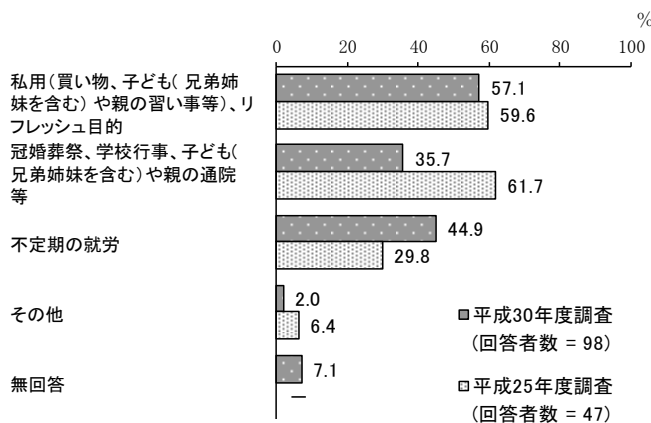
平成25年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



利用したい

「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」の割合が57.1%と最も高く、次いで「不定期の就労」の割合が44.9%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」の割合が35.7%となっています。

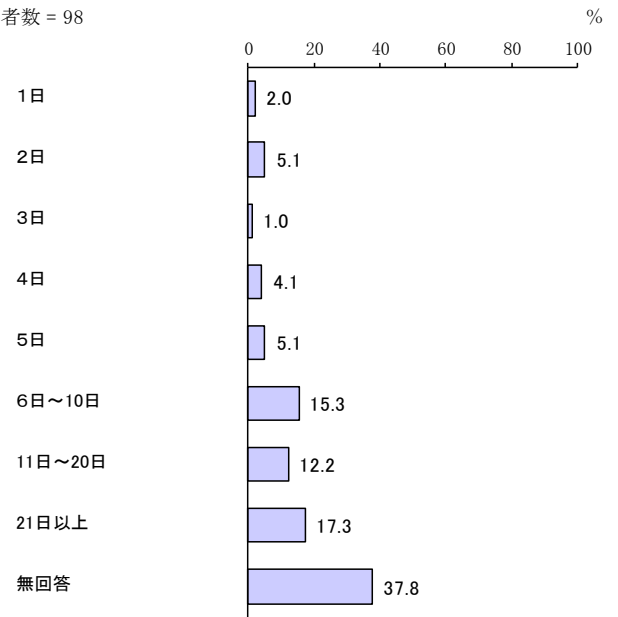
平成25年度調査と比較すると、「不定期の就労」の割合が増加しています。一方、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」の割合が減少しています。



## 合計日数

「21 日以上」の割合が 17.3%と最も高く、次いで「6 日～10 日」の割合が 15.3%、「11 日～20 日」の割合が 12.2%となっています。

回答者数 = 98



## 利用したい事業

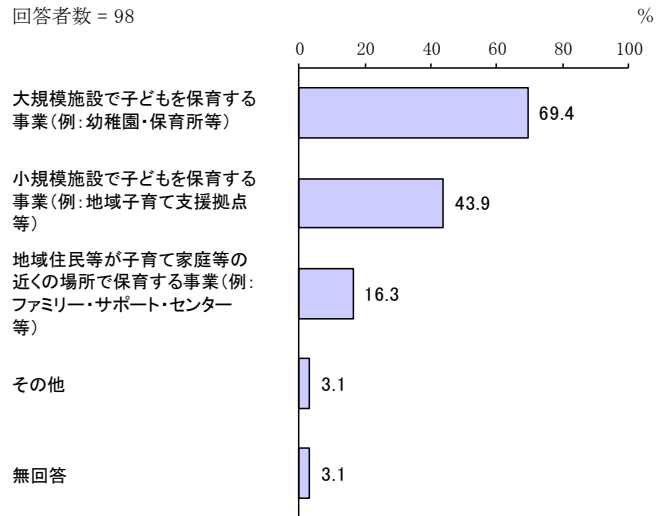
『イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等』で「6 日～10 日」の割合が、『ウ 不定期の就労』で「11 日～20 日」「21 日以上」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日 ～ 10 日	11 日 ～ 20 日	21 日 以上	無 回 答
ア 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)	56	8.9	8.9	5.4	8.9	12.5	16.1	21.4	5.4	12.5
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	35	-	11.4	5.7	2.9	25.7	28.6	11.4	2.9	11.4
ウ 不定期の就労	44	2.3	4.5	2.3	2.3	2.3	18.2	31.8	15.9	20.5
エ その他	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0

問 21-1 問 21 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

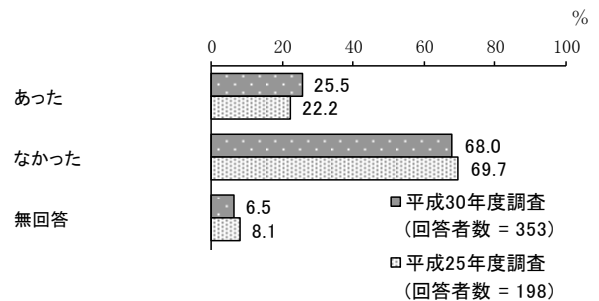
「大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)」の割合が 69.4%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域子育て支援拠点等)」の割合が 43.9%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」の割合が 16.3%となっています。



問 22 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。)あった場合は、この1年間に行った対処方法と、その日数をご記入ください。「あった」か「なかった」は、いずれか1つに○、対処方法は、あてはまるものすべてに○、日数は、該当する□内に数字で記入 例:08日)

「あった」の割合が 25.5%、「なかった」の割合が 68.0%となっています。

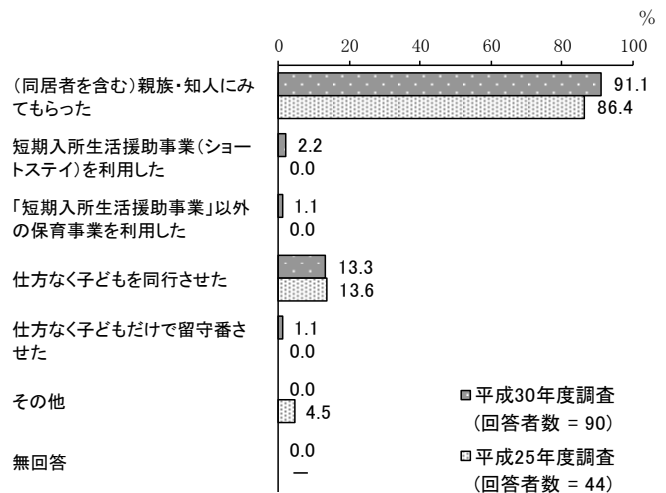
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



あった

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が 91.1%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が 13.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。





## 1年間の対処方法

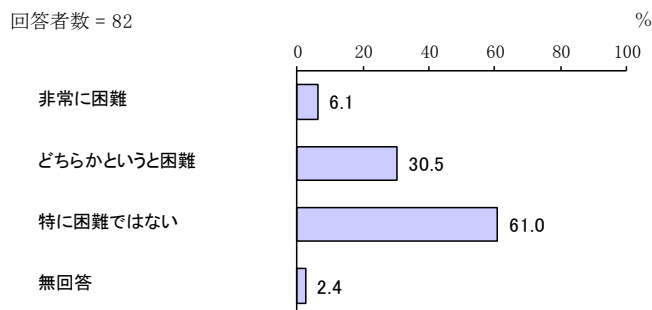
『エ 仕方なく子どもを同行させた』で「1泊」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊 ～ 10泊	11泊 ～ 20泊	21泊 以上	無回答
ア (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	82	19.5	9.8	7.3	3.7	12.2	15.9	4.9	4.9	22.0
イ 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子ども	2	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
ウ イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
エ 仕方なく子どもを同行させた	12	41.7	-	-	-	-	8.3	8.3	-	41.7
オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
カ その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

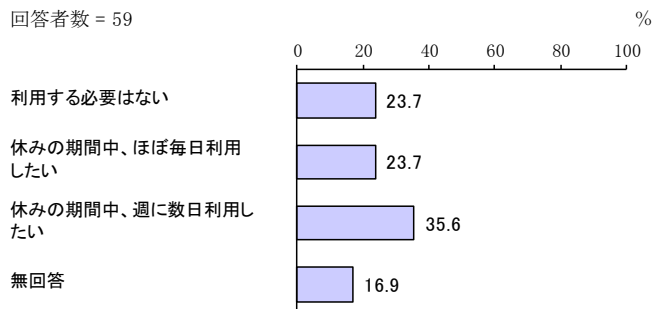
### 問 22-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。(いずれか1つに○)

「特に困難ではない」の割合が61.0%と最も高く、次いで「どちらかという困難」の割合が30.5%となっています。



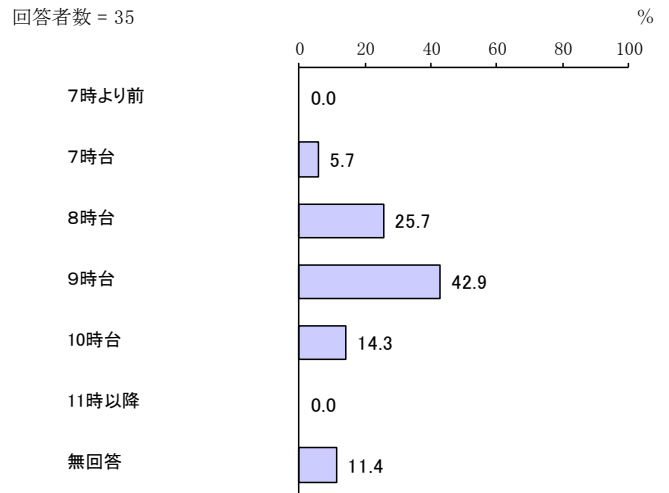
### 問 23 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、09時～18時のように24時間制でご記入ください。(いずれか1つに○をつけ、該当する口内に数字で記入)

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が35.6%と最も高く、次いで「利用する必要はない」、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が23.7%となっています。



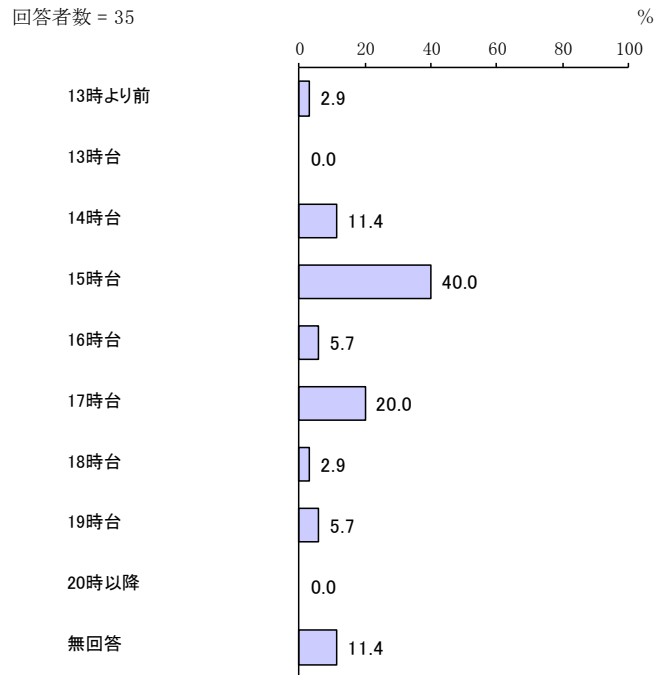
(ア) 利用開始時刻

「9時台」の割合が42.9%と最も高く、次いで「8時台」の割合が25.7%、「10時台」の割合が14.3%となっています。



(イ) 利用終了時刻

「15時台」の割合が40.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が20.0%、「14時台」の割合が11.4%となっています。

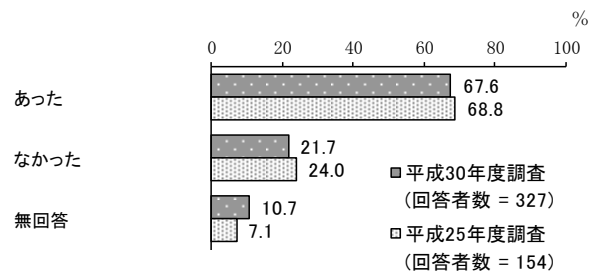


(9) 病気の際の対応について (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 24 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(いずれか1つに○)

「あった」の割合が67.6%、「なかった」の割合が21.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、1歳で「あった」の割合が、5歳で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
0歳	17	70.6	17.6	11.8
1歳	23	82.6	13.0	4.3
2歳	39	66.7	23.1	10.3
3歳	55	76.4	20.0	3.6
4歳	93	64.5	20.4	15.1
5歳	82	64.6	25.6	9.8

### 【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中）で「あった」の割合が高くなっています。

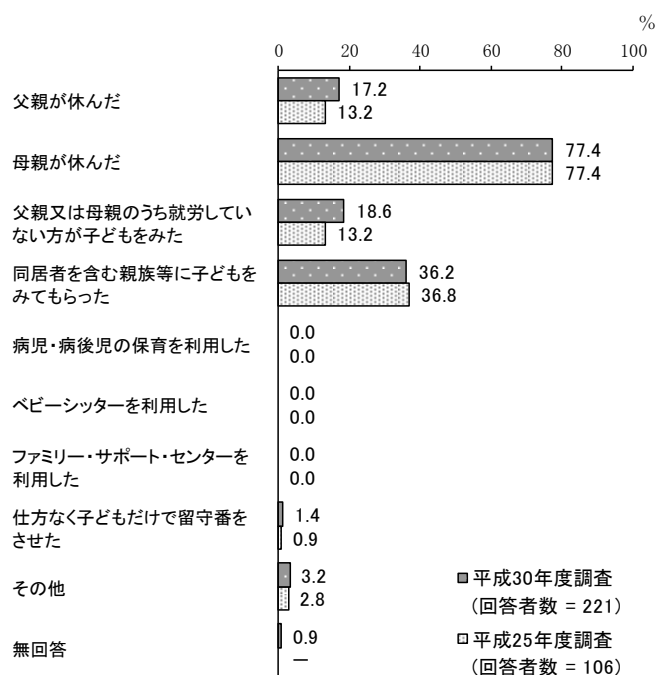
単位：％

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイムで就労している(産休・育休・介護休業中ではない)	116	75.0	16.4	8.6
フルタイムで就労している(産休・育休・介護休業中)	20	80.0	10.0	10.0
パートタイム等で就労している(産休・育休・介護休業中ではない)	110	67.3	23.6	9.1
パートタイム等で就労している(産休・育休・介護休業中)	7	57.1	42.9	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	51	66.7	21.6	11.8
これまで就労したことがない	6	16.7	50.0	33.3

問 24-1 お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法と、その日数をご記入ください。  
 (対処方法は、あてはまるものすべてに○、日数は、該当する口内に数字で記入)

「母親が休んだ」の割合が77.4%と最も高く、次いで「同居者を含む親族等に子どもをみてもらった」の割合が36.2%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が18.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が増加しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、0歳で「母親が休んだ」の割合が、2歳で「同居者を含む親族等に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	同居者を含む親族等に子どもをみてもらった	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
0歳	12	16.7	91.7	16.7	33.3	—	—	—	—	—	—
1歳	19	21.1	78.9	21.1	36.8	—	—	—	—	5.3	—
2歳	26	15.4	80.8	19.2	57.7	—	—	—	—	—	3.8
3歳	42	16.7	78.6	23.8	28.6	—	—	—	—	—	—
4歳	60	20.0	73.3	16.7	36.7	—	—	—	1.7	5.0	1.7
5歳	53	17.0	73.6	17.0	35.8	—	—	—	3.8	5.7	—

## 【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、パートタイム等で就労している（産休・育休・介護休業中ではない）で「母親が休んだ」の割合が、フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）で「同居者を含む親族等に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	同居者を含む親族等に子どもをみてもらった	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）	87	25.3	87.4	10.3	46.0	—	—	—	—	3.4	1.1
フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中）	16	18.8	62.5	25.0	31.3	—	—	—	—	—	—
パートタイム等で就労している（産休・育休・介護休業中ではない）	74	10.8	90.5	6.8	35.1	—	—	—	1.4	2.7	—
パートタイム等で就労している（産休・育休・介護休業中）	4	50.0	100.0	—	—	—	—	—	25.0	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	34	8.8	32.4	67.6	11.8	—	—	—	—	5.9	2.9
これまで就労したことがない	1	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—

## 1年間の対処方法

『1. 父親が休んだ』で「2日」の割合が、『2. 母親が休んだ』で「6日～10日」「11日～20日」の割合が高くなっています。また、『3. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた』で「21日以上」の割合が高くなっています。

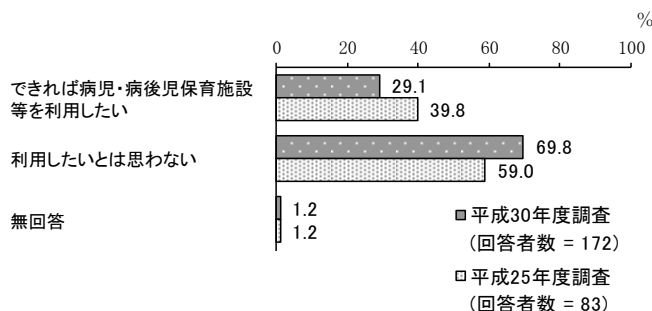
単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日 ～ 10日	11日 ～ 20日	21日 以上	無回答
1. 父親が休んだ	38	13.2	36.8	2.6	2.6	10.5	15.8	5.3	-	13.2
2. 母親が休んだ	173	4.6	8.7	11.0	3.5	11.0	24.3	15.0	4.0	17.9
3. 父親又は母親のうち 就労していない方が 子どもをみた	41	9.8	9.8	12.2	-	4.9	19.5	4.9	17.1	22.0
4. 同居者を含む親族等 に子どもをみてもらっ た	80	5.0	12.5	8.8	2.5	15.0	22.5	10.0	2.5	21.3
5. 病児・病後児の保育 を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6. ベビーシッターを利用 した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7. ファミリー・サポート・ センターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8. 仕方なく子どもだけで 留守番をさせた	3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3
9. その他	7	-	-	-	-	14.3	42.9	-	-	42.9

**問 24-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。  
(いずれか1つに○をつけ、日数については□内に数字で記入)**

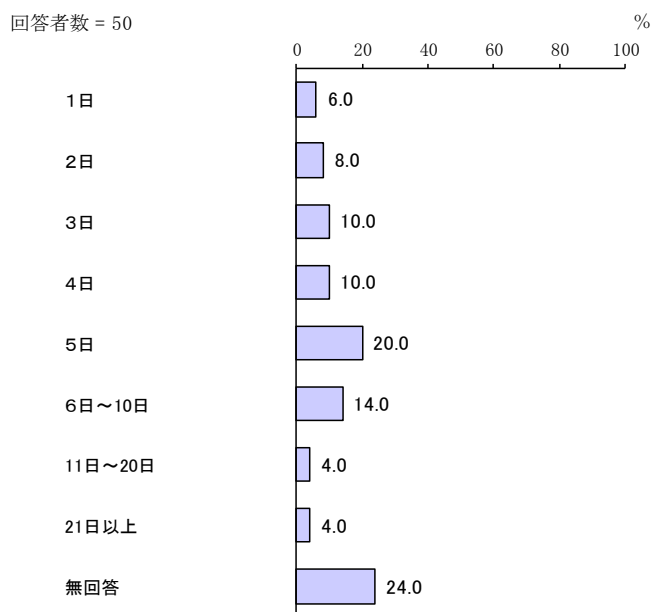
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が29.1%、「利用したいとは思わない」の割合が69.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用したいとは思わない」の割合が増加しています。一方、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が減少しています。



**病児・病後児保育施設等を利用したい日数**

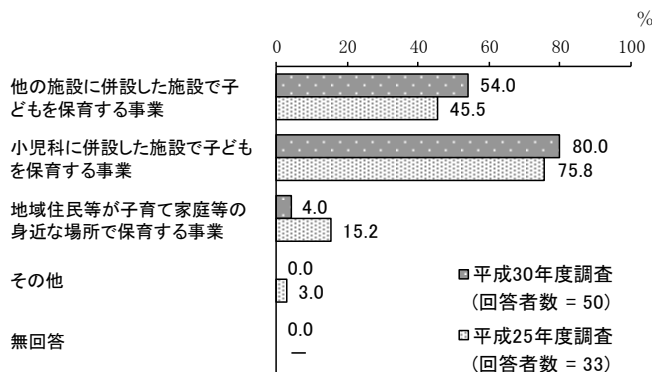
「5日」の割合が20.0%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が14.0%、「3日」、「4日」の割合が10.0%となっています。



**問 24-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)**

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が80.0%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が54.0%となっています。

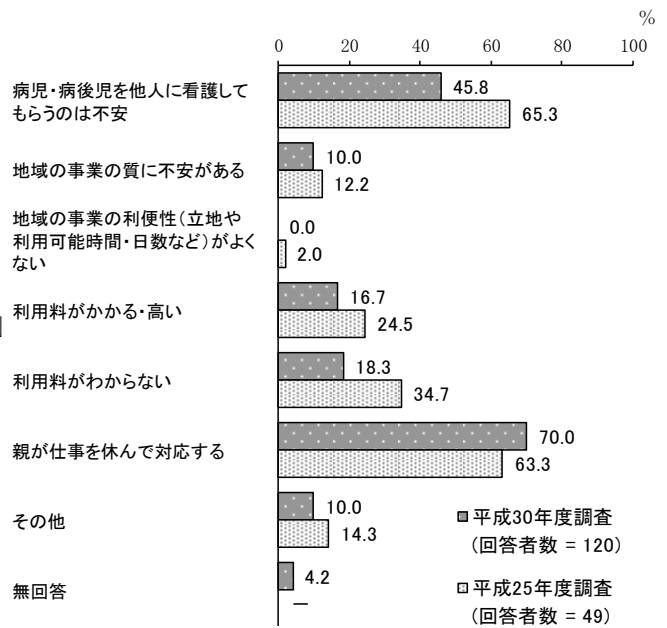
平成25年度調査と比較すると、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が増加しています。一方、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が減少しています。



問 24-4 「利用したいとは思わない」理由はなんですか。  
(あてはまるものすべてに○)

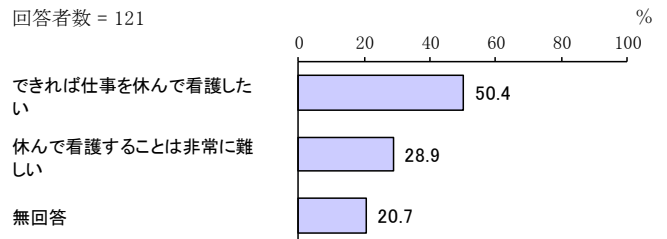
「親が仕事を休んで対応する」の割合が70.0%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」の割合が45.8%、「利用料がわからない」の割合が18.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「親が仕事を休んで対応する」の割合が増加しています。一方、「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」「利用料がかかる・高い」「利用料がわからない」の割合が減少しています。



問 24-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。(いずれか1つに○をつけ、「3.」から「9.」の日数のうち仕事を休んで看護したかった日数については□内に数字で記入)

「できれば仕事を休んで看護したい」の割合が50.4%、「休んで看護することは非常に難しい」の割合が28.9%となっています。

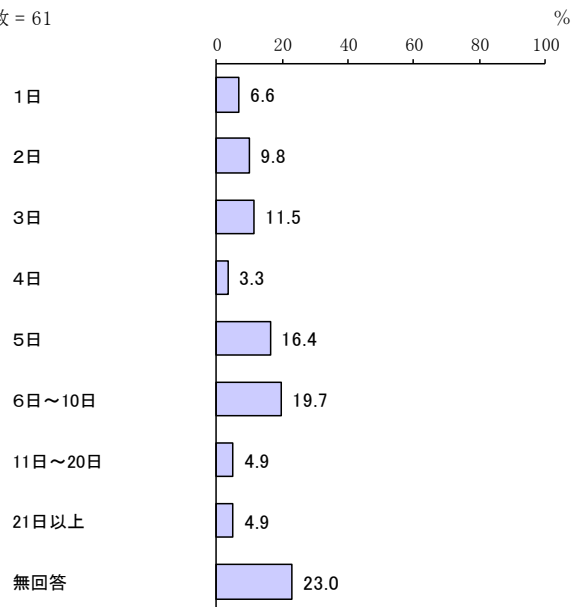




### できれば仕事を休んで看たい日数

「6日～10日」の割合が19.7%と最も高く、次いで「5日」の割合が16.4%、「3日」の割合が11.5%となっています。

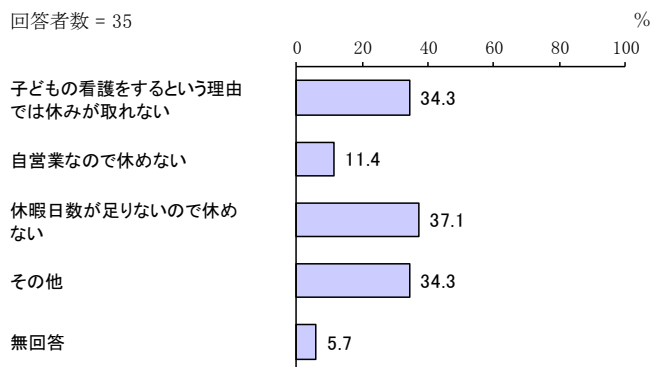
回答者数 = 61



### 問 24-6 「休んで看護することは非常に難しい」理由は何ですか。 (あてはまるものすべてに○)

「休暇日数が足りないので休めない」の割合が37.1%と最も高く、次いで「子どもの看護をするという理由では休みが取れない」の割合が34.3%、「自営業なので休めない」の割合が11.4%となっています。

回答者数 = 35

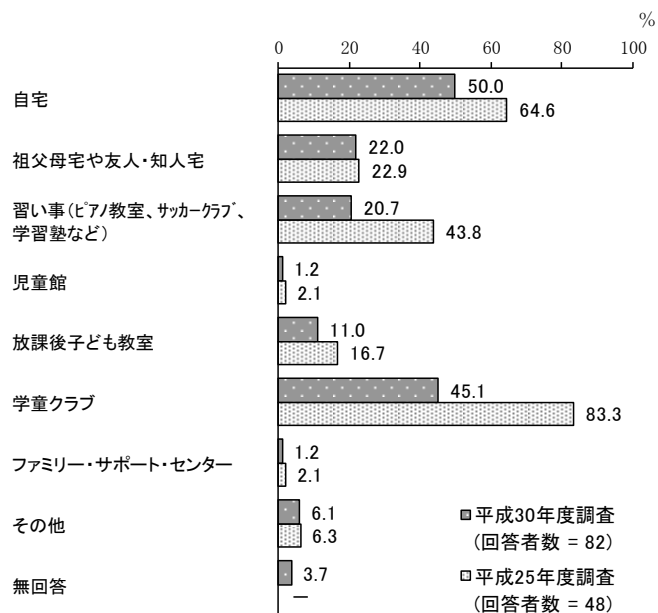


## (10) 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 25 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。  
 （あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を□内に数字で記入、学童クラブの場合は、希望する時間を18時などの24時間制で□内に記入）

「自宅」の割合が50.0%と最も高く、次いで「学童クラブ」の割合が45.1%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が22.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「自宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「放課後子ども教室」「学童クラブ」の割合が減少しています。



### 放課後の過ごし方

『3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』で「1日」の割合が、『6. 学童クラブ』で「5日」の割合が高くなっています。

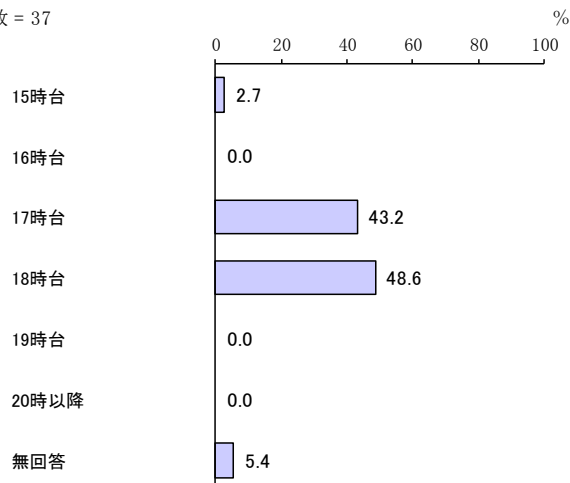
単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
1. 自宅	84	3.6	14.3	9.5	4.8	54.8	13.1
2. 祖父母宅や友人・知人宅	37	21.6	10.8	13.5	2.7	37.8	13.5
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	33	60.6	30.3	9.1	-	-	-
4. 児童館	2	-	-	-	-	50.0	50.0
5. 放課後子ども教室	22	18.2	31.8	4.5	4.5	40.9	-
6. 学童クラブ	89	-	4.5	10.1	10.1	66.3	9.0
7. ファミリー・サポート・センター	3	33.3	-	33.3	-	33.3	-
8. その他(公民館、公園など)	9	33.3	22.2	-	11.1	33.3	-

## 学童クラブ 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 43.2%となっています。

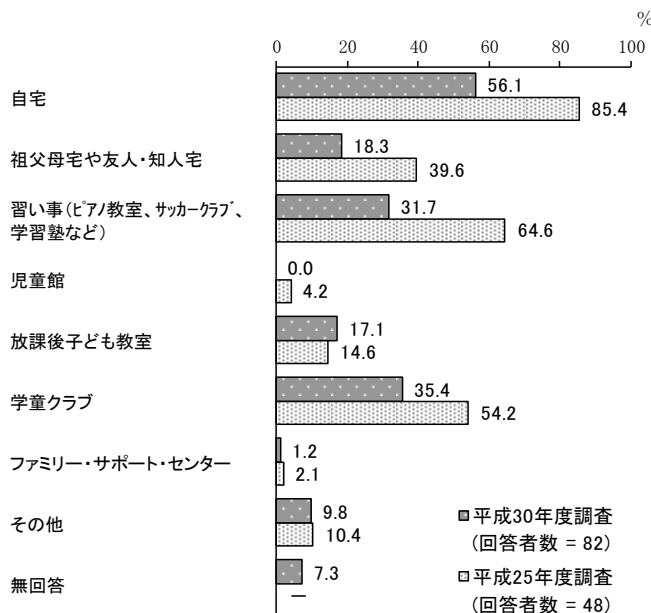
回答者数 = 37



**問 26** お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。だいたいの話になりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。  
 （あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を口内に数字で記入、学童クラブの場合は、希望する時間を18時などの24時間制で口内に記入）

「自宅」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「学童クラブ」の割合が 35.4%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 31.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「自宅」「祖母母宅や友人・知人宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「学童クラブ」の割合が減少しています。



### 放課後の過ごさせ方

『3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』で「2日」の割合が、『6. 学童クラブ』で「5日」の割合が高くなっています。

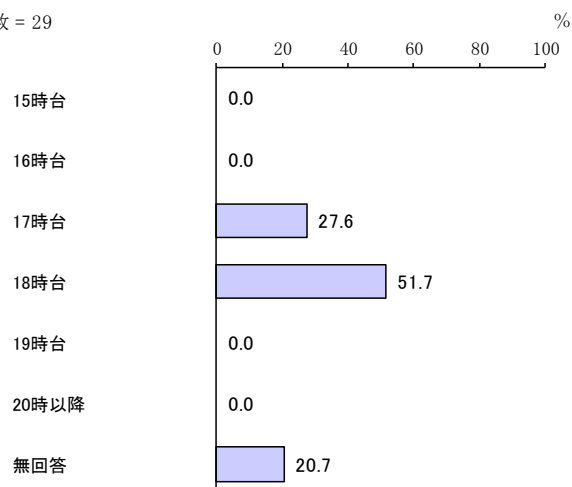
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
1. 自宅	117	6.0	14.5	8.5	6.8	47.0	17.1
2. 祖父母宅や友人・知人宅	41	22.0	9.8	19.5	-	31.7	17.1
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	63	30.2	44.4	14.3	4.8	1.6	4.8
4. 児童館	4	-	-	-	-	50.0	50.0
5. 放課後子ども教室	27	25.9	22.2	18.5	3.7	29.6	-
6. 学童クラブ	70	1.4	10.0	5.7	7.1	61.4	14.3
7. ファミリー・サポート・センター	3	-	-	-	33.3	66.7	-
8. その他(公民館、公園など)	16	18.8	25.0	12.5	-	25.0	18.8

### 学童クラブ 利用終了時刻

「18時台」の割合が51.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が27.6%となっています。

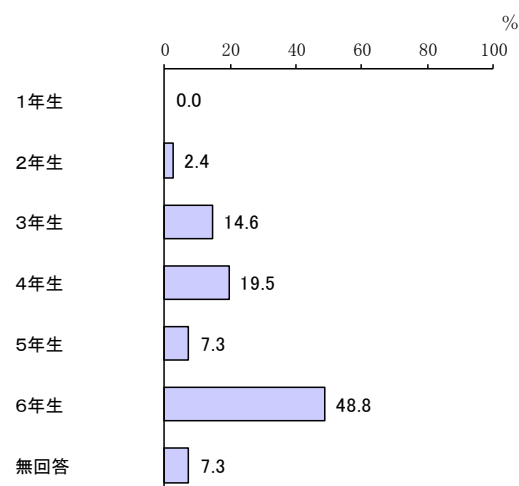
回答者数 = 29



問 27-1 お子さんについて、平日、学童クラブに通わせる場合、何年生までを考えていますか。(該当する口内に数字で記入)

「6年生」の割合が48.8%と最も高く、次いで「4年生」の割合が19.5%、「3年生」の割合が14.6%となっています。

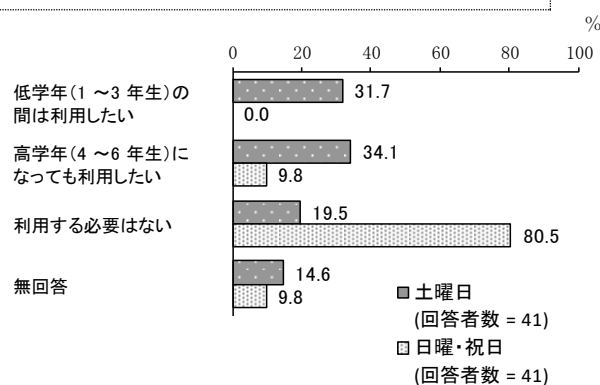
回答者数 = 41



問 27-2 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を09時～18時のように24時間制でご記入ください。(いずれか1つに○をつけ、該当する口内に数字で記入)

土曜日では、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が34.1%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が31.7%、「利用する必要はない」の割合が19.5%となっています。

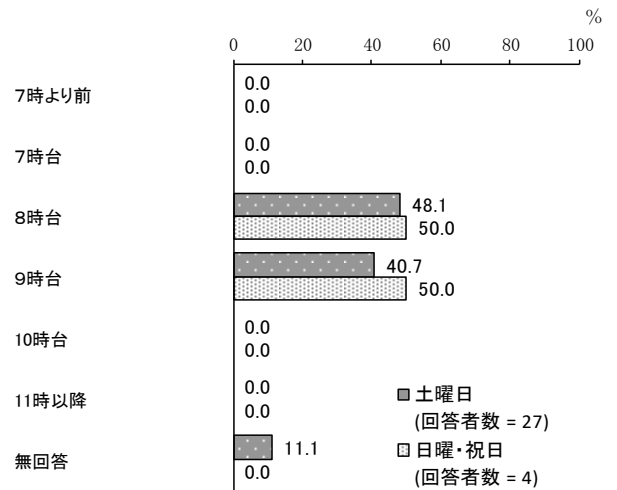
日曜・祝日では、「利用する必要はない」の割合が80.5%と最も高くなっています。



## ア 利用開始時間

土曜日では、「8時台」の割合が48.1%と最も高く、次いで「9時台」の割合が40.7%となっています。

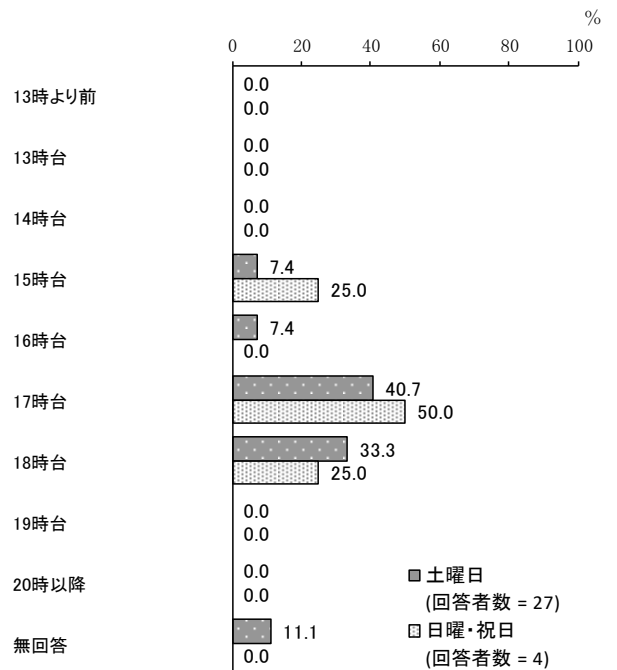
日曜・祝日では、「8時台」、「9時台」が2件となっています。



## イ 利用終了時間

土曜日では、「17時台」の割合が40.7%と最も高く、次いで「18時台」の割合が33.3%となっています。

日曜・祝日では、「17時台」が2件、「15時台」、「18時台」が1件となっています。

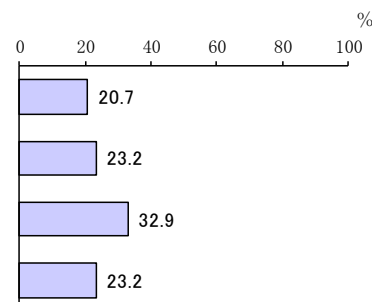


問 28 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。  
(いずれか 1 つに○をつけ、該当する口内に数字で記入)

「利用する必要はない」の割合が 32.9%と最も高く、次いで「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」の割合が 23.2%、「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」の割合が 20.7%となっています。

回答者数 = 82

低学年(1～3 年生)の間は利用したい  
高学年(4～6 年生)になっても利用したい  
利用する必要はない  
無回答

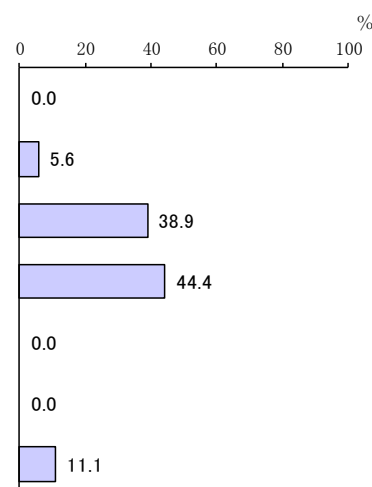


### ア 利用開始時刻

「9 時台」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 38.9%となっています。

回答者数 = 36

7時より前  
7時台  
8時台  
9時台  
10時台  
11時以降  
無回答

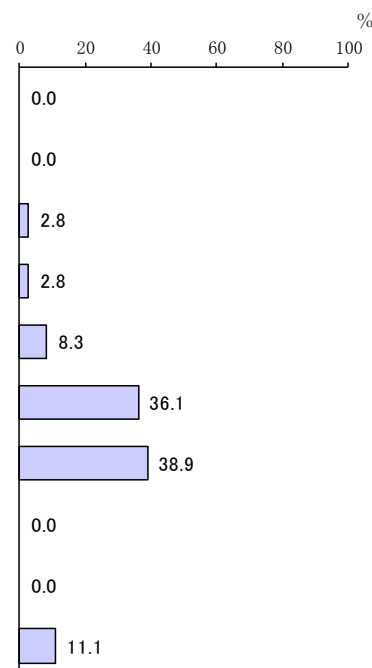


### イ 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 36.1%となっています。

回答者数 = 36

13時より前  
13時台  
14時台  
15時台  
16時台  
17時台  
18時台  
19時台  
20時以降  
無回答



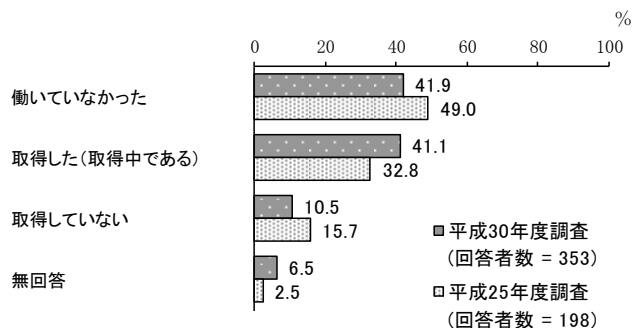
## (11) 育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度について

問 29 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親それぞれについて、いずれか1つに○)

### ア 母親

「働いていなかった」の割合が41.9%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が41.1%、「取得していない」の割合が10.5%となっています。

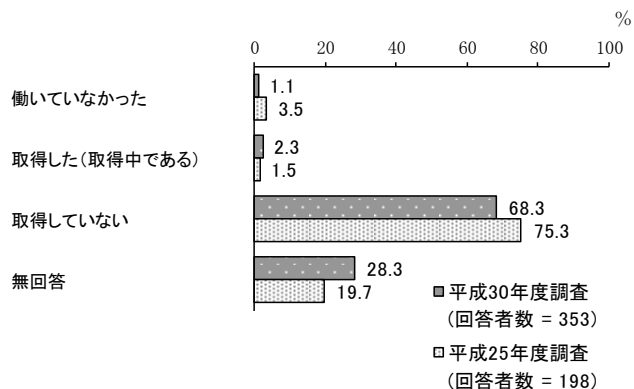
平成25年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」「取得していない」の割合が減少しています。



### イ 父親

「取得していない」の割合が68.3%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「取得していない」の割合が減少しています。



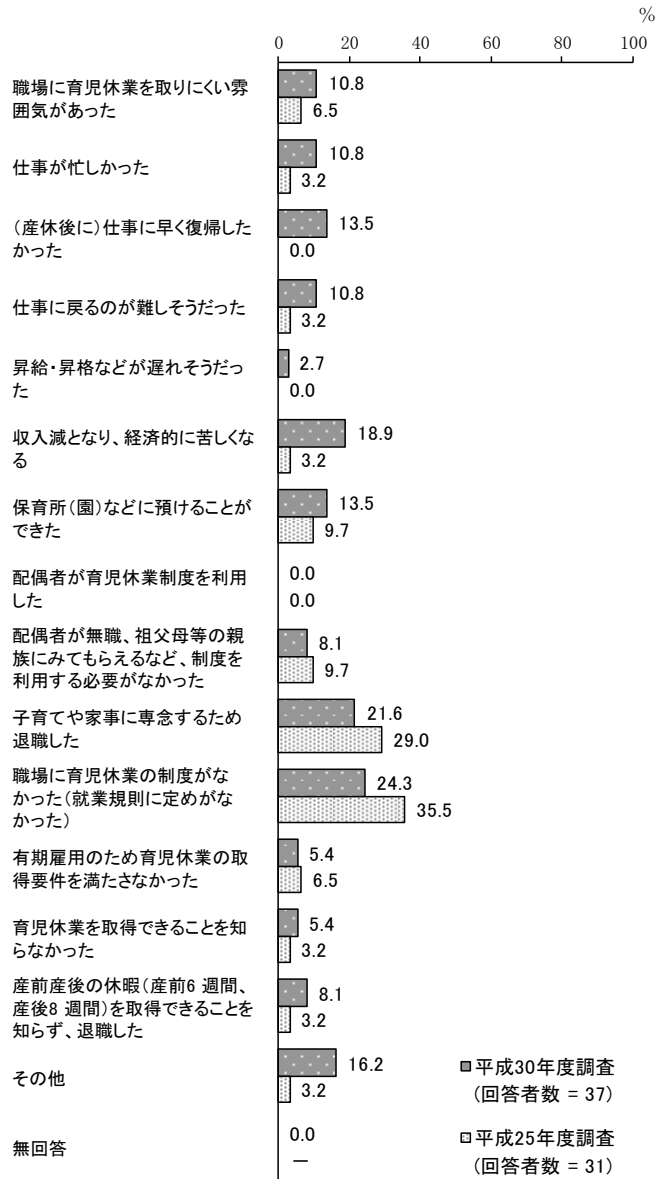


問 29-1 取得していない理由は何ですか。  
 (「母親」「父親」欄の該当する項目、あてはまるものすべてに○)

ア 母親

「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」の割合が24.3%と最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が21.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が18.9%となっています。

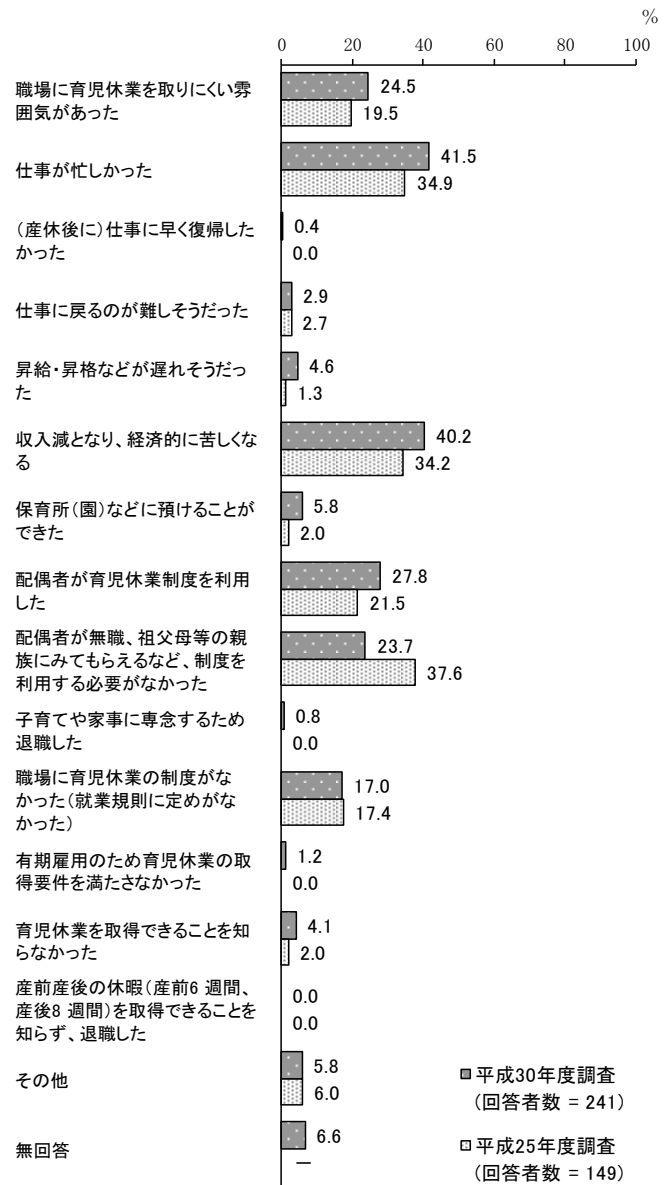
平成25年度調査と比較すると、「仕事が忙しかった」「(産休後に)仕事に早く復帰したかった」「仕事に戻るのが難しそうだった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が増加しています。一方、「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」の割合が減少しています。



## イ 父親

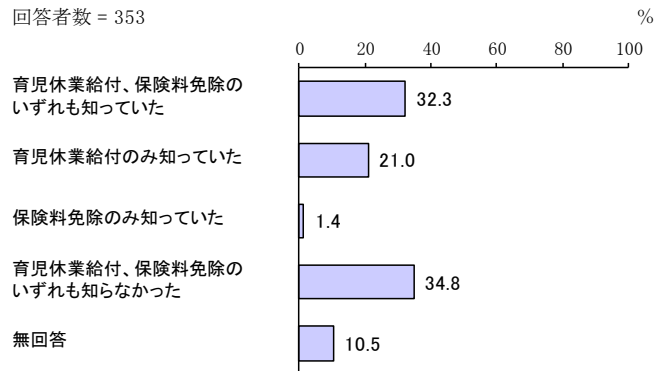
「仕事が忙しかった」の割合が41.5%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が40.2%、「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が27.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「仕事が忙しかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が増加しています。一方、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。



問 29-2 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。（いずれか1つに○）

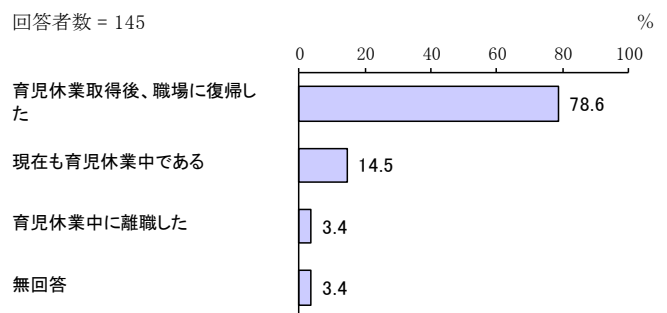
「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が34.8%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が32.3%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が21.0%、「保険料免除のみ知っていた」の割合が1.4%となっています。



問 29-3 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（いずれか1つに○）

ア 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が78.6%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が14.5%となっています。



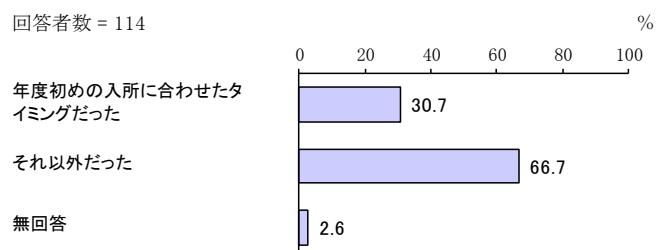
イ 父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」が6件となっています。「育児休業中に離職した」が2件となっています。

問 29-4 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（いずれか1つに○）

ア 母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が30.7%、「それ以外だった」の割合が66.7%となっています。



## イ 父親

有効回答がありません。

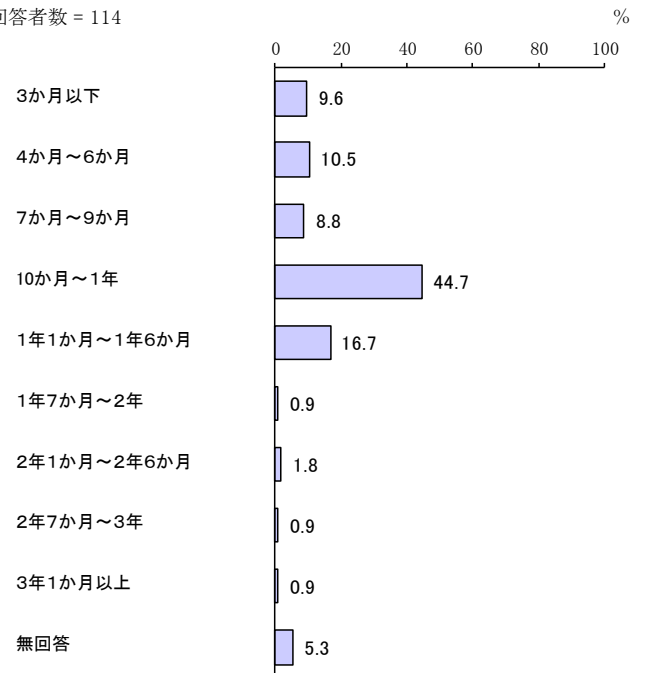
問 29-5 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月の時に職場に復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(該当する口内に数字で記入 例：1歳07ヶ月)

## ア 母親

### (ア) 実際の取得期間

「10 か月～1年」の割合が44.7%と最も高く、次いで「1年1 か月～1年6 か月」の割合が16.7%、「4 か月～6 か月」の割合が10.5%となっています。

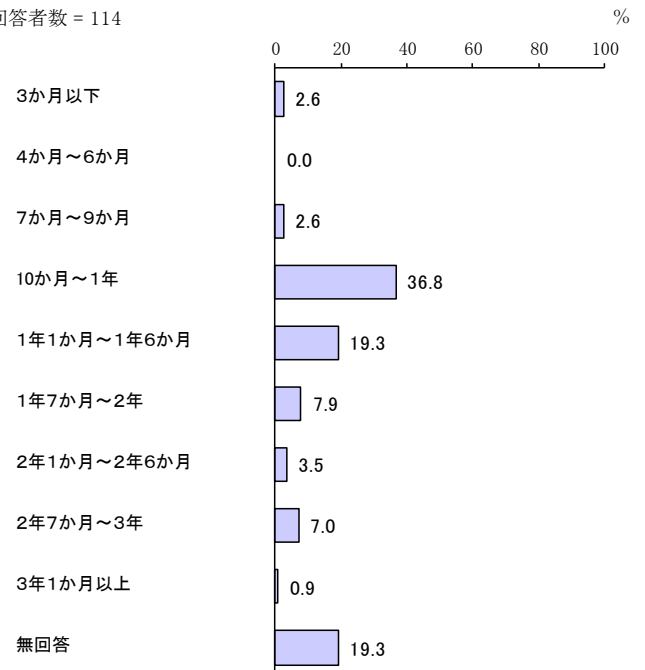
回答者数 = 114



### (イ) 希望の取得期間

「10 か月～1年」の割合が36.8%と最も高く、次いで「1年1 か月～1年6 か月」の割合が19.3%となっています。

回答者数 = 114



## イ 父親

### (ア) 実際の取得期間

「1年1か月～1年6か月」が3件となっています。「3か月以下」が1件となっています。

### (イ) 希望の取得期間

「7か月～9か月」、「1年1か月～1年6か月」、「1年7か月～2年」、「3年1か月以上」が1件となっています。

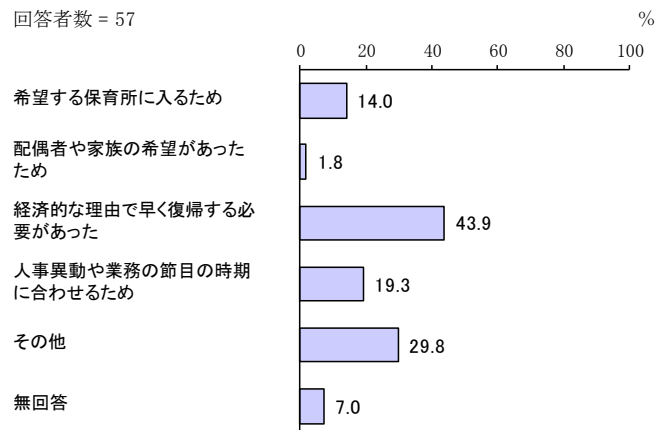
## 問 29－6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についておうかがいします。

### ア 「希望」より早く復帰した方

#### (ア) 母親

「経済的な理由で早く復帰する必要がある」の割合が43.9%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が19.3%、「希望する保育所に入るため」の割合が14.0%となっています。

回答者数 = 57



#### (イ) 父親

「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が3件となっています。「配偶者や家族の希望があったため」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が1件となっています。

(2)「希望」より遅く復帰した方（あてはまるものすべてに○）

ア 母親

「希望する保育所に入れなかったため」が3件となっています。「子どもをみてくれる人がいなかったため」が1件となっています。

イ 父親

有効回答がありませんでした。

問 29-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。  
(いずれか1つに○)

ア 母親

「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が39.5%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が35.1%、「利用した」の割合が21.9%となっています。

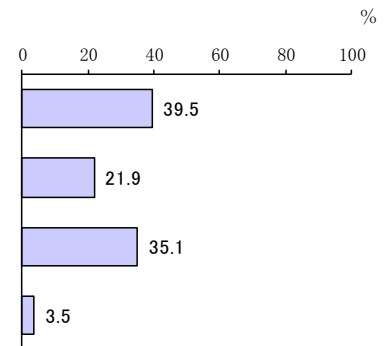
回答者数 = 114

利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)

利用した

利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

無回答



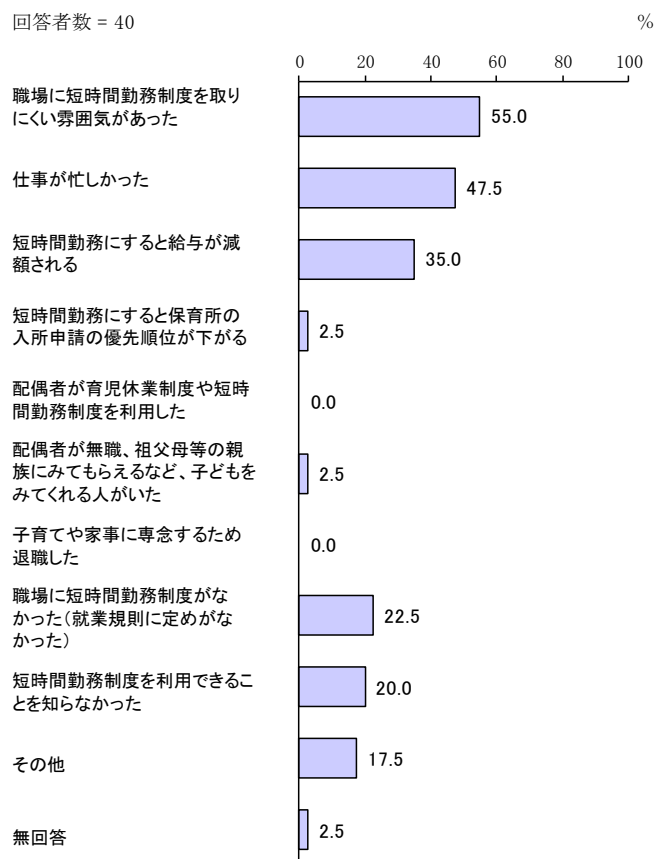
イ 父親

「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が3件となっています。「利用した」が1件となっています。

問 29－8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由はなんですか。  
（あてはまるものすべてに○）

ア 母親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が 47.5%、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 35.0%となっています。



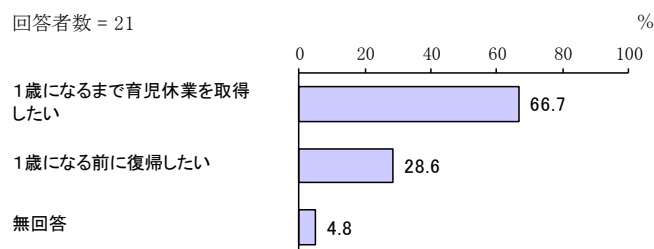
イ 父親

有効回答がありませんでした。

問 29－9 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（いずれか1つに○）

ア 母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が 66.7%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が 28.6%となっています。



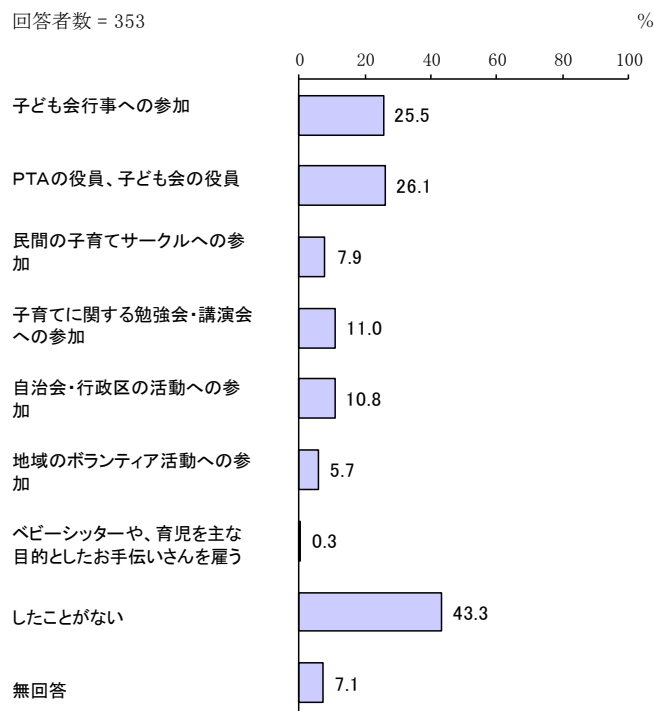
## イ 父親

有効回答がありませんでした。

### (12) 子育てについて

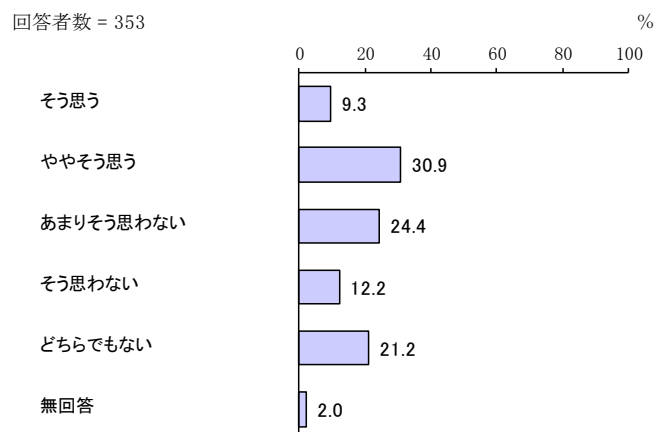
問 30 以下のような経験がありますか（今されていることもふくみます）。  
（あてはまるものすべてに○）

「したことがない」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「PTAの役員、子ども会の役員」の割合が 26.1%、「子ども会行事への参加」の割合が 25.5%となっています。



問 31 川崎町での子育てはしやすい環境だと思いますか。（いずれか1つに○）

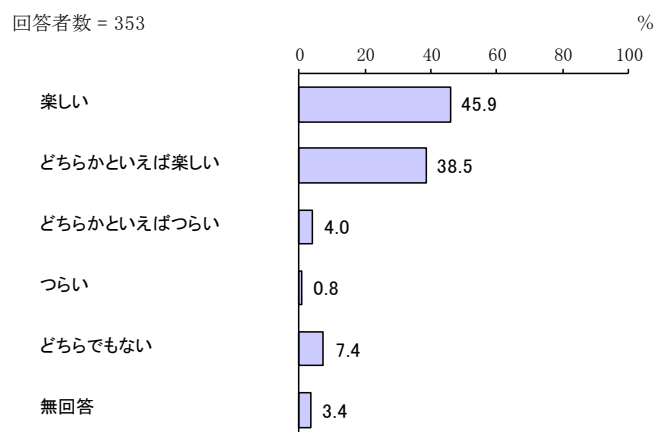
「ややそう思う」の割合が 30.9%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」の割合が 24.4%、「どちらでもない」の割合が 21.2%となっています。





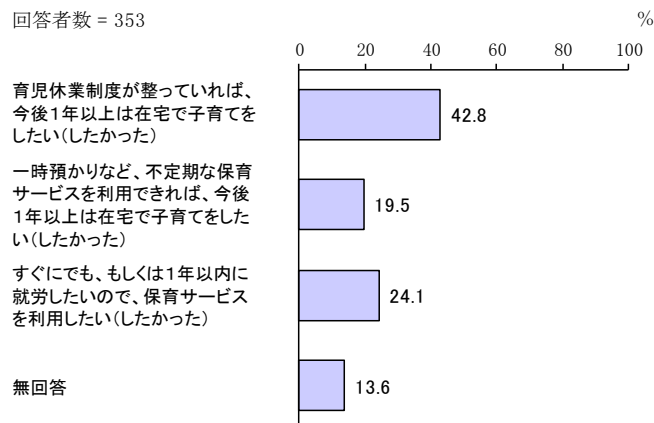
問 32 子育ては楽しいと感じていますか、それともつらいと感じていますか。  
(いずれか1つに○)

「楽しい」の割合が45.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が38.5%となっています。



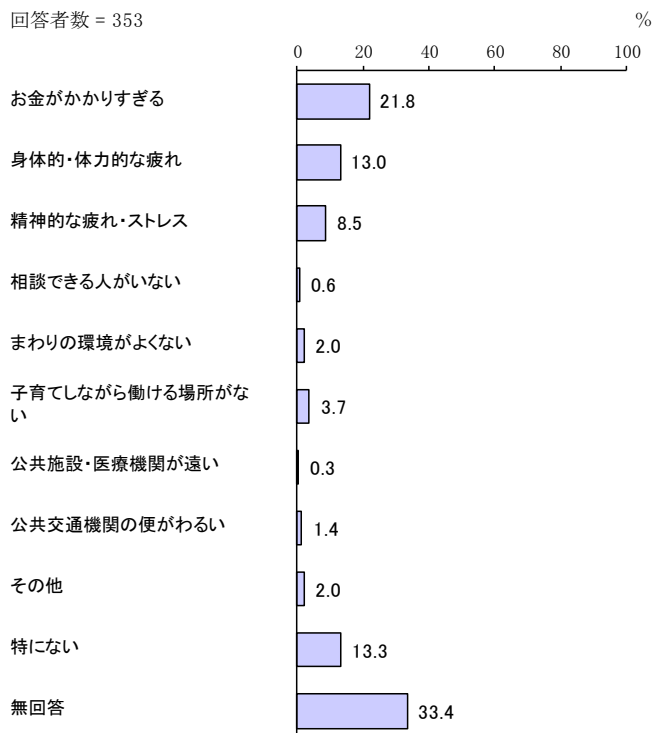
問 33 0歳児における子育てに対する考えは以下のどれにあたりますか。現在のあなたの考えに最も近いものをお答えください。対象のお子さんが1歳児以上のときは、0歳児だったときのことを振り返ってお答えください。(いずれか1つに○)

「育児休業制度が整っていれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい(したかった)」の割合が42.8%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいので、保育サービスを利用したい(したかった)」の割合が24.1%、「一時預かりなど、不定期な保育サービスを利用できれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい(したかった)」の割合が19.5%となっています。



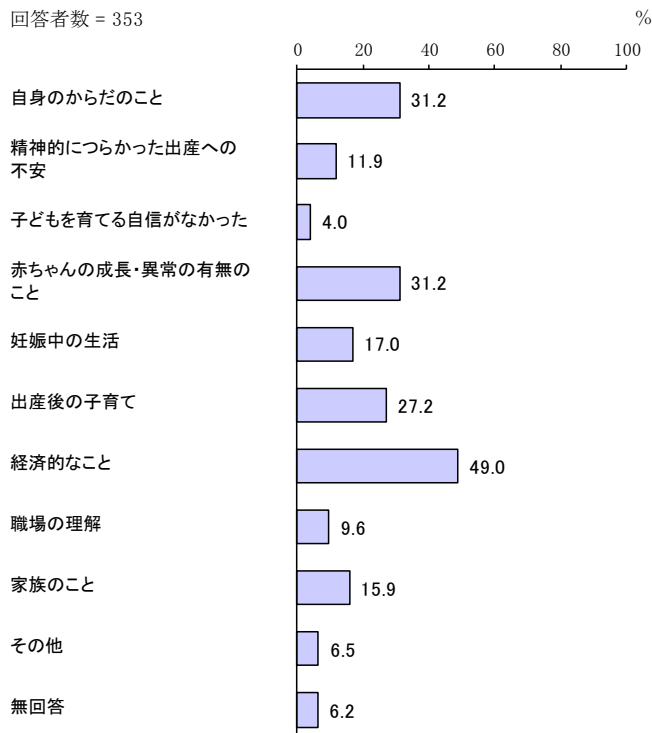
問 34 子育てをする中で、いちばん負担になっていることは何ですか。  
(いずれか1つに○)

「お金がかかりすぎる」の割合が21.8%と最も高く、次いで「特にない」の割合が13.3%、「身体的・体力的な疲れ」の割合が13.0%となっています。



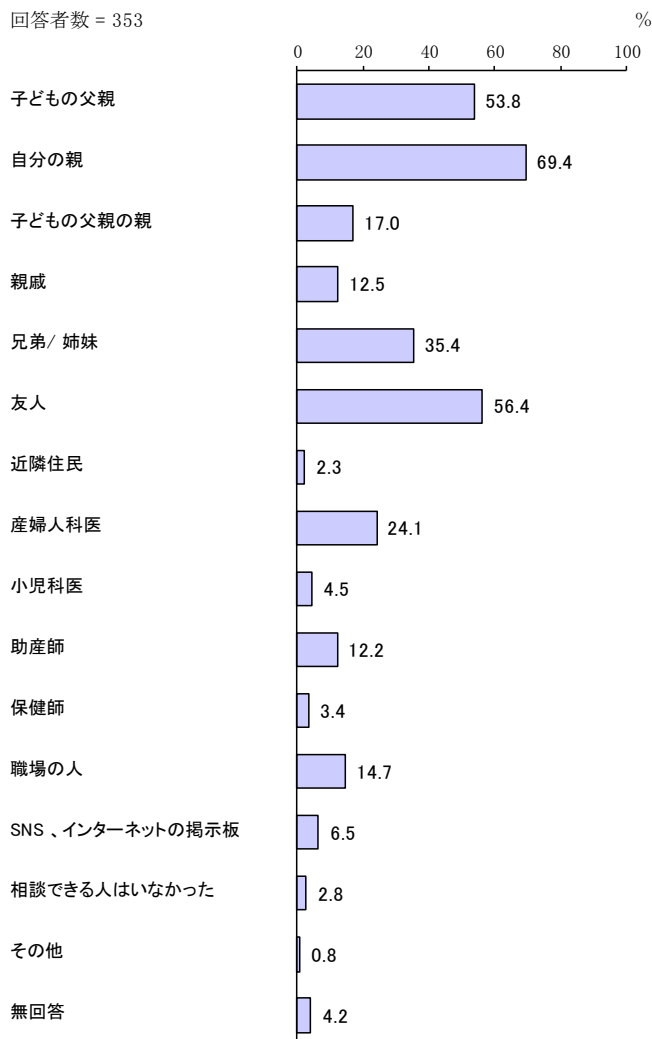
問 35 妊娠中に最も困ったこと、不安なことは、何でしたか。  
(あてはまるものすべてに○)

「経済的なこと」の割合が49.0%と最も高く、次いで「自身のからだのこと」、「赤ちゃんの成長・異常の有無のこと」の割合が31.2%となっています。



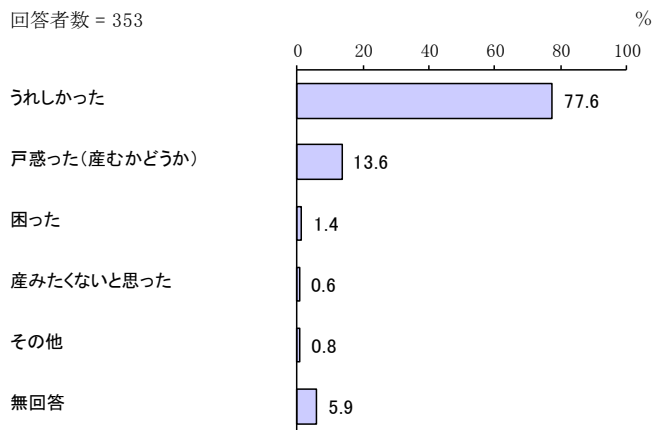
**問 36 妊娠中、困りごとなどを相談する相手はいましたか。  
(あてはまるものすべてに○)**

「自分の親」の割合が 69.4%と最も高く、次いで「友人」の割合が 56.4%、「子どもの父親」の割合が 53.8%となっています。



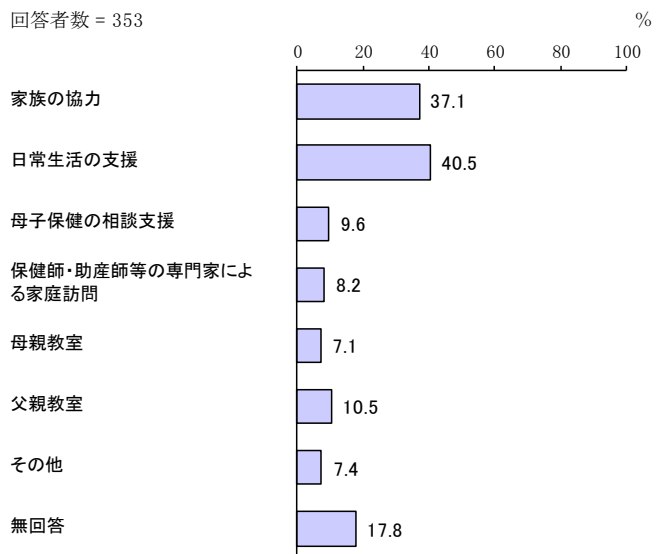
**問 37 妊娠が分かったときの気持ちについて教えてください。(いずれか1つに○)**

「うれしかった」の割合が 77.6%と最も高く、次いで「戸惑った(産むかどうか)」の割合が 13.6%となっています。



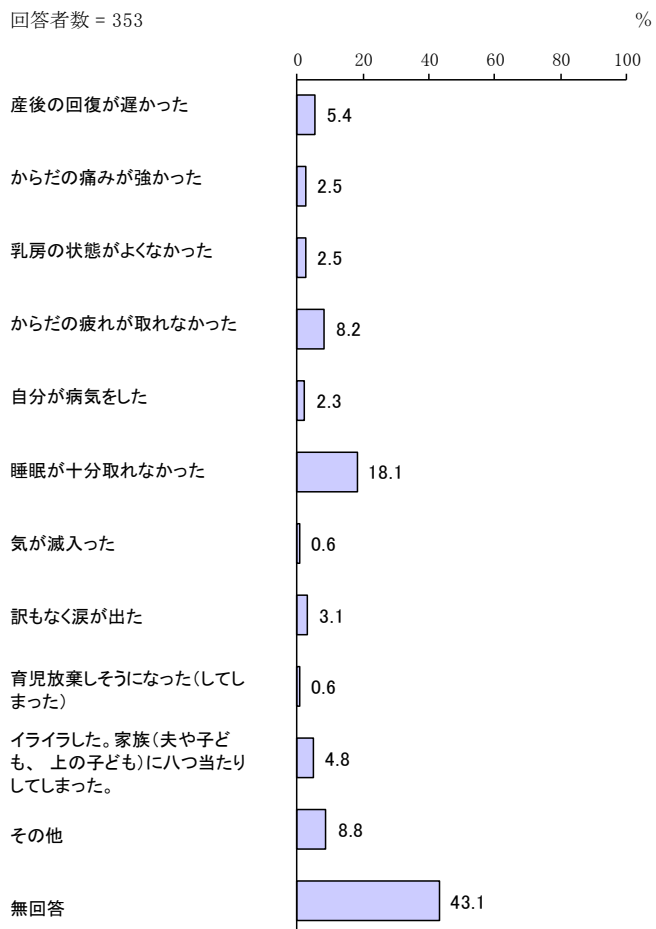
問 38 妊娠中、支援して欲しかった、または今後充実してほしい支援がありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「日常生活の支援」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「家族の協力」の割合が 37.1%、「父親教室」の割合が 10.5%となっています。



問 39 産後、体調面や精神面はどうでしたか。(いずれか 1 つに○)

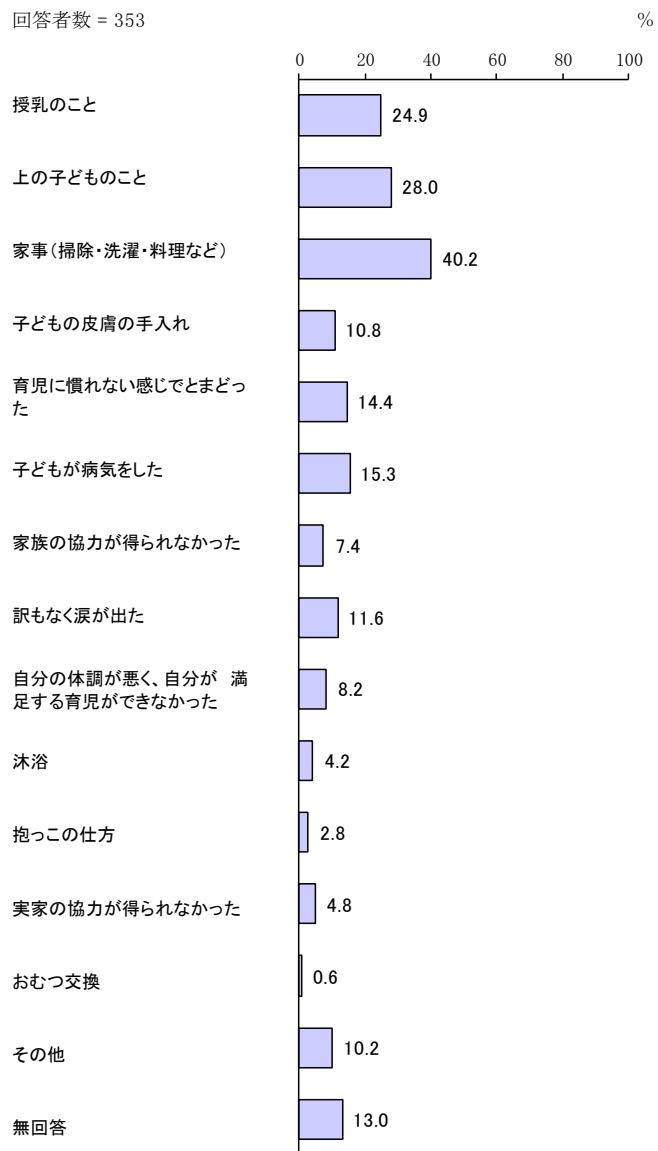
「睡眠が十分取れなかった」の割合が 18.1%と最も高くなっています。



問 40 産後、育児に関して困ったことや辛かった点について教えてください。  
(あてはまるものすべてに○)

「家事(掃除・洗濯・料理など)」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「上の子ども」の割合が 28.0%、「授乳のこと」の割合が 24.9%となっています。

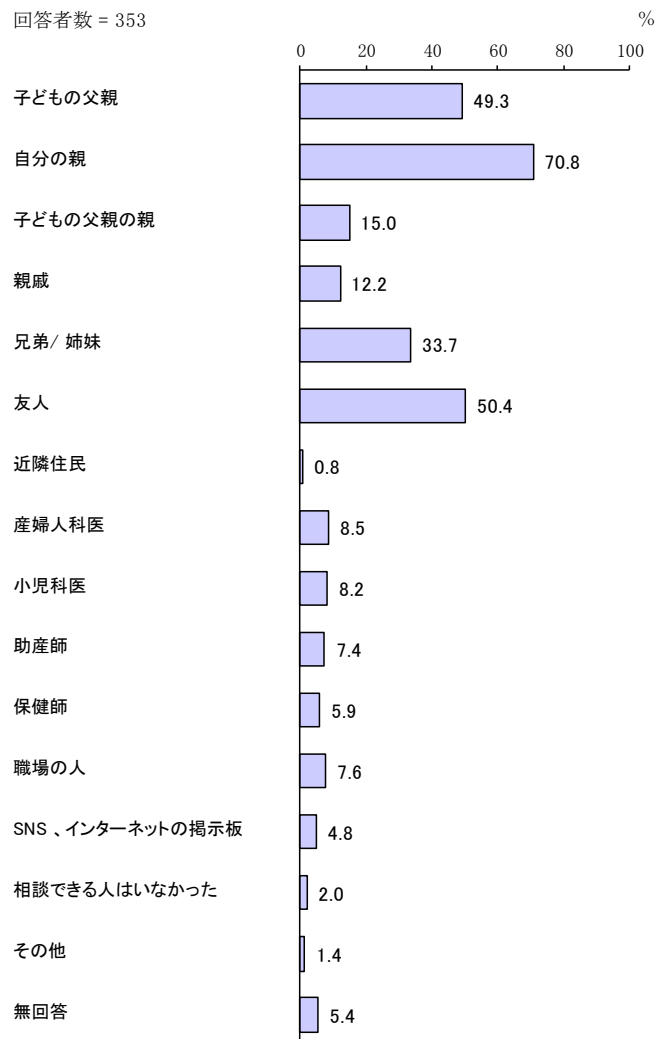
回答者数 = 353



問 41 産後の困りごとの相談相手はだれですか。(あてはまるものすべてに○)

「自分の親」の割合が 70.8%と最も高く、次いで「友人」の割合が 50.4%、「子どもの父親」の割合が 49.3%となっています。

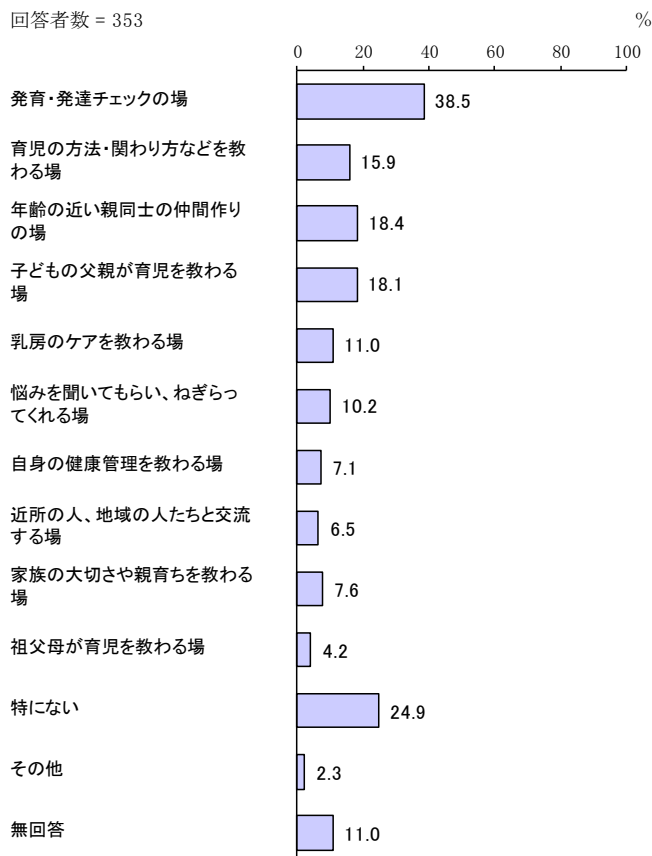
回答者数 = 353



問 42 行政が行ってほしい、また、機会があれば参加・利用したいサービスは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「発育・発達チェックの場」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 24.9%、「年齢の近い親同士の間作り」の割合が 18.4%となっています。

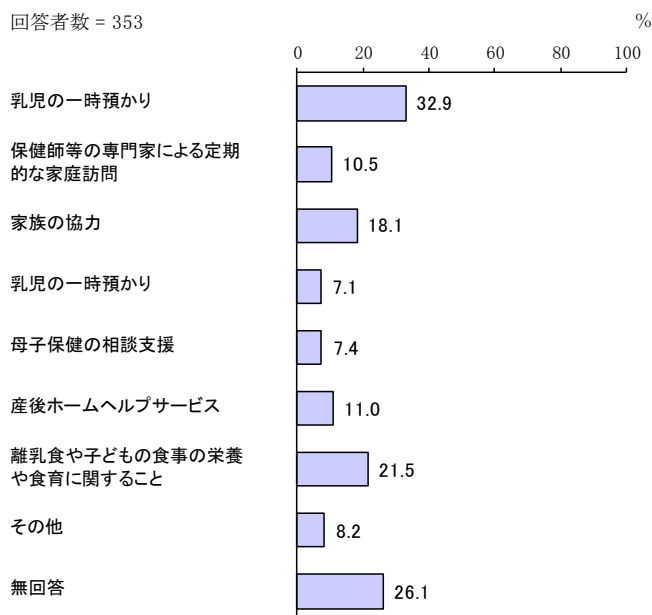
回答者数 = 353



問 43 産後、支援して欲しかった、または今後充実してほしい支援がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「乳児の一時預かり」の割合が 32.9%と最も高く、次いで「離乳食や子どもの食事の栄養や食育に関すること」の割合が 21.5%、「家族の協力」の割合が 18.1%となっています。

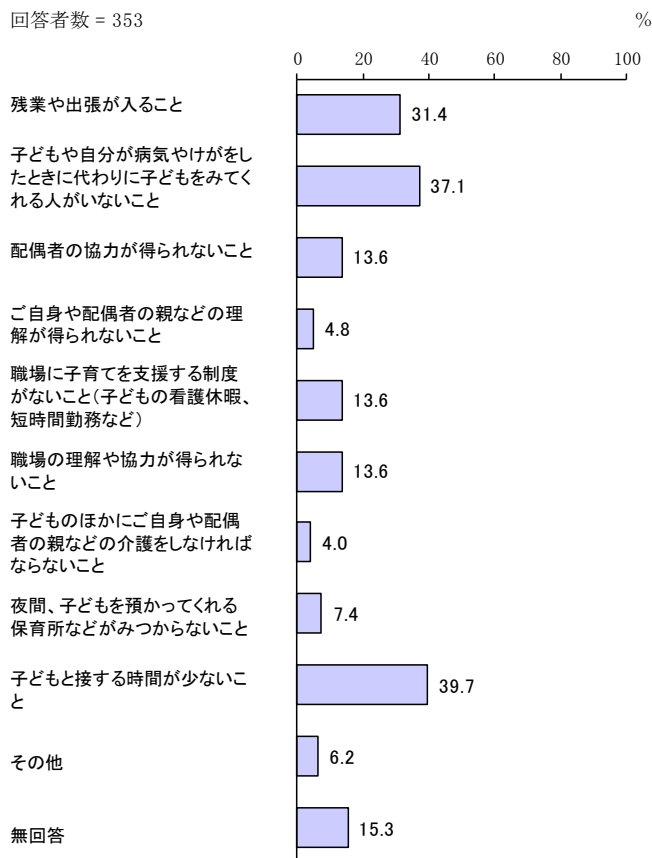
回答者数 = 353



問 44 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で課題だと思うことは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「子どもと接する時間が少ないこと」の割合が39.7%と最も高く、次いで「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」の割合が37.1%、「残業や出張が入ること」の割合が31.4%となっています。

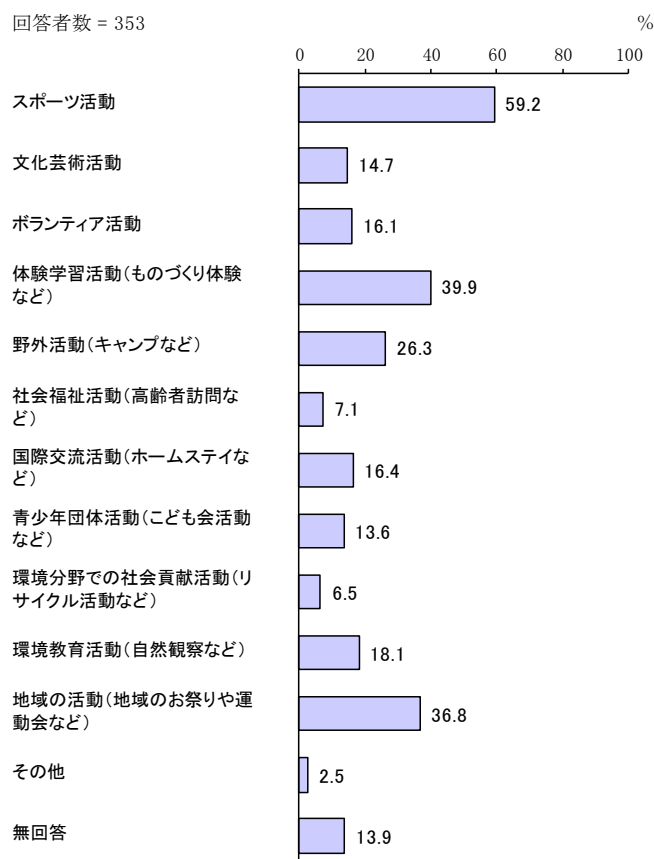
回答者数 = 353





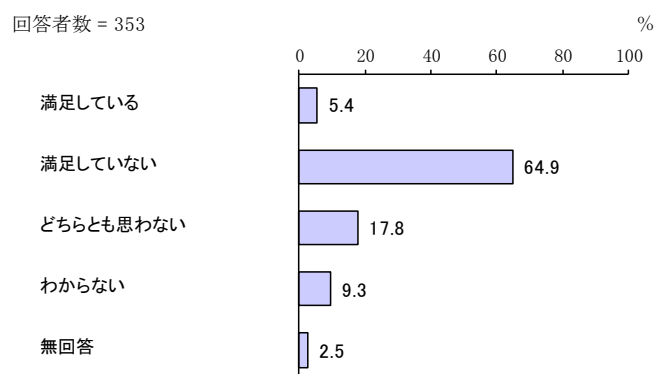
**問 45 お子さんに、今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)**

「スポーツ活動」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「体験学習活動(ものづくり体験など)」の割合が 39.9%、「地域の活動(地域のお祭りや運動会など)」の割合が 36.8%となっています。



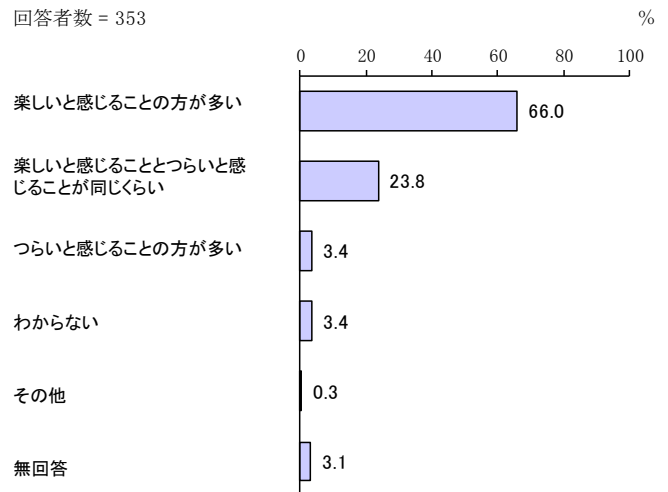
**問 46 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。(あてはまるものすべてに○)**

「満足していない」の割合が 64.9%と最も高く、次いで「どちらとも思わない」の割合が 17.8%となっています。



問 47 ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。(いずれか1つに○)

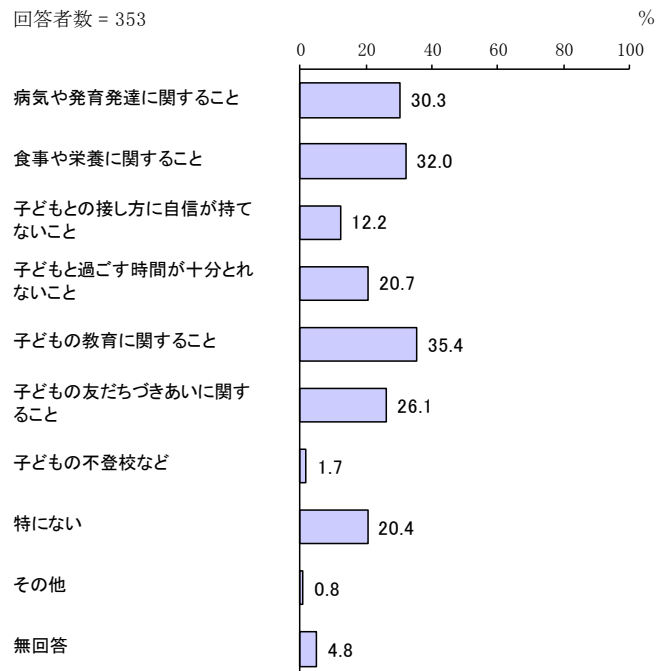
「楽しいと感じることの方が多い」の割合が66.0%と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が23.8%となっています。



問 48 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

ア 子どもに関すること

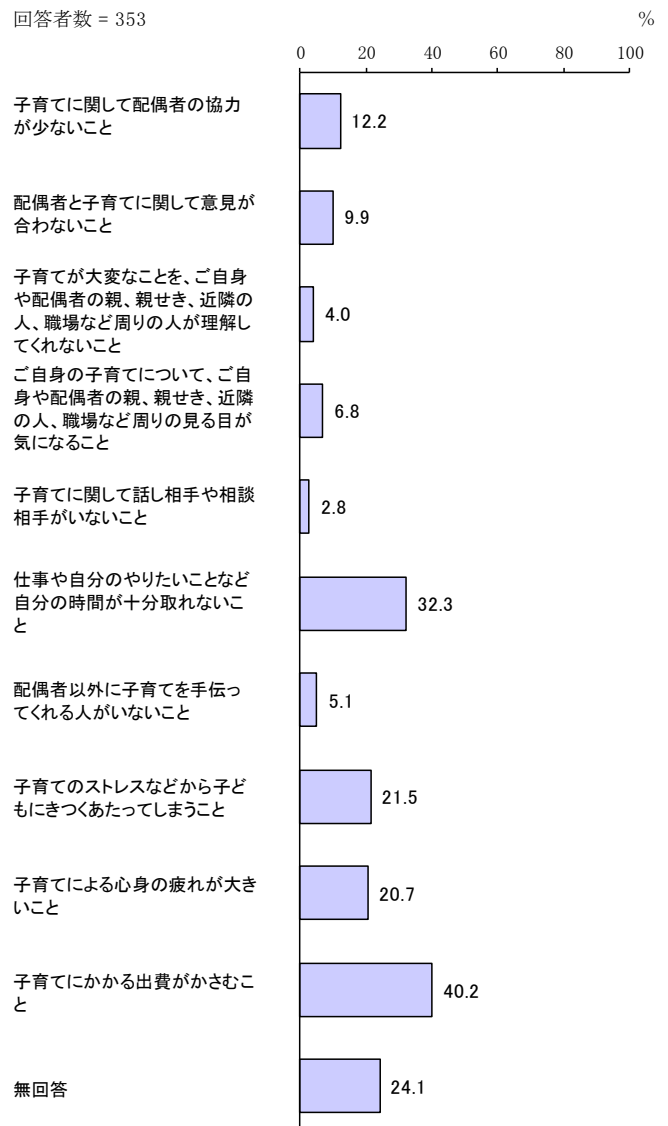
「子どもの教育に関すること」の割合が35.4%と最も高く、次いで「食事や栄養に関すること」の割合が32.0%、「病気や発育発達に関すること」の割合が30.3%となっています。



## イ ご自身に関すること

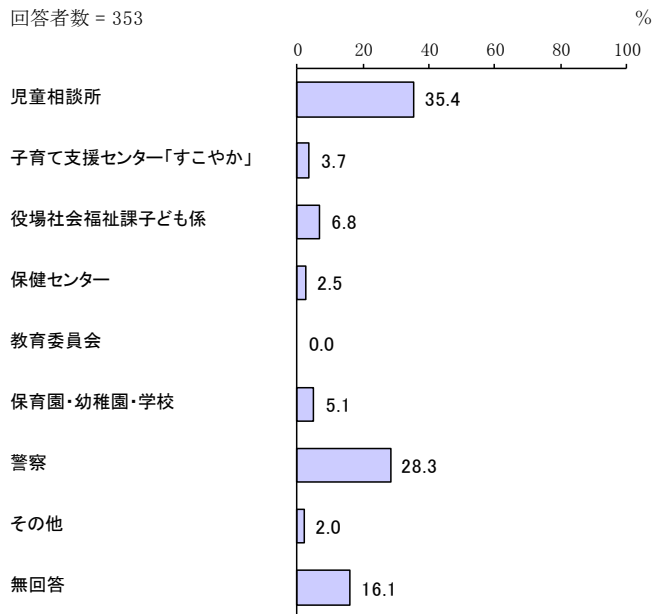
「子育てにかかる出費がかさむこと」の割合が40.2%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が32.3%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が21.5%となっています。

回答者数 = 353



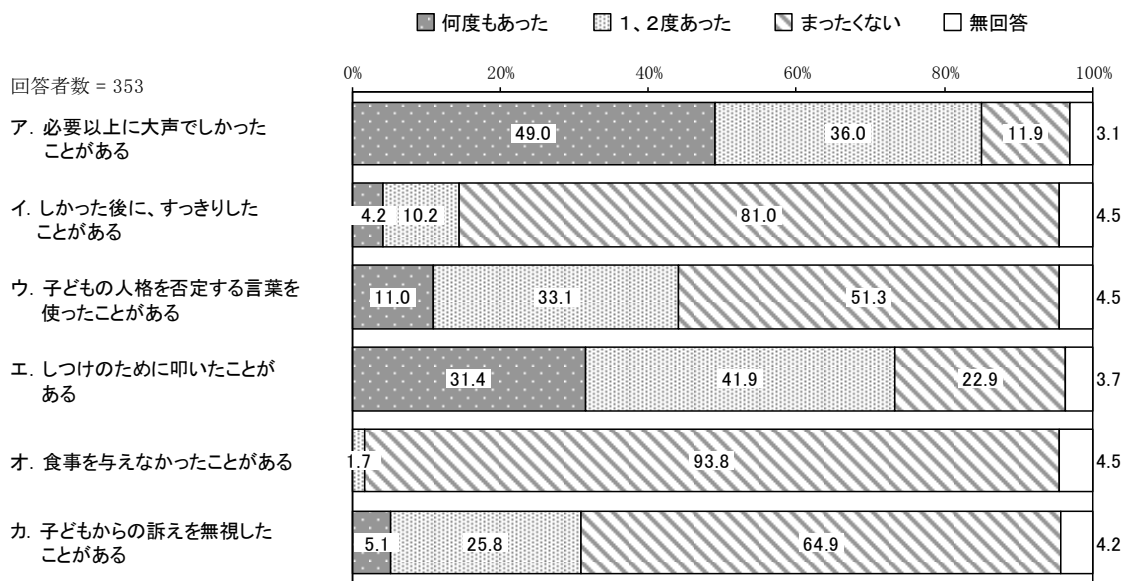
**問 49 児童虐待を発見した場合には、どちらに通報しようと思いますか。  
(いずれか1つに○)**

「児童相談所」の割合が35.4%と最も高く、次いで「警察」の割合が28.3%となっています。



**問 50 あなたは、今までに自分の子どもに対して次のようなことがありましたか。以下のア～カの各々について当てはまる番号1つに○をつけてください。**

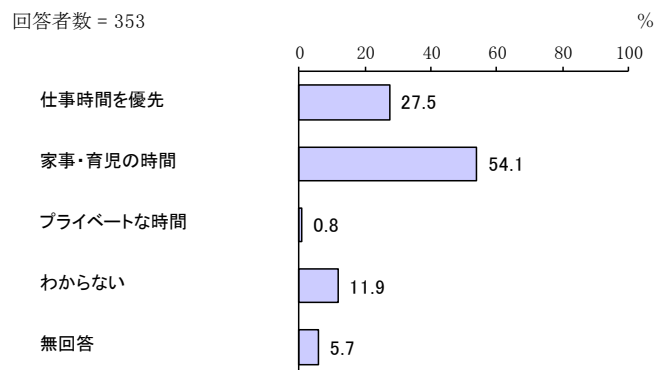
『ア. 必要以上に大声でしかったことがある』で「何度もあった」の割合が、『エ. しつけのために叩いたことがある』で「1、2度あった」の割合が高くなっています。また、『オ. 食事を与えなかったことがある』で「まったくない」の割合が高くなっています。



### (13) 仕事と生活のバランスについて

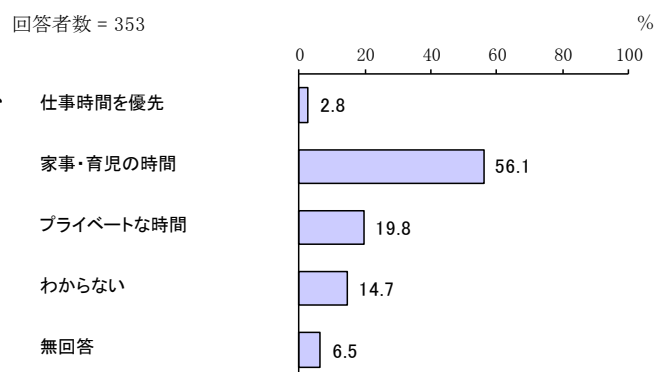
問 51-1 現実の生活では、あなたはどれをもっとも優先していると思いますか。  
(いずれか1つに○)

「家事・育児の時間」の割合が54.1%と最も高く、次いで「仕事を優先」の割合が27.5%、「わからない」の割合が11.9%となっています。



問 51-2 理想を言えば、あなたはどれをもっとも優先したいですか。  
(いずれか1つに○)

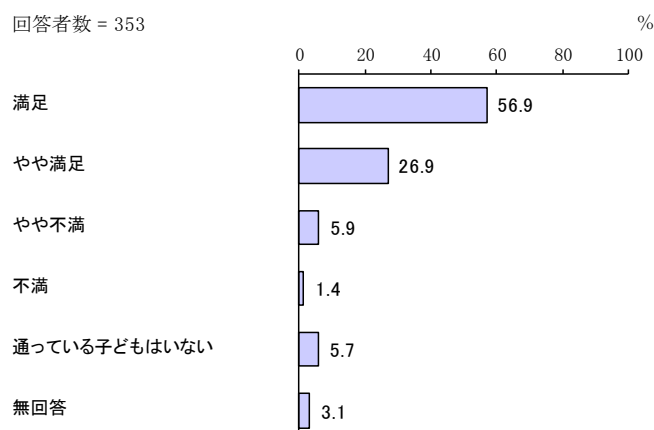
「家事・育児の時間」の割合が56.1%と最も高く、次いで「プライベートな時間」の割合が19.8%、「わからない」の割合が14.7%となっています。



### (14) 子育て支援事業について

問 52 お子さんが通っている保育施設や幼稚園について、あなたは満足していますか。  
(いずれか1つに○)

「満足」の割合が56.9%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が26.9%となっています。

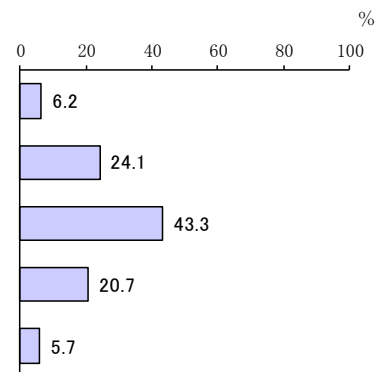


**問 53 子育て世代包括支援センターについて知っていますか。(いずれか1つに○)**

「知らない」の割合が43.3%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」の割合が24.1%、「わからない」の割合が20.7%となっています。

回答者数 = 353

- 知っており、利用したことがある
- 知っているが、利用したことはない
- 知らない
- わからない
- 無回答

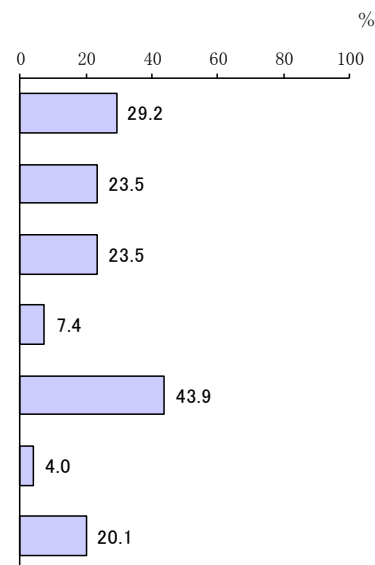


**問 54 町の相談機関において、子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)**

「安心して相談できる環境（子どもの預かり、プライバシーの配慮等）」の割合が43.9%と最も高く、次いで「身近な場での窓口」の割合が29.2%、「専門的な情報」「職員の対応スキル」の割合が23.5%となっています。

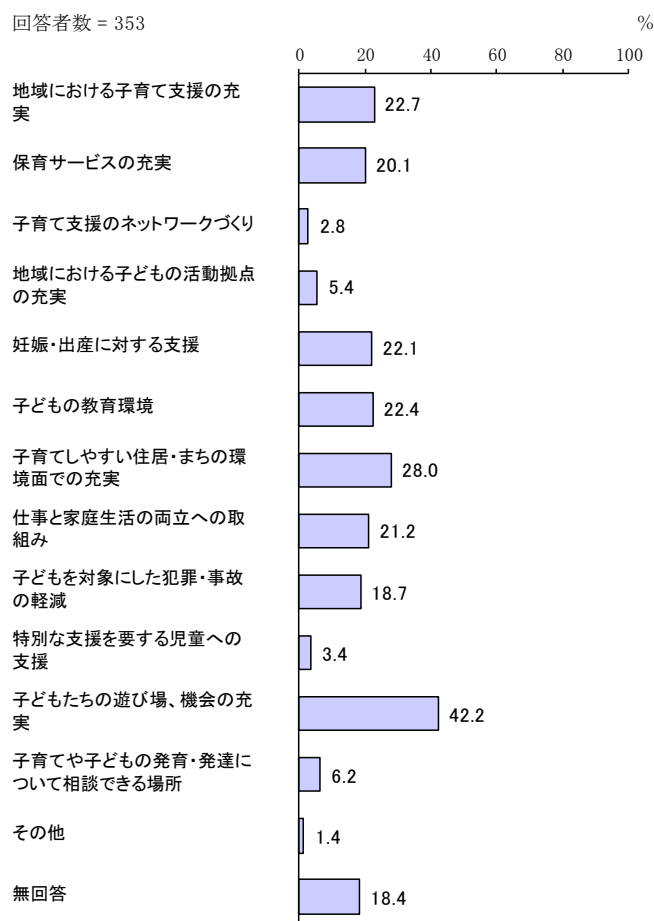
回答者数 = 353

- 身近な場での窓口
- 専門的な情報
- 職員の対応スキル
- 地域機関等へのつなぎ
- 安心して相談できる環境(子どもの預かり、プライバシーの配慮等)
- その他
- 無回答



問 55 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。  
(あてはまるもの3つまでに○)

「子どもたちの遊び場、機会の充実」の割合が42.2%と最も高く、次いで「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」の割合が28.0%、「地域における子育て支援の充実」の割合が22.7%となっています。

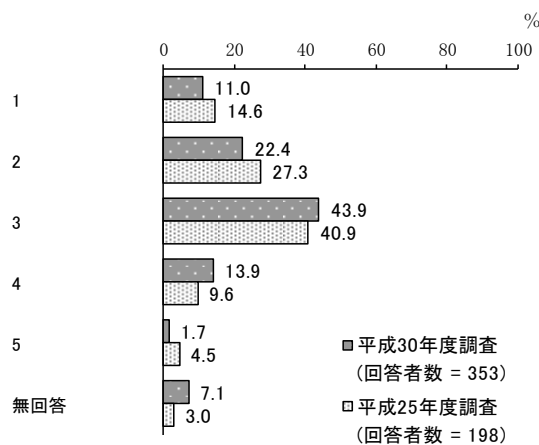


(15) 子育てのしやすさや満足度などについて

問 56 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についておうかがいします。(いずれか1つに○)

「3」の割合が43.9%と最も高く、次いで「2」の割合が22.4%、「4」の割合が13.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

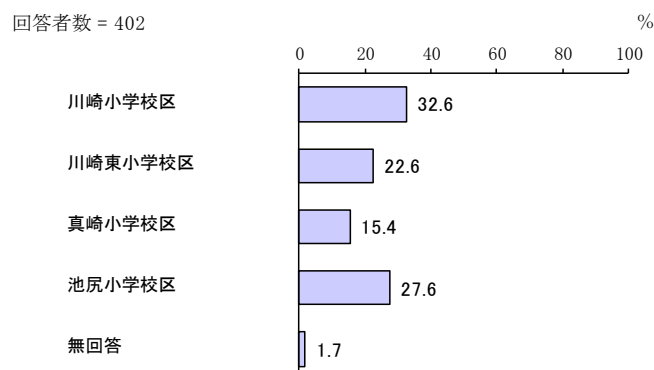


## 2 小学生児童保護者

### (1) お住まいの地域について

問1 お住まいの小学校区はどこですか。(いずれか1つに○)

「川崎小学校区」の割合が32.6%と最も高く、次いで「池尻小学校区」の割合が27.6%、「川崎東小学校区」の割合が22.6%となっています。

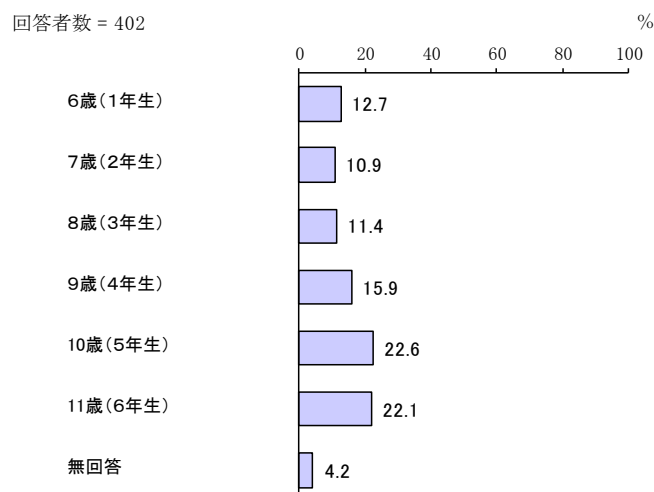


### (2) お子さんとご家族の状況について

問2 お子さんの生年月はいつですか。(口内に数字で記入 例：30年06月生まれ) ご自身の、12歳未満のお子さんの中で、一番上のお子さんについて書いてください。

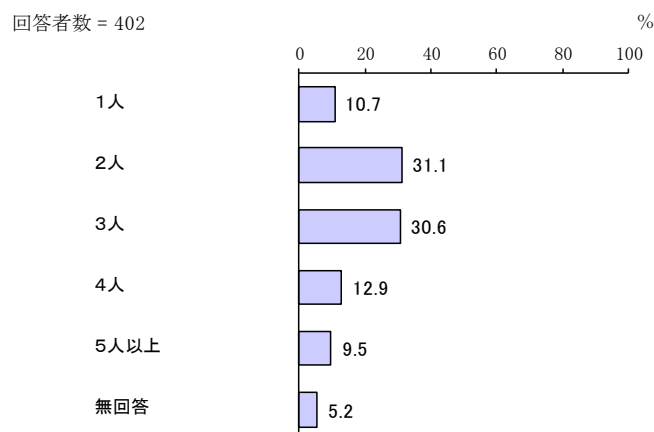
(ア) 宛名のお子さんの年齢

「10歳(5年生)」の割合が22.6%と最も高く、次いで「11歳(6年生)」の割合が22.1%、「9歳(4年生)」の割合が15.9%となっています。



(イ) きょうだい数

「2人」の割合が31.1%と最も高く、次いで「3人」の割合が30.6%、「4人」の割合が12.9%となっています。

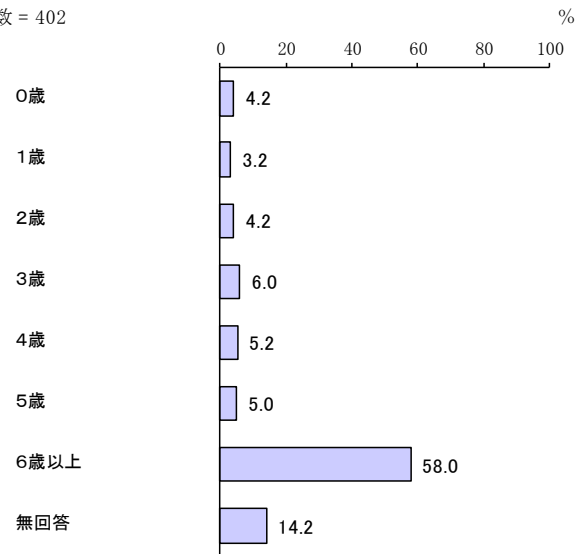




### (ウ) 末子の年齢

「6歳以上」の割合が58.0%と最も高くなっています。

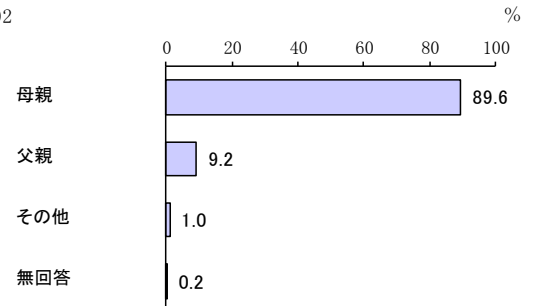
回答者数 = 402



**問3** この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(いずれか1つに○)

「母親」の割合が89.6%、「父親」の割合が9.2%となっています。

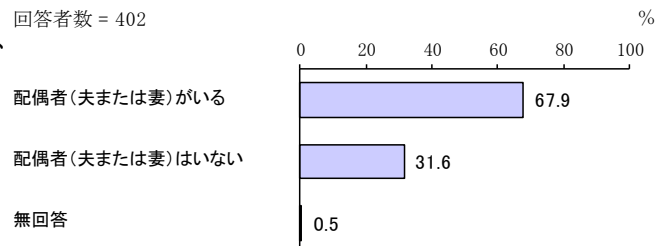
回答者数 = 402



**問4** この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(いずれか1つに○)

「配偶者(夫または妻)がいる」の割合が67.9%、「配偶者(夫または妻)はいない」の割合が31.6%となっています。

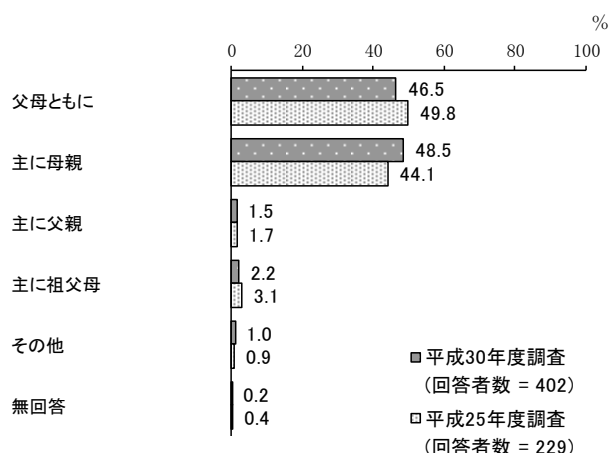
回答者数 = 402



**問5-1 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（いずれか1つに○）**

「主に母親」の割合が48.5%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が46.5%となっています。

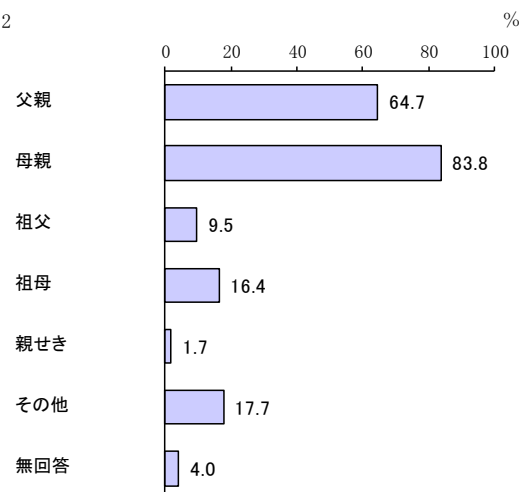
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**問5-2 いま、あなたが住んでいる家に同居している方はどなたですか。お子さんから見た続柄でお答えください。（あてはまるものすべてに○）**

「母親」の割合が83.8%と最も高く、次いで「父親」の割合が64.7%、「祖母」の割合が16.4%となっています。

回答者数 = 402

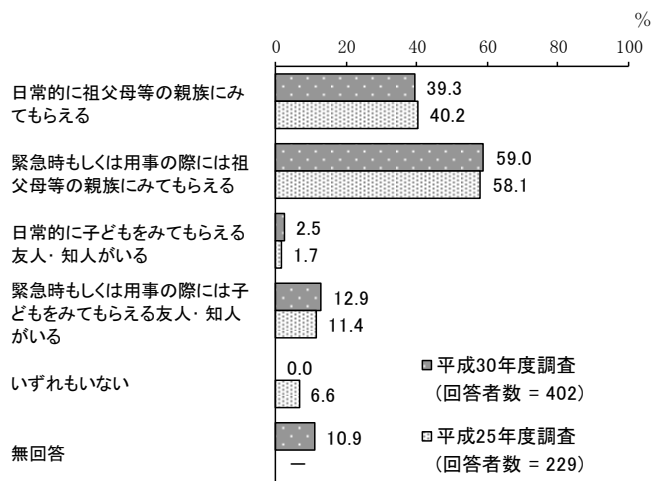


**(3) 子どもの育ちをめぐる環境について**

**問6 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）**

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が59.0%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が39.3%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が12.9%となっています。

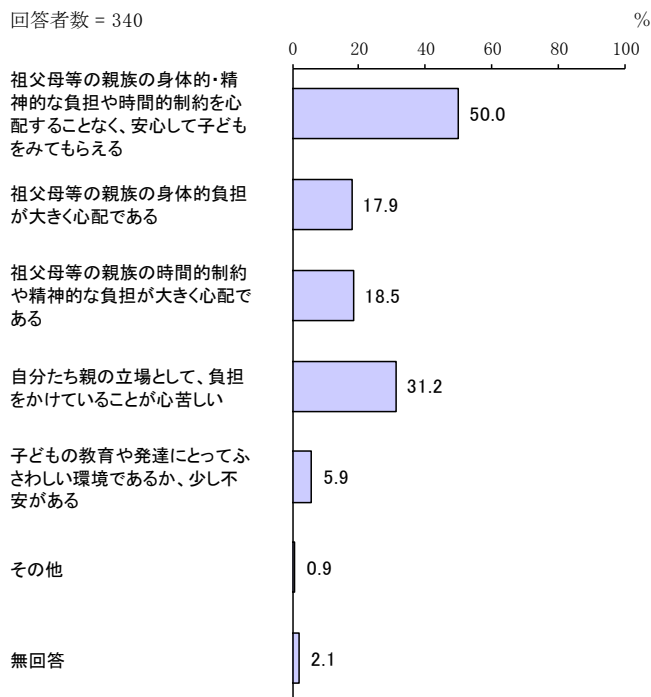
平成25年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が減少しています。



問6-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が50.0%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が31.2%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が18.5%となっています。

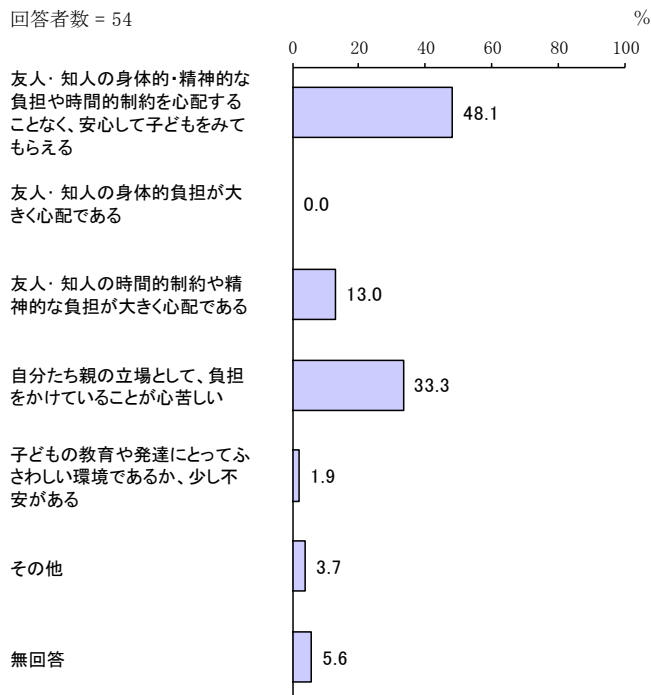
回答者数 = 340



問6-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が48.1%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が33.3%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が13.0%となっています。

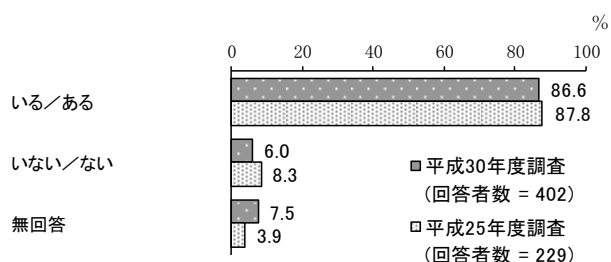
回答者数 = 54



**問7 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（いずれか1つに○）**

「いる／ある」の割合が86.6%、「いない／ない」の割合が6.0%となっています。

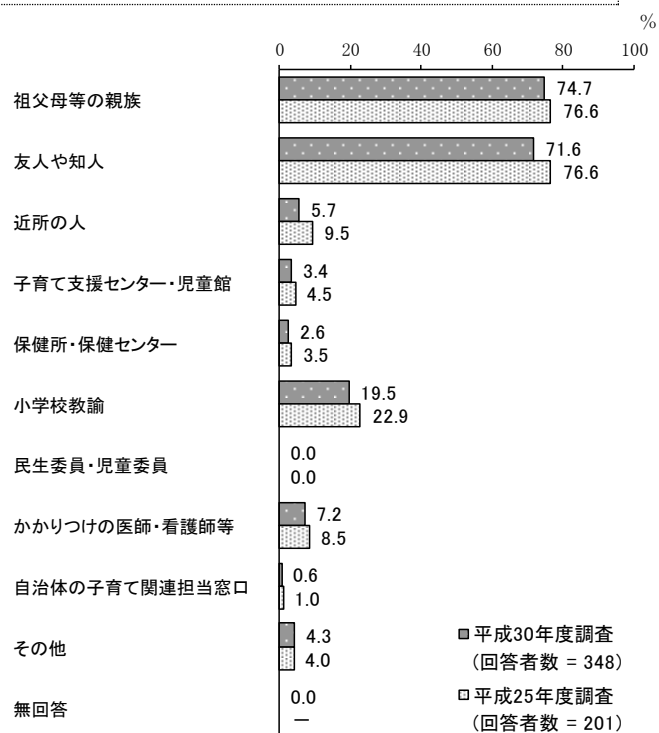
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**問7-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）**

「祖父母等の親族」の割合が74.7%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が71.6%、「小学校教諭」の割合が19.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



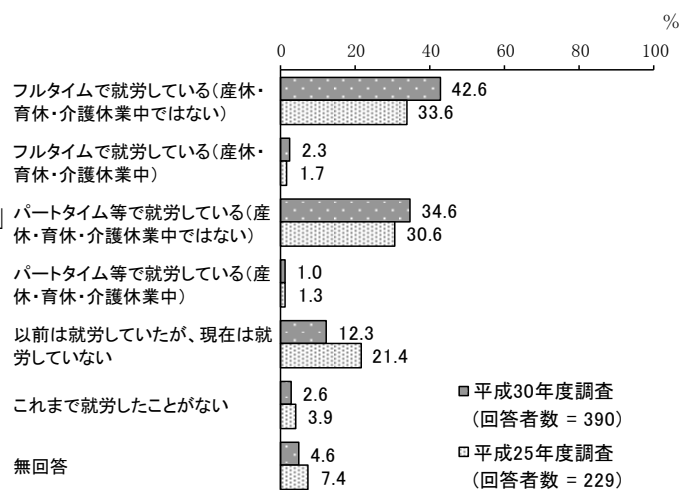
## (4) 保護者の就労状況について

問9 お子さんの父母の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。（いずれか1つに○）

### ア 母親

「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」の割合が42.6%と最も高く、次いで「パートタイム等で就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」の割合が34.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が12.3%となっています。

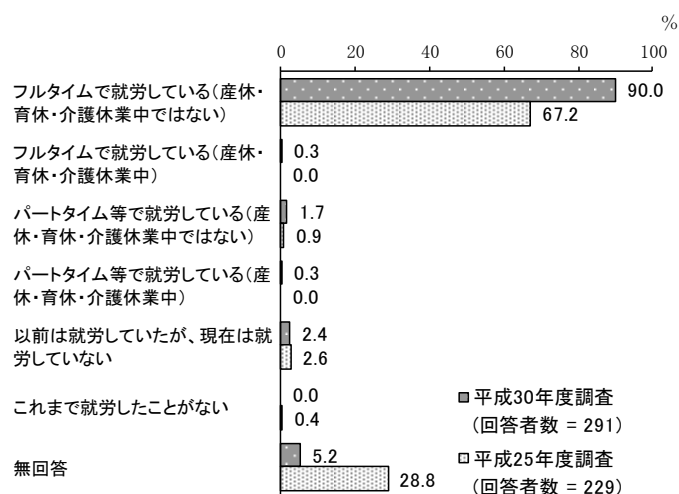
平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



### イ 父親

「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」の割合が90.0%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中ではない）」の割合が増加しています。

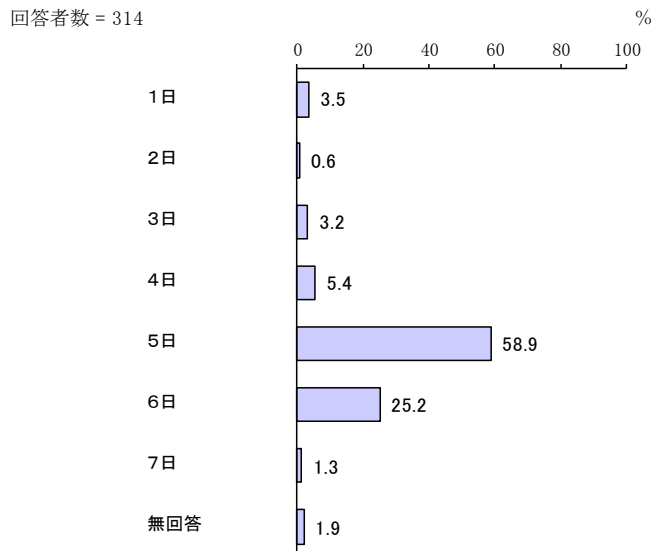


問9-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

ア 母親

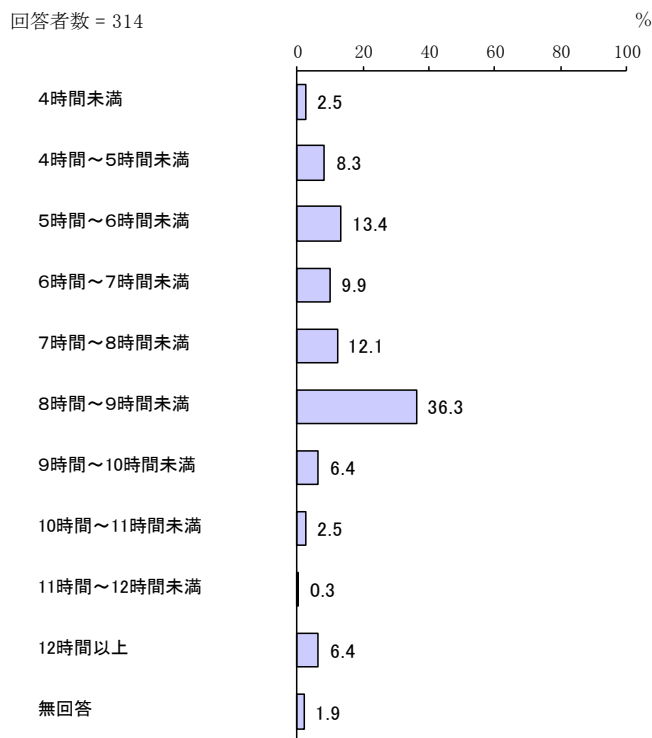
(ア) 母親の1週当たり就労日数

「5日」の割合が58.9%と最も高く、次いで「6日」の割合が25.2%となっています。



(イ) 母親の1日当たり就労時間

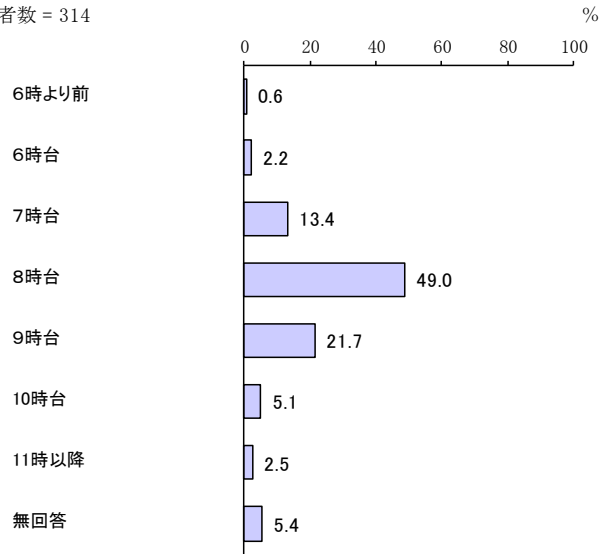
「8時間～9時間未満」の割合が36.3%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が13.4%、「7時間～8時間未満」の割合が12.1%となっています。



### (ウ) 母親の家を出る時刻

「8時台」の割合が49.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が21.7%、「7時台」の割合が13.4%となっています。

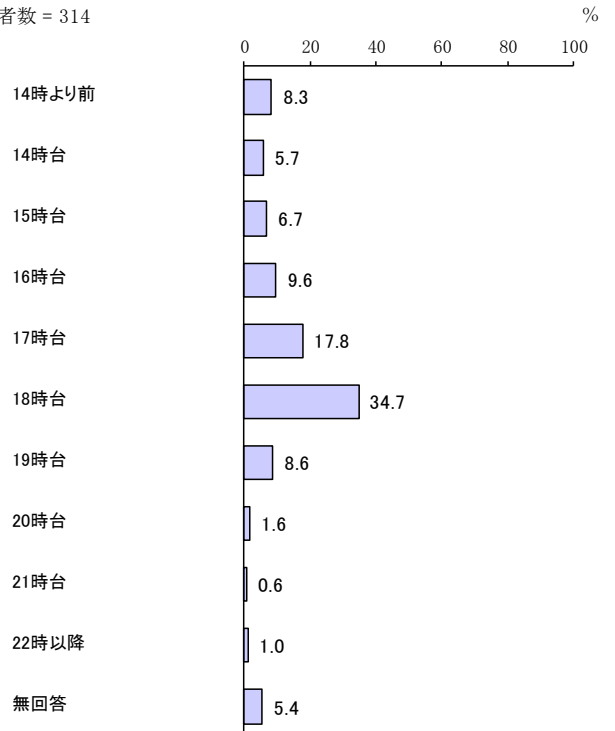
回答者数 = 314



### (エ) 母親の帰宅時刻

「18時台」の割合が34.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が17.8%となっています。

回答者数 = 314



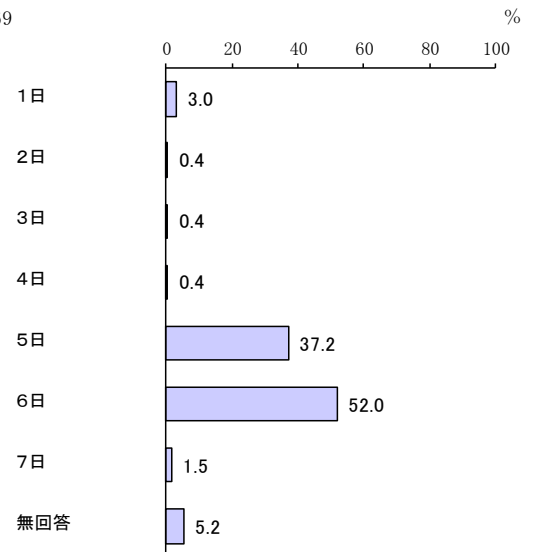
問 9-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

イ 父親

(ア) 父親の1週当たり就労日数

「6日」の割合が52.0%と最も高く、次いで「5日」の割合が37.2%となっています。

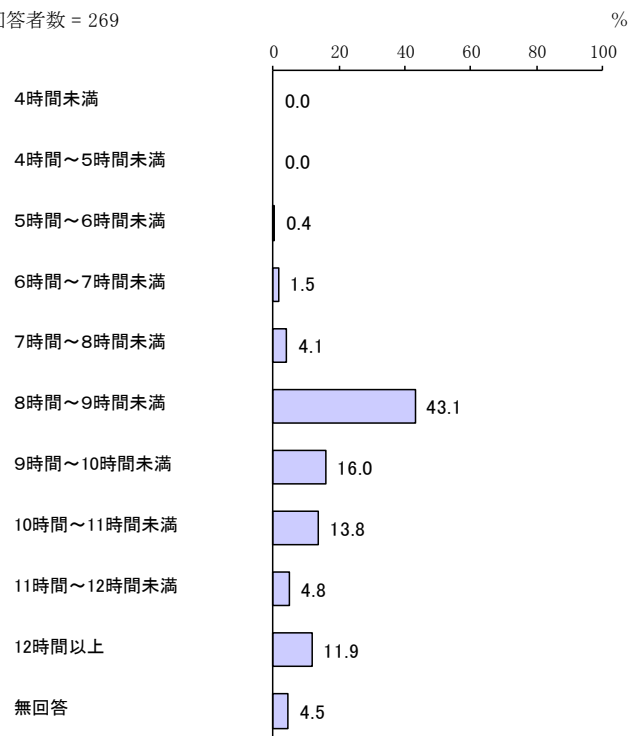
回答者数 = 269



(イ) 父親の1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が43.1%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」の割合が16.0%、「10時間～11時間未満」の割合が13.8%となっています。

回答者数 = 269

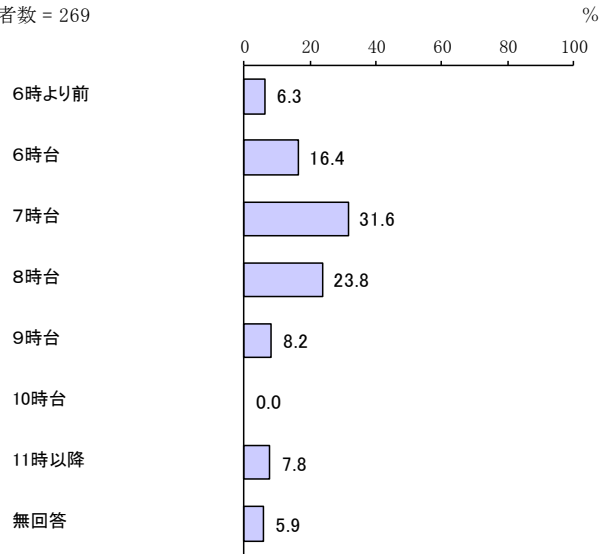




### (ウ) 父親の家を出る時刻

「7時台」の割合が31.6%と最も高く、次いで「8時台」の割合が23.8%、「6時台」の割合が16.4%となっています。

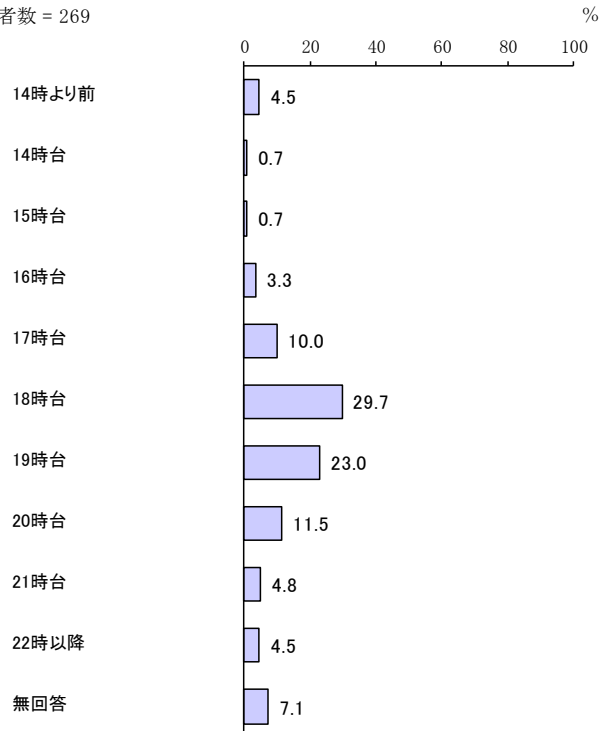
回答者数 = 269



### (エ) 父親の帰宅時刻

「18時台」の割合が29.7%と最も高く、次いで「19時台」の割合が23.0%、「20時台」の割合が11.5%となっています。

回答者数 = 269

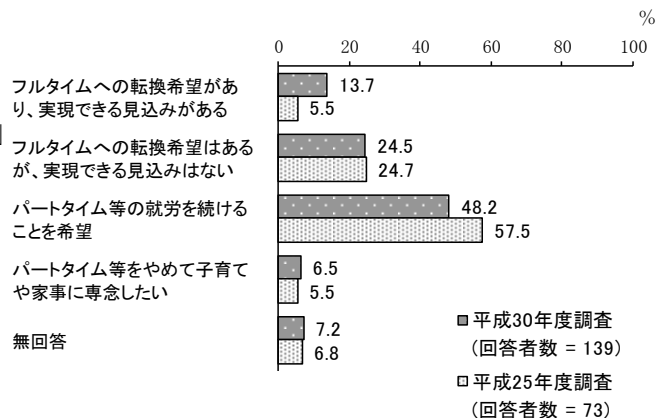


問9-3 フルタイムへの転職希望はありますか。(いずれか1つに○)

ア 母親

「パートタイム等の就労を続けることを希望」の割合が48.2%と最も高く、次いで「フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が24.5%、「フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある」の割合が13.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある」の割合が増加しています。一方、「パートタイム等の就労を続けることを希望」の割合が減少しています。



イ 父親

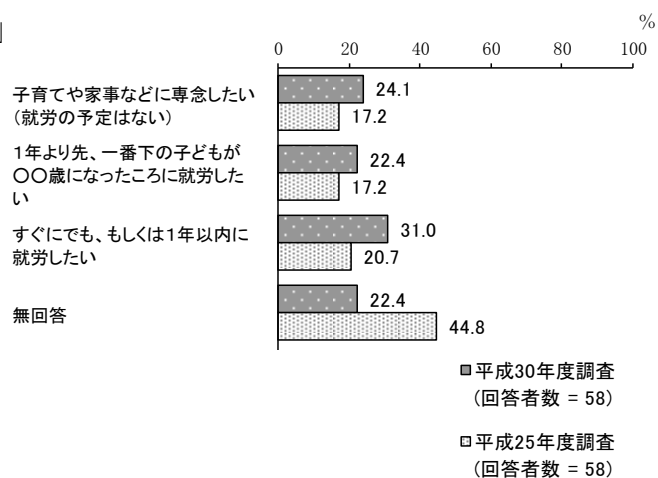
「パートタイム等の就労を続けることを希望」が3件となっています。「フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある」が1件となっています。

問10 就労したいという希望はありますか。(いずれか1つに○をつけ、該当する□内に数字で記入 例： 05歳 3日 04時間)

ア 母親

「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が31.0%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が24.1%、「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい」の割合が22.4%となっています。

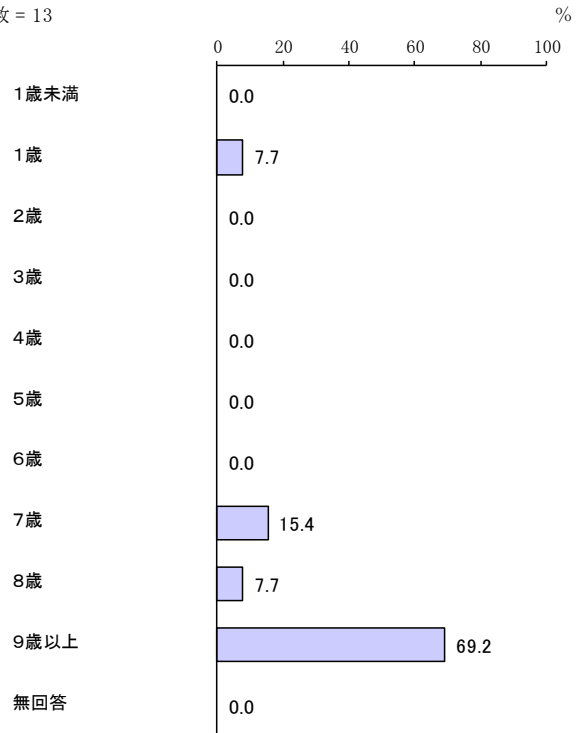
平成25年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい」「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が増加しています。



(ア) 就労したい時の末子の年齢

「9歳以上」の割合が69.2%と最も高く、次いで「7歳」の割合が15.4%となっています。

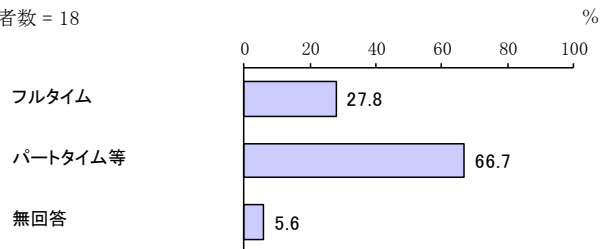
回答者数 = 13



(イ) 希望する就労形態

「フルタイム」の割合が27.8%、「パートタイム等」の割合が66.7%となっています。

回答者数 = 18

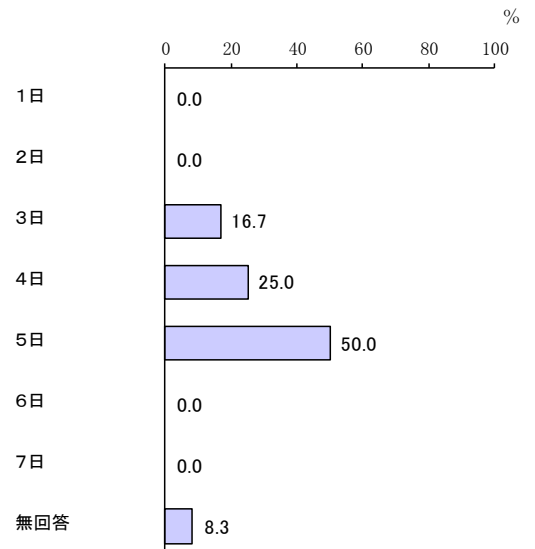


(ウ) パートタイム等

① 1週当たり希望就労日数

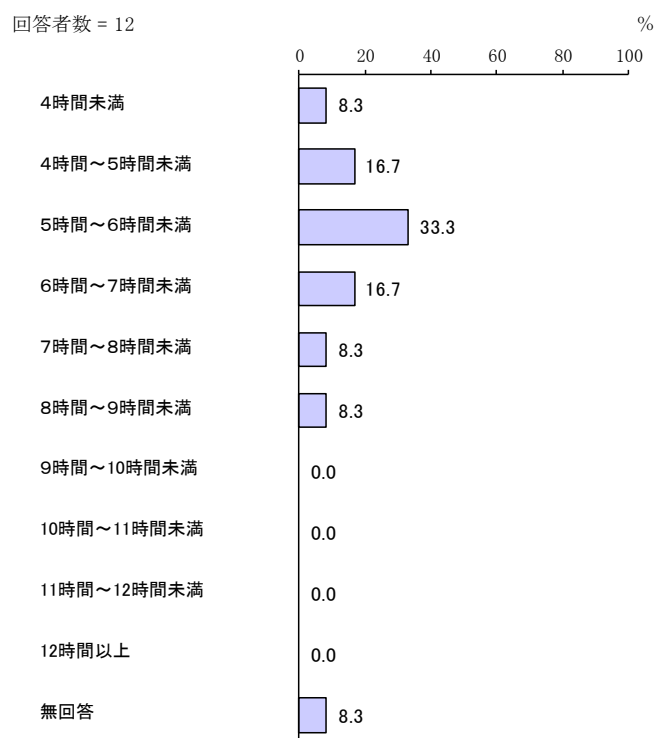
「5日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が25.0%、「3日」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 12



## ② 1日当たり希望就労時間

「5時間～6時間未満」の割合が33.3%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」、「6時間～7時間未満」の割合が16.7%となっています。



## イ 父親

「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が2件となっています。「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。

### (ア) 就労したい時の末子の年齢

「9歳以上」が1件となっています。

### (イ) 希望する就労形態

「フルタイム」が1件、「パートタイム等」が0件となっています。

### (ウ) パートタイム等

## ① 1週当たり希望就労日数

有効回答がありませんでした。

## ② 1日当たり希望就労時間

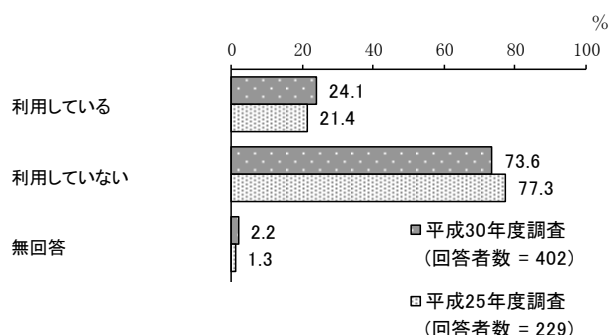
有効回答がありませんでした。

## (5) 学童クラブ（放課後児童健全育成事業）の利用について

問 11 お子さんは現在、学童クラブを利用していますか。（いずれか1つに○）

「利用している」の割合が24.1%、「利用していない」の割合が73.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

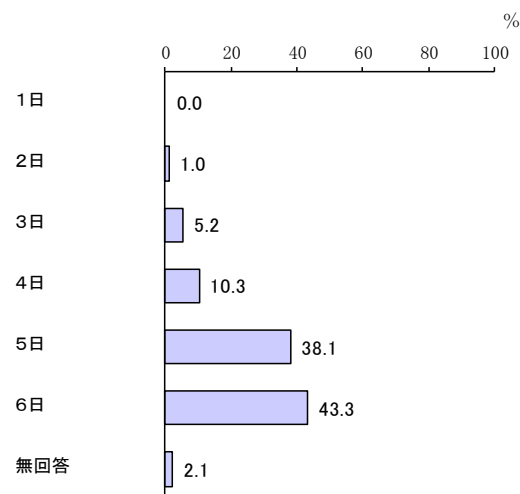


問 11-1 学童クラブの利用日数はどれくらいですか。（利用日数、利用時間を口内に数字で記入、土曜日の利用に関してはいずれか1つに○）

(ア) 1週当たり利用日数

「6日」の割合が43.3%と最も高く、次いで「5日」の割合が38.1%、「4日」の割合が10.3%となっています。

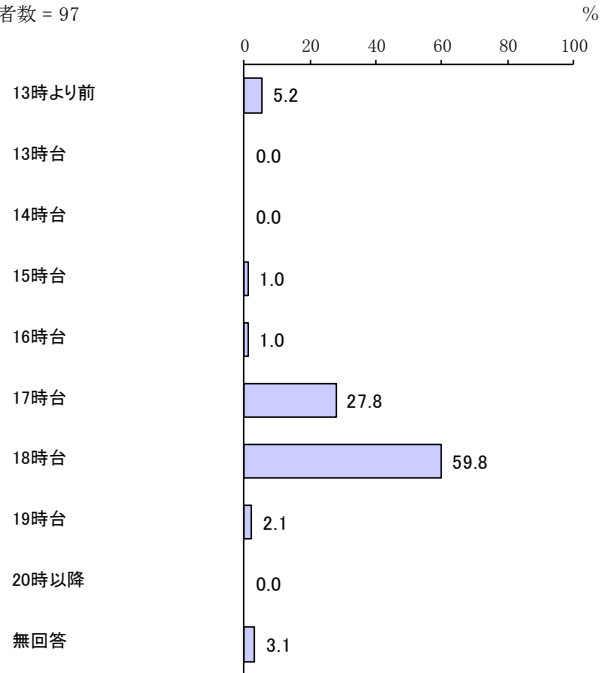
回答者数 = 97



(イ) 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 27.8%となっています。

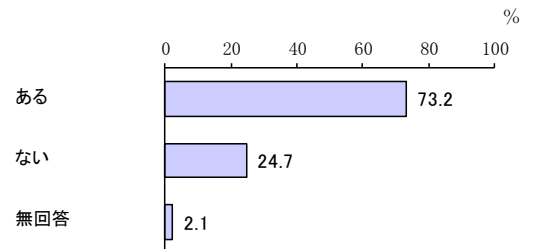
回答者数 = 97



(ウ) うち土曜日の利用

「ある」の割合が 73.2%、「ない」の割合が 24.7%となっています。

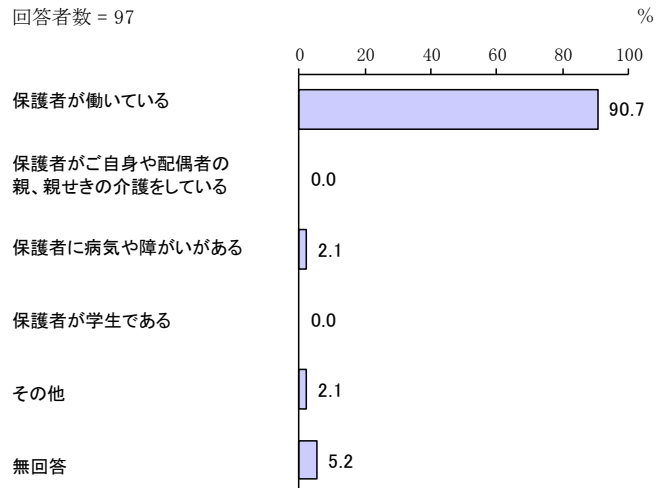
回答者数 = 97



問 11-2 学童クラブの利用されている理由は何ですか。(いずれか1つに○)

「保護者が働いている」の割合が 90.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 97



**問 11-3 学童保育を利用していない理由は何ですか。もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。**

「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」の割合が32.1%と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せきがみている」の割合が23.6%、「父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから」の割合が19.9%となっています。

回答者数 = 296

ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない

ご自身や配偶者の親、親せきがみている

近所の人や父母の友人・知人がみている

父母とも働いていて利用したいが、学童保育に空きがない

父母とも働いていて利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない

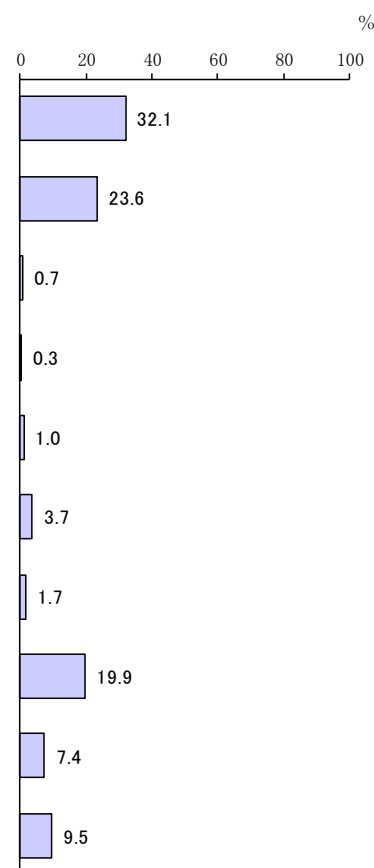
父母とも働いていて利用したいが、利用料がかかるため、経済的な理由で利用できない

父母とも働いているが、子どもは放課後に習い事しているため、利用する必要がない

父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから

その他

無回答



**問 12 お子さんについて、今後、平日の学童クラブの利用希望はありますか。(いずれか1つに○をつけ、希望がある場合は希望の学年、週当たりの日数を口内に数字で記入、希望する時間を18時などの24時間制で口内に記入)**

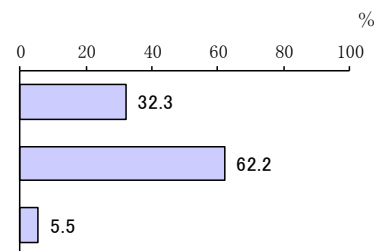
「利用したい」の割合が32.3%、「利用する必要はない」の割合が62.2%となっています。

回答者数 = 402

利用したい

利用する必要はない

無回答



**(ア) 利用希望学年**

「6年生」の割合が58.5%と最も高く、次いで「4年生」の割合が15.4%、「3年生」の割合が13.8%となっています。

回答者数 = 130

1年生

2年生

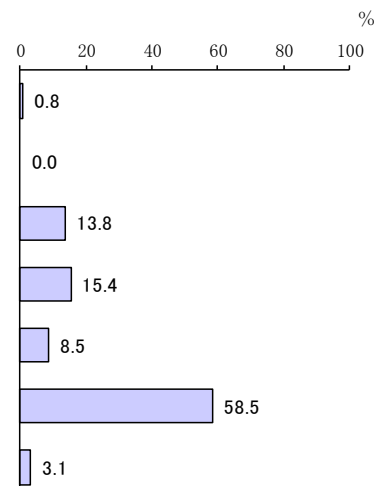
3年生

4年生

5年生

6年生

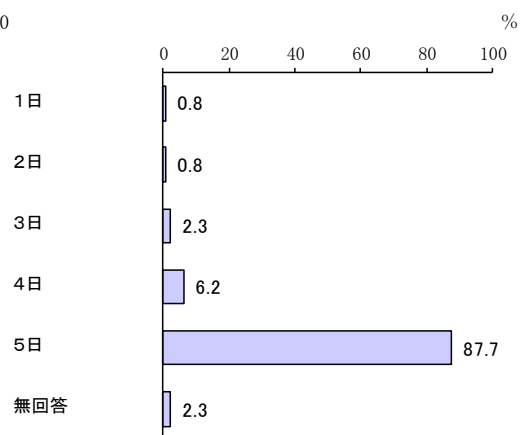
無回答



### (イ) 週当たり利用希望日数

「5日」の割合が87.7%と最も高くなっています。

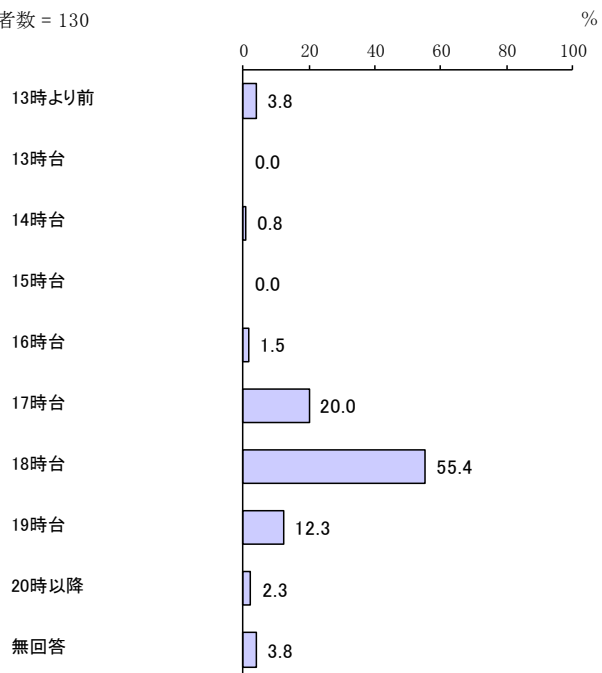
回答者数 = 130



### (ウ) 利用希望終了時刻

「18時台」の割合が55.4%と最も高く、次いで「17時台」の割合が20.0%、「19時台」の割合が12.3%となっています。

回答者数 = 130

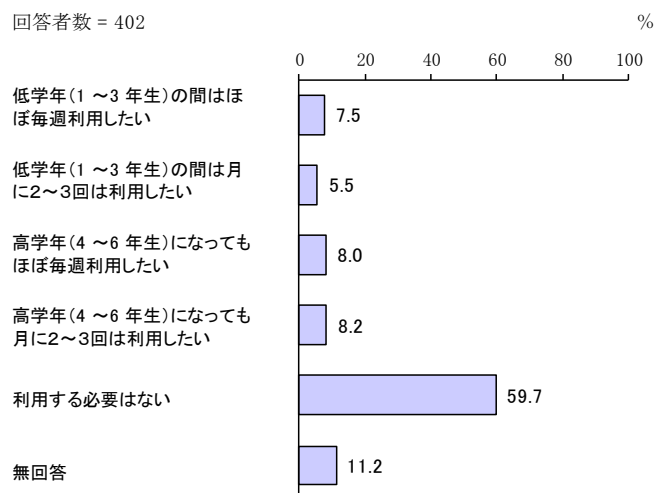




問 13 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を09時～18時のように24時間制でご記入ください。(いずれか1つに○をつけ、該当する口内に数字で記入)

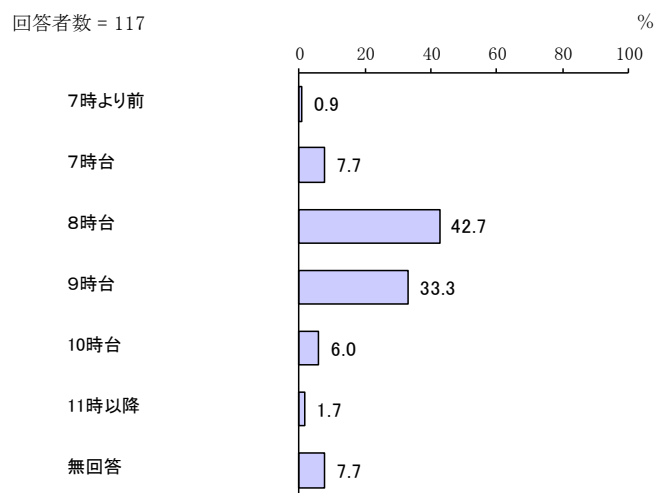
問 13-1 土曜日

「利用する必要はない」の割合が59.7%と最も高くなっています。



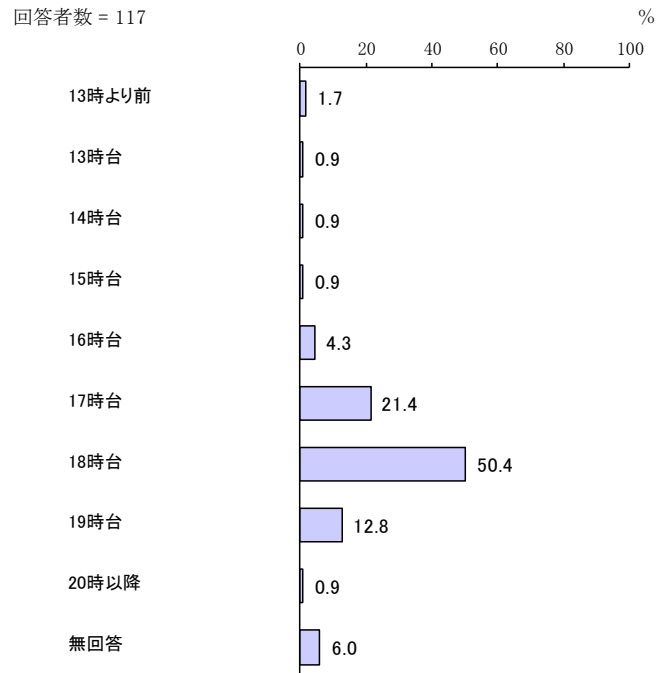
(ア) 利用開始時間

「8時台」の割合が42.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が33.3%となっています。



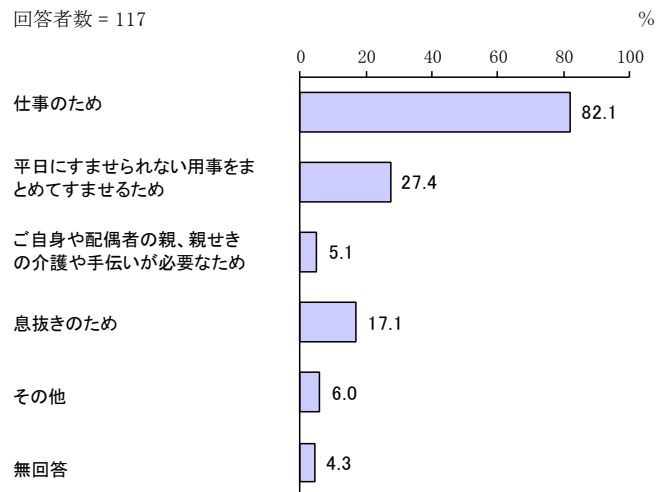
(イ) 利用終了時間

「18 時台」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 21.4%、「19 時台」の割合が 12.8%となっています。



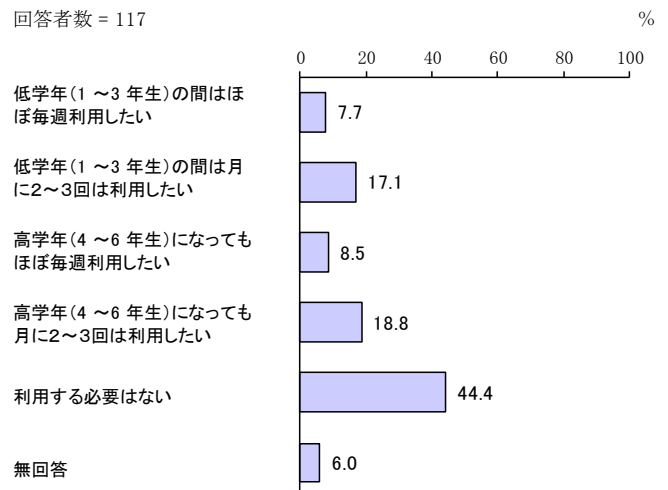
問 13-2 利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「仕事のため」の割合が 82.1%と最も高く、次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」の割合が 27.4%、「息抜きのため」の割合が 17.1%となっています。



問 13-3 日曜・祝日

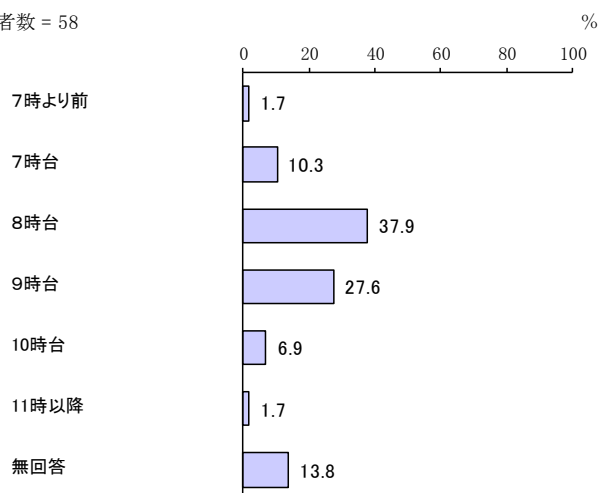
「利用する必要はない」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「高学年 (4 ~6 年生) になっても月に 2 ~ 3 回は利用したい」の割合が 18.8%、「低学年 (1 ~3 年生) の間は月に 2 ~ 3 回は利用したい」の割合が 17.1%となっています。



## (ア) 利用開始時間

「8時台」の割合が37.9%と最も高く、次いで「9時台」の割合が27.6%、「7時台」の割合が10.3%となっています。

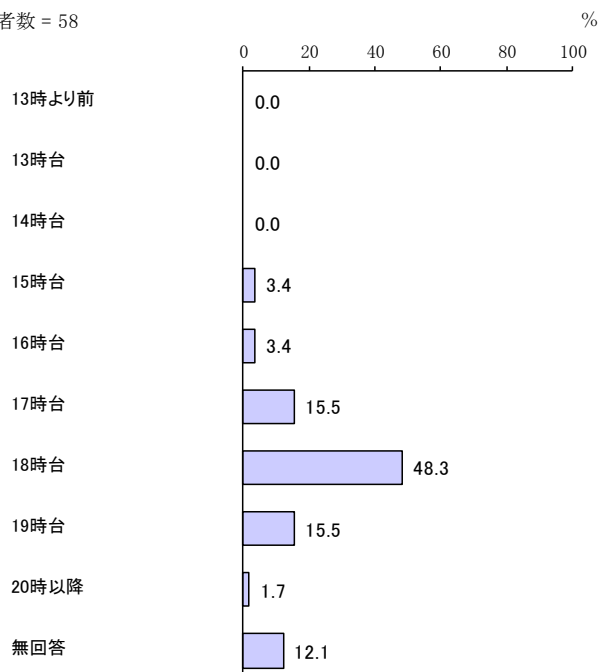
回答者数 = 58



## (イ) 利用終了時間

「18時台」の割合が48.3%と最も高く、次いで「17時台」、「19時台」の割合が15.5%となっています。

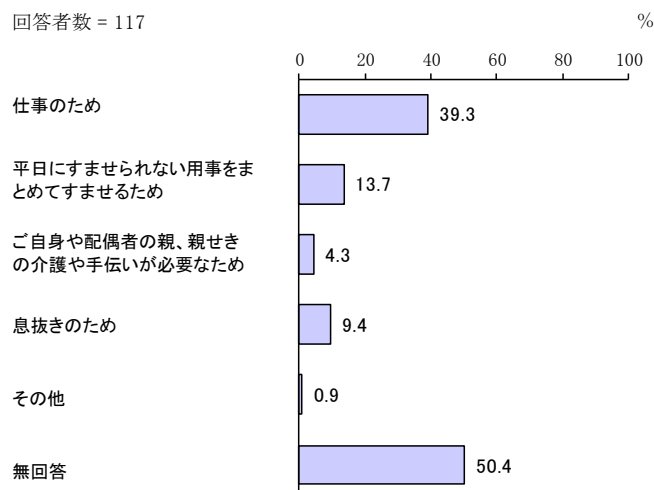
回答者数 = 58



問 13-4 利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「仕事のため」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」の割合が 13.7%となっています。

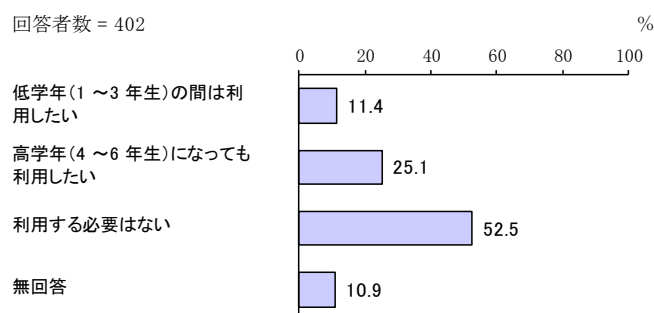
回答者数 = 117



問 14 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。(いずれか 1 つに○をつけ、該当する□内に数字で記入)

「利用する必要はない」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「高学年 (4～6 年生) になっても利用したい」の割合が 25.1%、「低学年 (1～3 年生) の間は利用したい」の割合が 11.4%となっています。

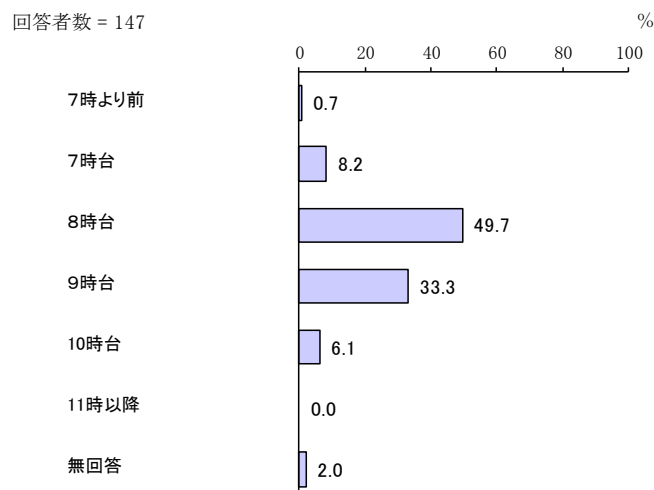
回答者数 = 402



(ア) 利用開始時刻

「8 時台」の割合が 49.7%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 33.3%となっています。

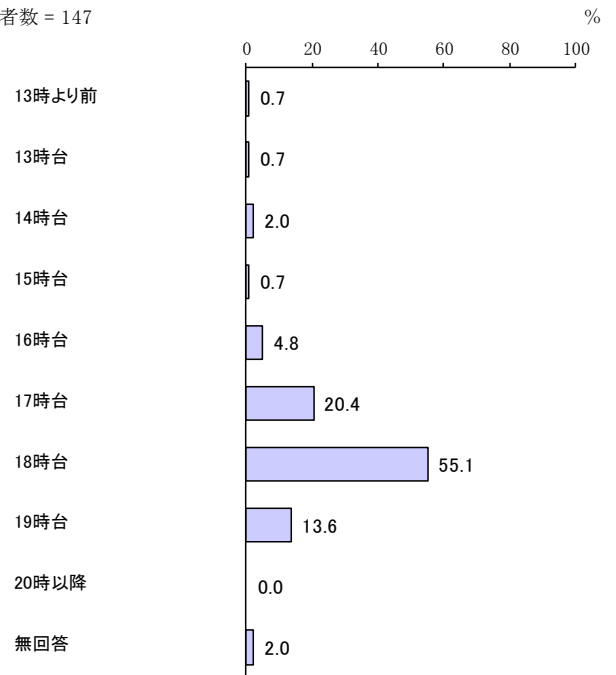
回答者数 = 147



(イ) 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 20.4%、「19 時台」の割合が 13.6%となっています。

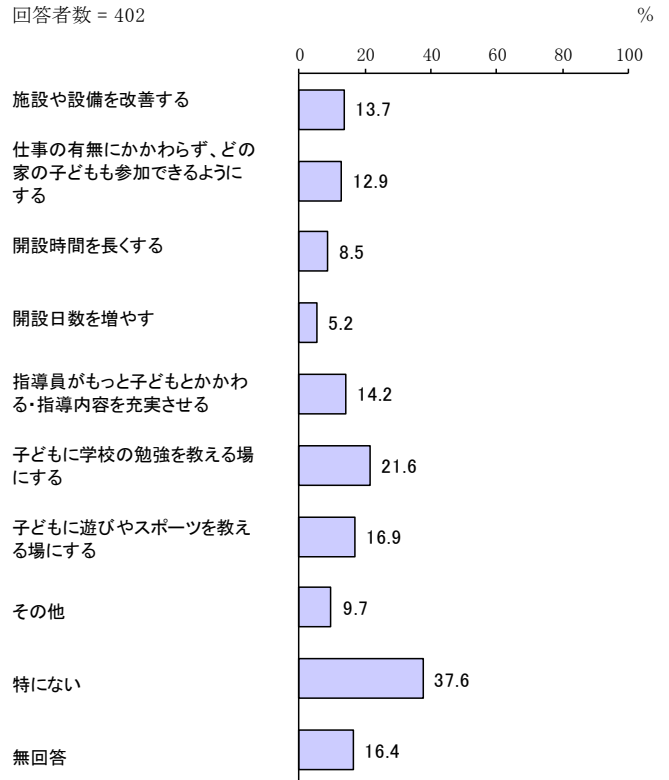
回答者数 = 147



問 15 学童クラブに今後希望することはありますか。(あてはまるもの3つに○)

「特にない」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「子どもに学校の勉強を教える場にする」の割合が 21.6%、「子どもに遊びやスポーツを教える場にする」の割合が 16.9%となっています。

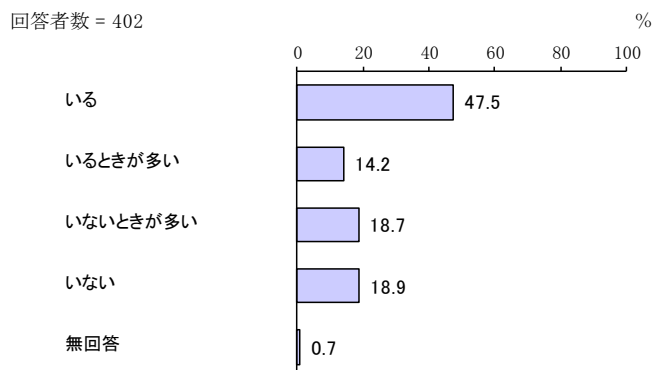
回答者数 = 402



## (6) 子育てについて

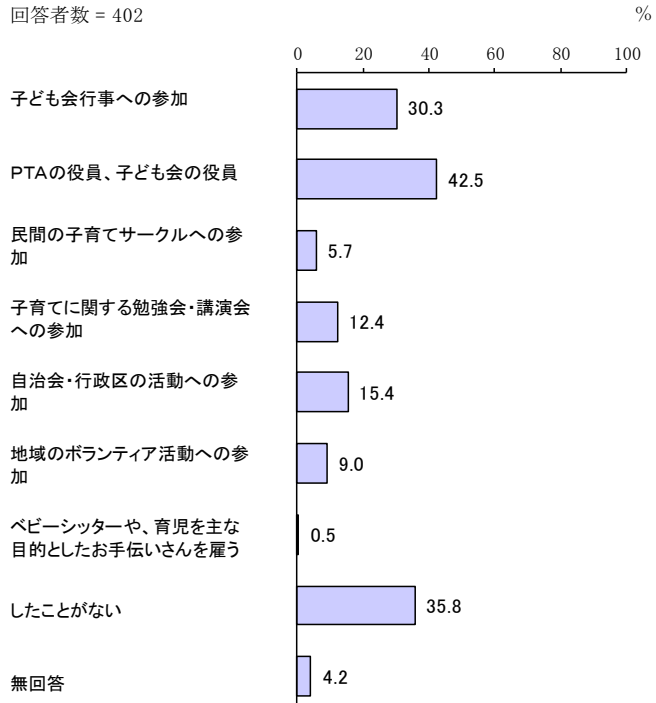
問 16 子どもが小学校から帰ってきた時、自宅には大人の方がおられますか。  
(いずれか1つに○)

「いる」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「いない」の割合が 18.9%、「いないときが多い」の割合が 18.7%となっています。



問 17 以下のような経験がありますか（今されていることもふくみます）。  
(あてはまるものすべてに○)

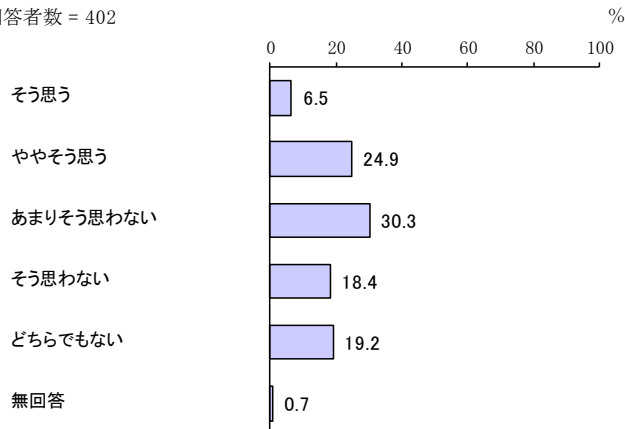
「PTAの役員、子ども会の役員」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「したことがない」の割合が 35.8%、「子ども会行事への参加」の割合が 30.3%となっています。



**問 18 川崎町での子育てはしやすい環境だと思いますか。(いずれか1つに○)**

「あまりそう思わない」の割合が30.3%と最も高く、次いで「ややそう思う」の割合が24.9%、「どちらでもない」の割合が19.2%となっています。

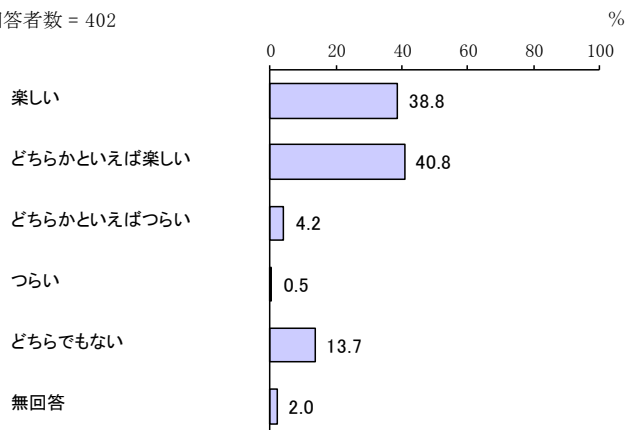
回答者数 = 402



**問 19 子育ては楽しいと感じていますか、それともつらいと感じていますか。(いずれか1つに○)**

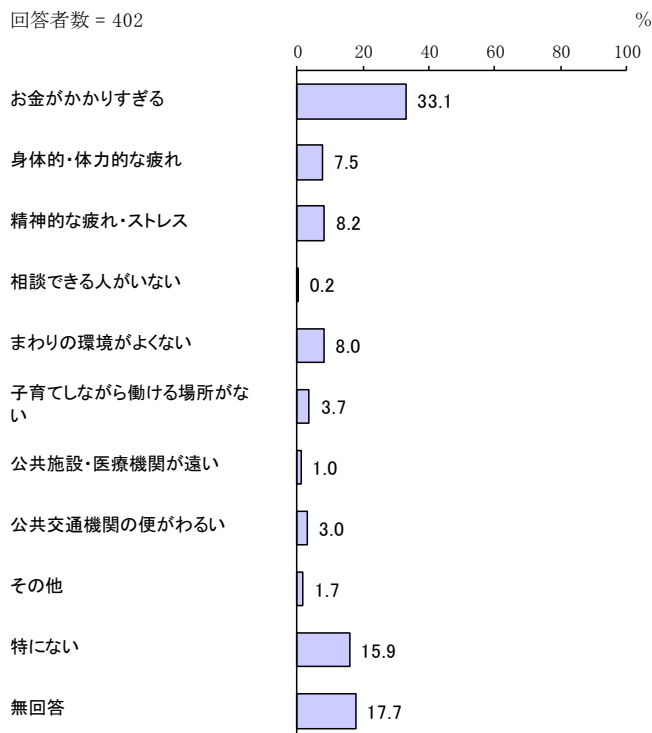
「どちらかといえば楽しい」の割合が40.8%と最も高く、次いで「楽しい」の割合が38.8%、「どちらでもない」の割合が13.7%となっています。

回答者数 = 402



問 20 子育てをする中で、いちばん負担になっていることは何ですか。  
(いずれか1つに○)

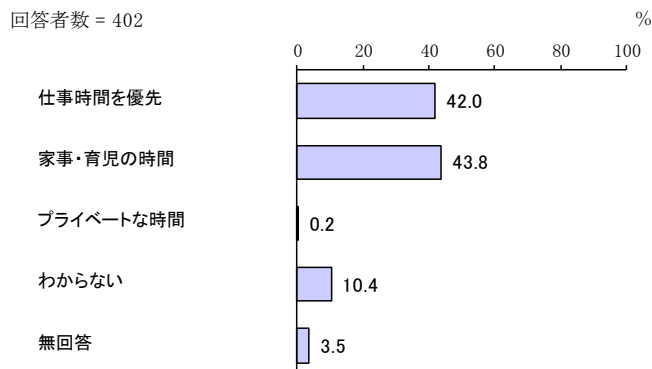
「お金がかかりすぎる」の割合が33.1%と最も高く、次いで「特にない」の割合が15.9%となっています。



(7) 仕事と生活のバランスについて

問 21-1 現実の生活では、あなたはどれをもっとも優先していると思いますか。  
(いずれか1つに○)

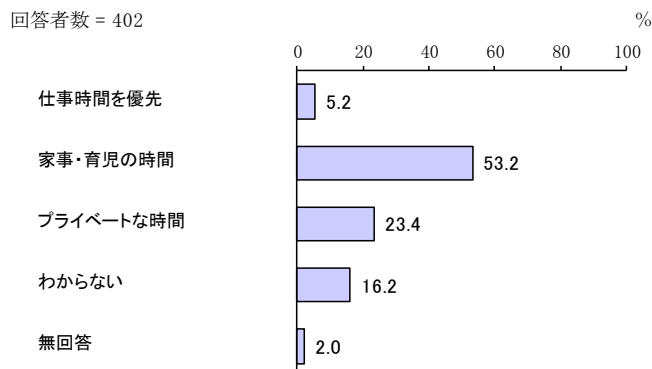
「家事・育児の時間」の割合が43.8%と最も高く、次いで「仕事時間を優先」の割合が42.0%、「わからない」の割合が10.4%となっています。





問 21-2 理想を言えば、あなたはどれをもっとも優先したいですか。  
(いずれか1つに○)

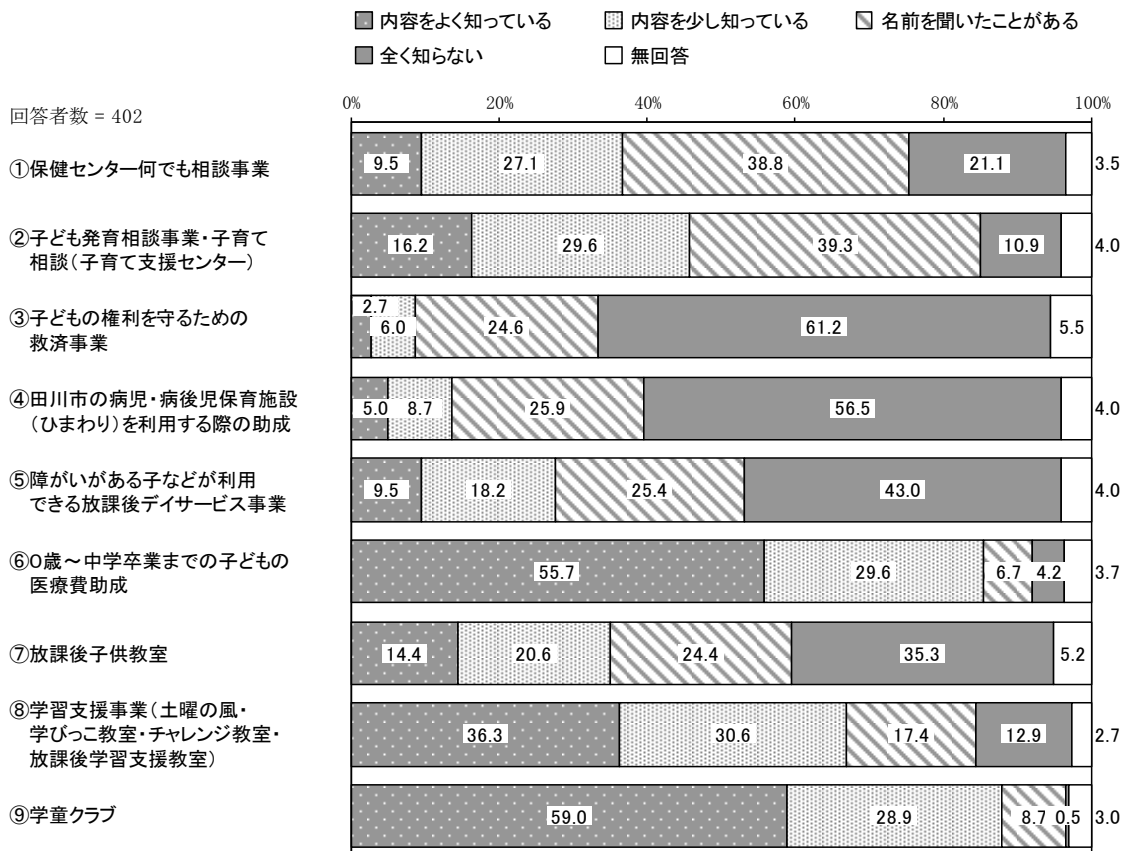
「家事・育児の時間」の割合が53.2%と最も高く、次いで「プライベートな時間」の割合が23.4%、「わからない」の割合が16.2%となっています。



(8) 子育て支援事業について

問 22 川崎町では以下の事業をしていますが、どのくらい知っていますか。  
(それぞれについていずれか1つに○)

『⑨学童クラブ』で「内容をよく知っている」の割合が、『⑧学習支援事業（土曜の風・学びっこ教室・チャレンジ教室・放課後学習支援教室）』で「内容を少し知っている」の割合が高くなっています。また、『③子どもの権利を守るための救済事業』で「全く知らない」の割合が高くなっています。

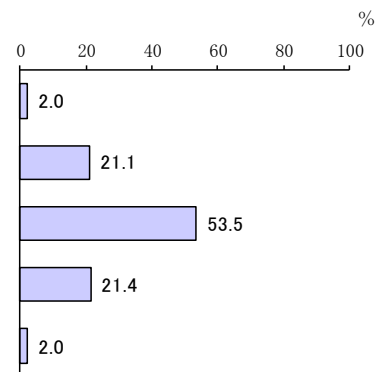


問 23 子育て世代包括支援センターについて知っていますか。(いずれか1つに○)

「知らない」の割合が53.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が21.4%、「知っているが、利用したことはない」の割合が21.1%となっています。

回答者数 = 402

- 知っており、利用したことがある
- 知っているが、利用したことはない
- 知らない
- わからない
- 無回答

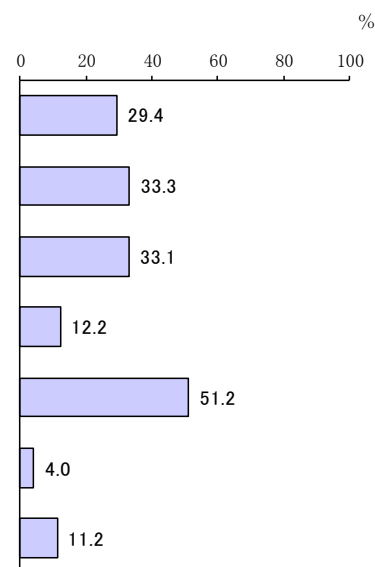


問 24 町の相談機関において、子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

「安心して相談できる環境(子どもの預かり、プライバシーの配慮等)」の割合が51.2%と最も高く、次いで「専門的な情報」の割合が33.3%、「職員の対応スキル」の割合が33.1%となっています。

回答者数 = 402

- 身近な場での窓口
- 専門的な情報
- 職員の対応スキル
- 地域機関等へのつなぎ
- 安心して相談できる環境(子どもの預かり、プライバシーの配慮等)
- その他
- 無回答

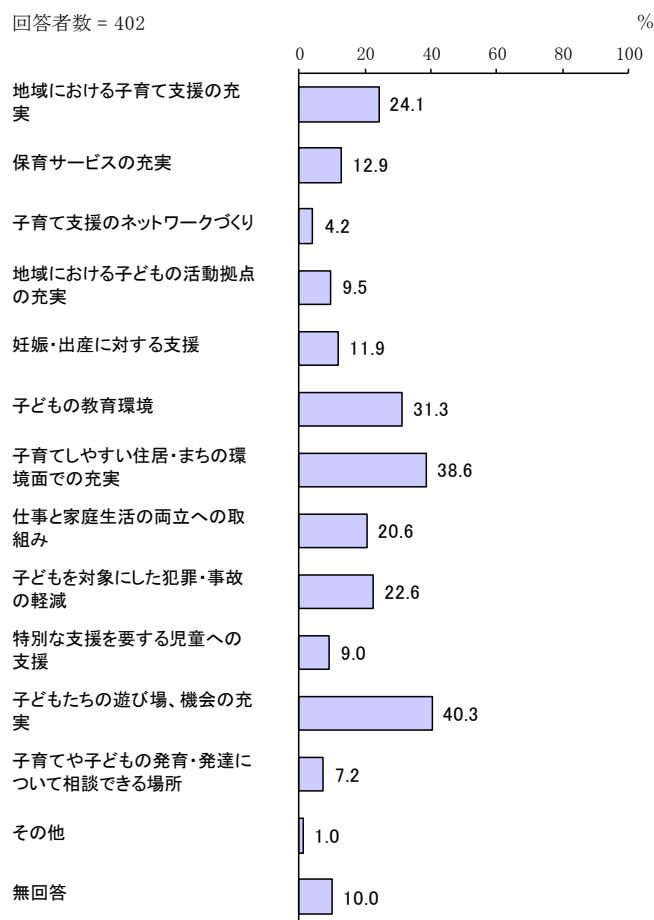


## (9) 子育て支援策について

問 25 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。  
(あてはまるもの3つまでに○)

「子どもたちの遊び場、機会の充実」の割合が40.3%と最も高く、次いで「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」の割合が38.6%、「子どもの教育環境」の割合が31.3%となっています。

回答者数 = 402

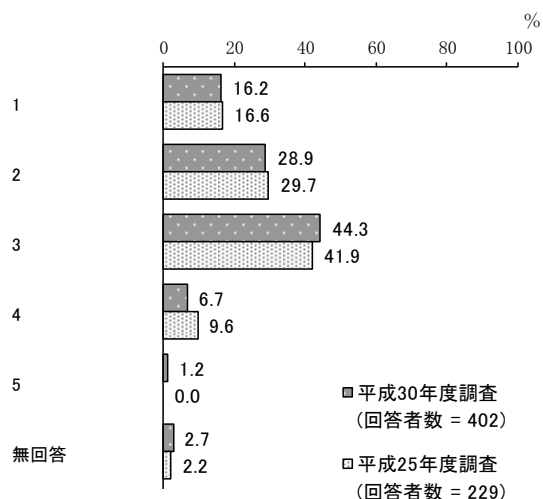


## (10) 子育てのしやすさや満足度などについて

問 26 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についておうかがいします。(いずれか1つに○)

「3」の割合が44.3%と最も高く、次いで「2」の割合が28.9%、「1」の割合が16.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

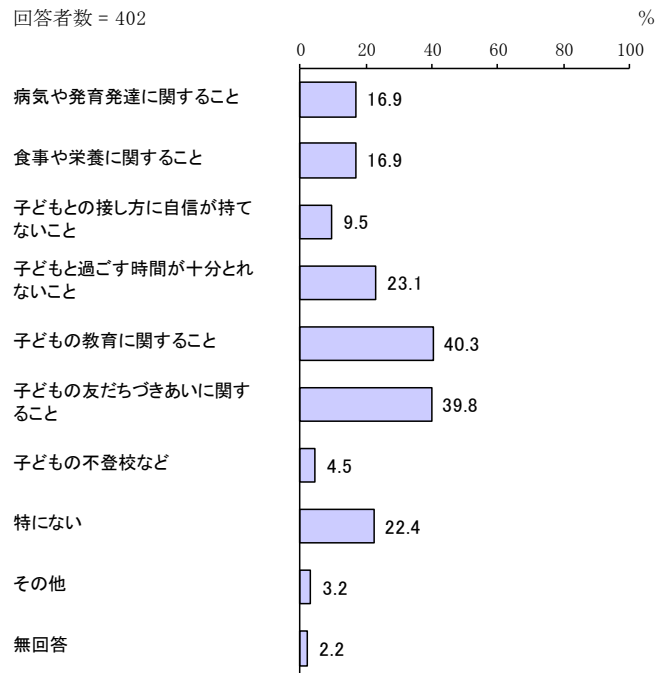


問 27 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。  
 (あてはまるものすべてに○)

ア 子どもに関すること

「子どもの教育に関すること」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「子どもの友だちづきあいに関すること」の割合が 39.8%、「子どもと過ごす時間が十分とれないこと」の割合が 23.1%となっています。

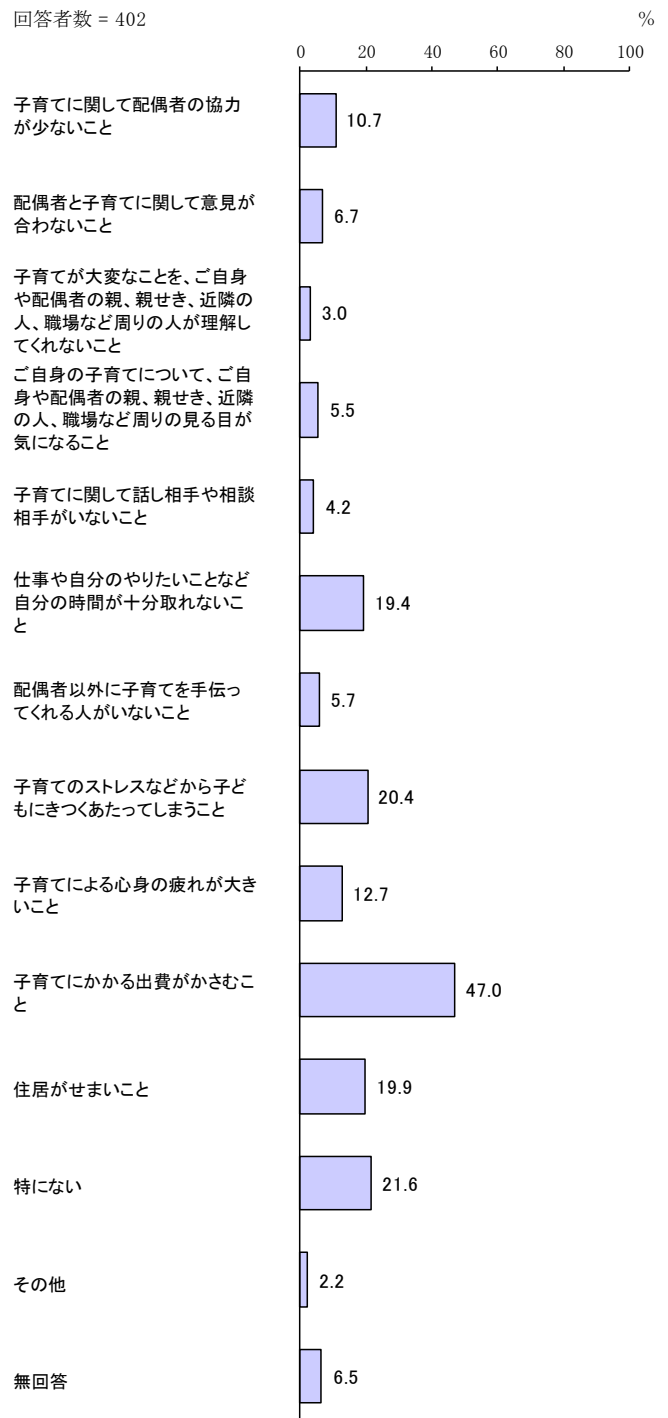
回答者数 = 402



## イ ご自身に関すること

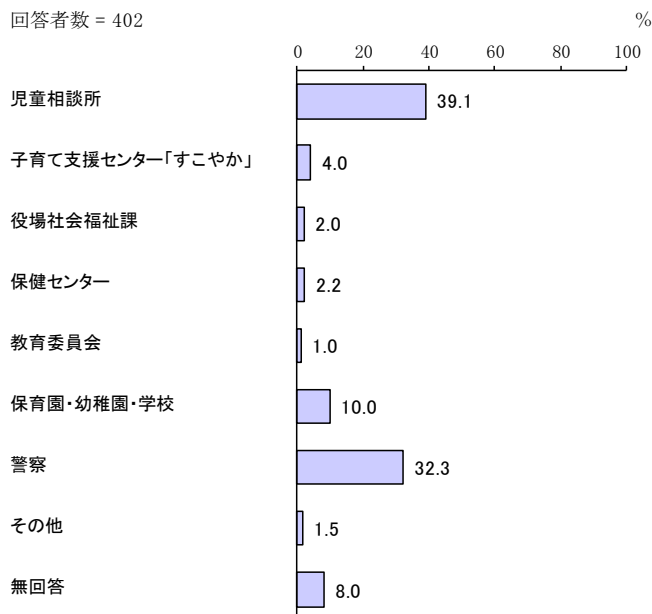
「子育てにかかる出費がかさむこと」の割合が47.0%と最も高く、次いで「特にない」の割合が21.6%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が20.4%となっています。

回答者数 = 402



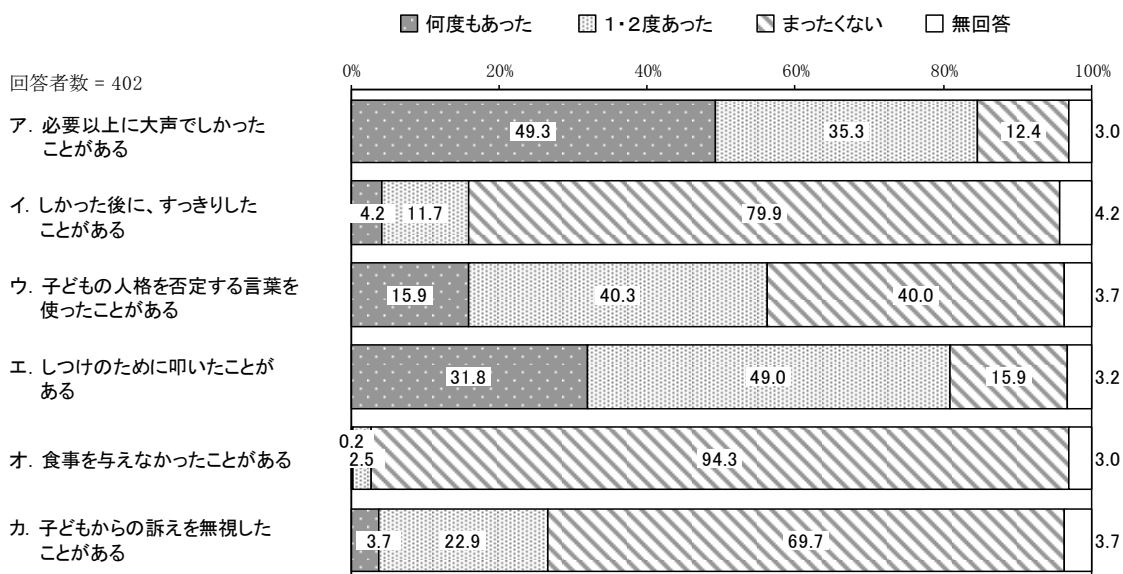
問 28 児童虐待を発見した場合には、どちらに通報しようと思いますか。  
(いずれか1つに○)

「児童相談所」の割合が39.1%と最も高く、次いで「警察」の割合が32.3%、「保育園・幼稚園・学校」の割合が10.0%となっています。



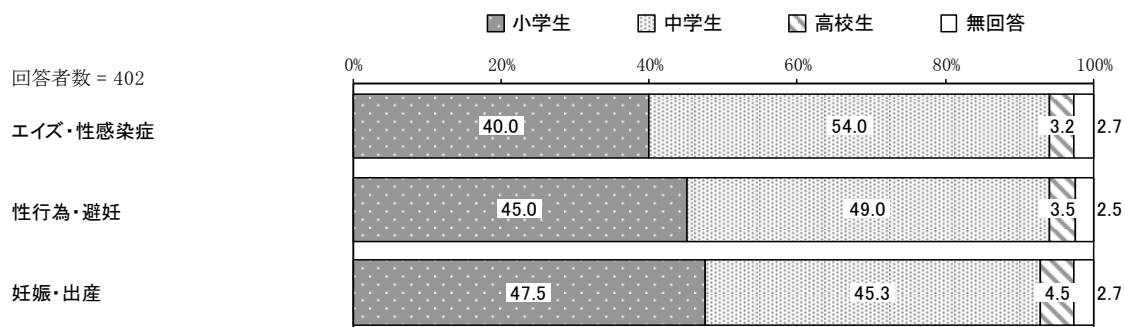
問 29 あなたは、今までに自分の子どもに対して次のようなことがありましたか。  
(それぞれについていずれか1つに○)

『ア. 必要以上に大声でしかったことがある』で「何度もあった」の割合が、『エ. しつけのために叩いたことがある』で「1・2度あった」の割合が高くなっています。また、『イ. しかった後に、すっきりしたことがある』で「まったくない」の割合が高くなっています。



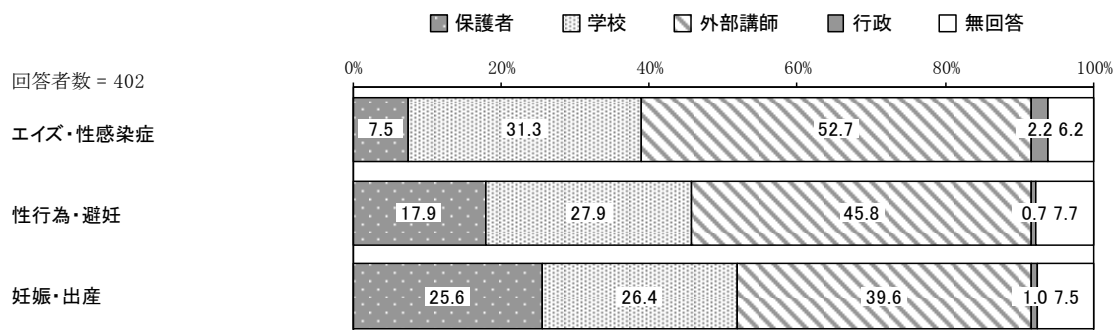
問 30 ご自身の子どもに、以下の性教育はいつから始めるのがふさわしいと思いますか。(それぞれについていずれか1つに○)

『性行為・避妊』『妊娠・出産』で「小学生」の割合が、『エイズ・性感染症』で「中学生」の割合が高くなっています。



問 31 以下の性教育について、誰が教えるべきだと思いますか。(それぞれについていずれか1つに○)

『妊娠・出産』で「保護者」の割合が、『エイズ・性感染症』で「学校」「外部講師」の割合が高くなっています。



問 32 保護者の方ご自身はエイズ・性感染症について、以下のことをご存じですか。  
(それぞれについていずれか1つに○)

『日本では、HIV 感染者数が増加している』で「知っている」の割合が、『性感染症に感染していると、HIV に感染しやすい』で「知らなかった」の割合が高くなっています。

